

令和6年度

山梨県立博物館年報

Annual report of the Yamanashi Prefectural Museum



はじめに

令和6年度の山梨県立博物館の活動は、企画展「富士川水運の300年」から始まりました。当企画展は、近世から近代にかけて甲斐・信濃の人々の生活を支える物流の大動脈となった富士川水運の歴史を多角的に紹介し、富士川流域の居住者や、かつて水運に携わった家の方からも反響が寄せられ、地域に密着した展示の重要性を再認識することができました。夏期の企画展「どうぶつ百景—江戸東京博物館コレクションより」では、東京都江戸東京博物館コレクションに加え、山梨県に関わり深い蚕・馬に関連する資料も交え、改めて当館の基本テーマ「山梨の自然と人」の関わりにも目を向ける機会となるよう構成しました。秋期の企画展は「奈良大和路のみほとけ—令和古寺巡礼—」と題し、奈良大和路に伝わり、多くの人々の心をとらえてきた仏像を展示しました。また、瑜伽寺(笛吹市)に伝わる奈良時代の塑造仏像についても併せてご紹介することにより、県内の仏教美術に対する関心を喚起しました。リピーターの多さや、さまざまな好評の意見から、本展によせる県民の満足度の高さを感じられました。

シンボル展については、初夏に「郷土史をのこした人々」を開催し、当館に収蔵されている歴史資料のコレクション「甲州文庫」を収集した功刀亀内をはじめとする本県の郷土史研究に尽力した人々の事績を紹介しました。冬期のシンボル展「甲斐国分寺」では、笛吹市一宮町に所在する甲斐国分寺について、最新の発掘成果とともに、中世から現代にいたる地域の人々との関係の変遷についても紹介しました。笛吹市教育委員会と連携して各種イベントを実施し、展覧会における各自治体との連携のあり方について、ひとつのモデルケースとすることができました。

調査研究活動では、日本学術振興会科学研究費による課題を5件実施しているほか、県費による総合・共同研究を継続して推進しております。

令和7年度で、当館は開館20周年を迎えます。これからも、地域の博物館としての責務を果たすため、館員一同努めてまいります。今後とも、皆様の変わらぬご支援ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

山梨県立博物館

館長 守屋 正彦

目次

はじめに

第I編 山梨県立博物館の目指すところ

第1章 県立博物館の評価制度	1
(1) 県立博物館の使命	1
(2) 県立博物館の評価制度	1
第2章 通信簿ツアーの実施	6
(1) 通信簿ツアーの内容	6
(2) 通信簿ツアーの結果	8
(3) 意見交換会の内容	21

第II編 事業・諸活動

第1章 運営・ミュージアムサービス	22
(1) 運営・ミュージアムサービスの方針	22
(2) 令和6年度利用者状況一覧	22
第2章 調査・研究	26
(1) 外部資金による調査・研究	26
(2) 県費による調査・研究	30
(3) 個別調査・研究	31
(4) 調査・研究成果の公表	32
第3章 資料の収集・保管・活用	35
(1) 資料収集の方針	35
(2) 資料の収集	36
(3) 資料の整理・目録(データ)化	37
(4) 資料の修復・管理	37
(5) 資料の活用	38
第4章 展示	40
(1) 常設展示	40
(2) 企画展・シンボル展	53
(3) 展覧会関係刊行物	74
第5章 企画交流事業	75
(1) 生涯学習サービス事業	75
(2) 博学連携	77
(3) 博物館同士のネットワーク	82
(4) 広報	82

第6章 施設の整備・管理	83
(1) 安全快適な施設づくり	83
(2) 施設開放	83
第7章 情報の発信と公開	84
(1) 資料閲覧室の利用状況	84
(2) 博物館総合情報システム	85
(3) 博物館ホームページ	86
第8章 県民参画	87
(1) NPOとの連携	87
(2) 博物館協力会(ボランティア)との連携	88
第9章 組織・人員	91
(1) 職員の資質向上	91
(2) 附属機関	91
第10章 外部支援と連携	93
(1) 外部支援	93
(2) 外部との連携	93
(3) 山梨近代人物館・世界遺産センターの展示協力	93

第III編 各種資料

1 組織・職員等名簿	95
2 令和6年度当初予算額	97
3 年間日誌	97

凡例

- ・各事業の経緯・方針・関連法規等については『平成17年度 山梨県立博物館年報』を参照されたい。
- ・各種委員等の名簿における勤務先・役職等については、全て令和6年度におけるものである。
- ・原則として、各種名簿の順序は順不同である。
- ・敬称は略している。
- ・「県立博物館」と表記されているものは、全て山梨県立博物館のことを指す。
(表紙) 常設展示「城下町の賑わい」のジオラマの人形

第I編 山梨県立博物館の目指すところ

第1章 県立博物館の評価制度

(1) 県立博物館の使命

使命1

■山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりの歴史」を学ぶ場を目指します。

山梨県の歴史の特色は豊かで多様な自然に育まれた人々の個性あふれる暮らしの歴史である、とまとめられます。だからこそ「山梨の自然と人との関わりの歴史」を学ぶことは、現在はもとより未来へ開く扉の鍵を探ることにつながるのです。

山梨県立博物館ではその一例として、本県の特色ある生業や富士山への向き合い方、武田氏の動向等々について総合的に資料の収集・調査・研究を行います。そして、その最新の成果を「山梨県の精神の拠り所」として絶えず利用者の皆様に問いかけ、共に考え続けます。

使命2

■山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。

山梨県は、周囲の高い山々によって閉じられた地域という印象を持たれています。ですが、四方を高い山々に囲まれた地域だからこそ、山梨の先人達は昔から活発な「交流」を求めてきました。こうした歴史にふさわしく、山梨県立博物館は、県内各地の様々な文化施設、史跡・自然をはじめ、県内外の多くの皆様と活発に交流を行います。「交流」のセンターとして、当館を起点に県内各地へと多くの人々の誘導を図り、本県の活性化に絶えず努めます。

使命3

■山梨県立博物館は「成長する博物館」を目指します。

山梨県立博物館は、最新の調査・研究成果を展示やイベント内容等に反映させ、絶えず新しい情報の発信に努めます。また、社会情勢の変化や、利用者の知的関心、学習意欲の高まりに対応して、歴史・文化の視点に立った新たな価値観や未来像を、展示等をとおして考えてもらう場となることを目指します。特に、山梨県の県立博物館として、農林業・伝統産業・観光や水資源・過疎化等、現在の山梨が抱える様々な課題を乗り越えていくために、県民の皆様とともに未来の山梨のあり方を考え、連携を進めます。

これらをとおして、山梨県立博物館は、その事業・活動等が広く県民の皆様とともに成長して、全国の目標となるような博物館を目指します。

(2) 県立博物館の評価制度

県立博物館の活動が独善に陥ることなく、社会に開かれた活動を行っていくためには、県立博物館の活動を適切に評価し、その結果を運営改善に結びつけていく体制づくりが必要である。

そこで、県立博物館が開館した平成17年度から平成19年度にかけて、「みんなでつくる博物館協議会」（以下「みんつく」、第II編第9章参照）において評価制度を検討し、運営委員会にも諮った上で、平成19年に開館5周年目までの評価制度（以下「第1期評価制度」という）を策定した。同様に、平成24年には開館6周年度目から10周年度目までの評価制度（以下「第2期評価制度」という）を策定した。第2期評価制度では、第1期評価制度で掲げた使命1・使命2という県立博物館の使命に使命3を新たに加えた。平成30年度から令和元年度にかけては、開館11周年度目から15周年度目までの評価制度（以下「第3期評価制度」という）について「みんつく」で検討を行った。第2期評価制度を踏襲しつつ課題とされた「展示と調査研究」「情報発信」「博学連携」の3つの重点項目を設けた。

現在の評価期間である第4期評価制度（開館16周年年度目から開館20周年年度目まで）は、令和2年度から検討を開始した。はじめに利用者評価の一部変更について検討し、第4期の評価体系は第3期の評価体系を引き継ぎつつ、利用者評価において新たに意見交換会を実施することとした。意見交換会は利用者と博物館職員が直接的に意見を交わすことを通じ、県民の意見の博物館活動への反映や、それによる課題解決策を検討するためのものである。また、直接的な意見聴取の機会が設けられたことから、アンケート調査である「通信簿ツアー」の質問項目に精査を加えて令和3年度から約半数に削減するとともに、実施回数も年1回に削減し、かつ対象人数を来館者400人と定めた。

さらに、評価項目により明確な行動指針となる事項を追記するため、「みんつく」の意見を反映して事務局が検討を行った。その結果は、令和5年度第1回「みんつく」全体会議において報告し承認を得た。なお、第5期評価制度（開館21周年年度目から開館25周年年度目まで）における評価項目の検討について、令和6年度より検討をはじめた。

■山梨県立博物館 令和3年度から令和7年度までの評価項目

※評価方法Aは数値評価、評価方法Bは自己診断、評価方法Cは通信簿ツアーをそれぞれ指す。
 ※評価A、B、Cをふまえて、令和4年度に運営委員会において総合評価を実施し、総合評価報告書を刊行した。

使命1	使命2	使命3
使命1に対応した活動目標	使命2に対応した活動目標	使命3に対応した活動目標
活動目標に対応した評価項目	活動目標に対応した評価項目	活動目標に対応した評価項目

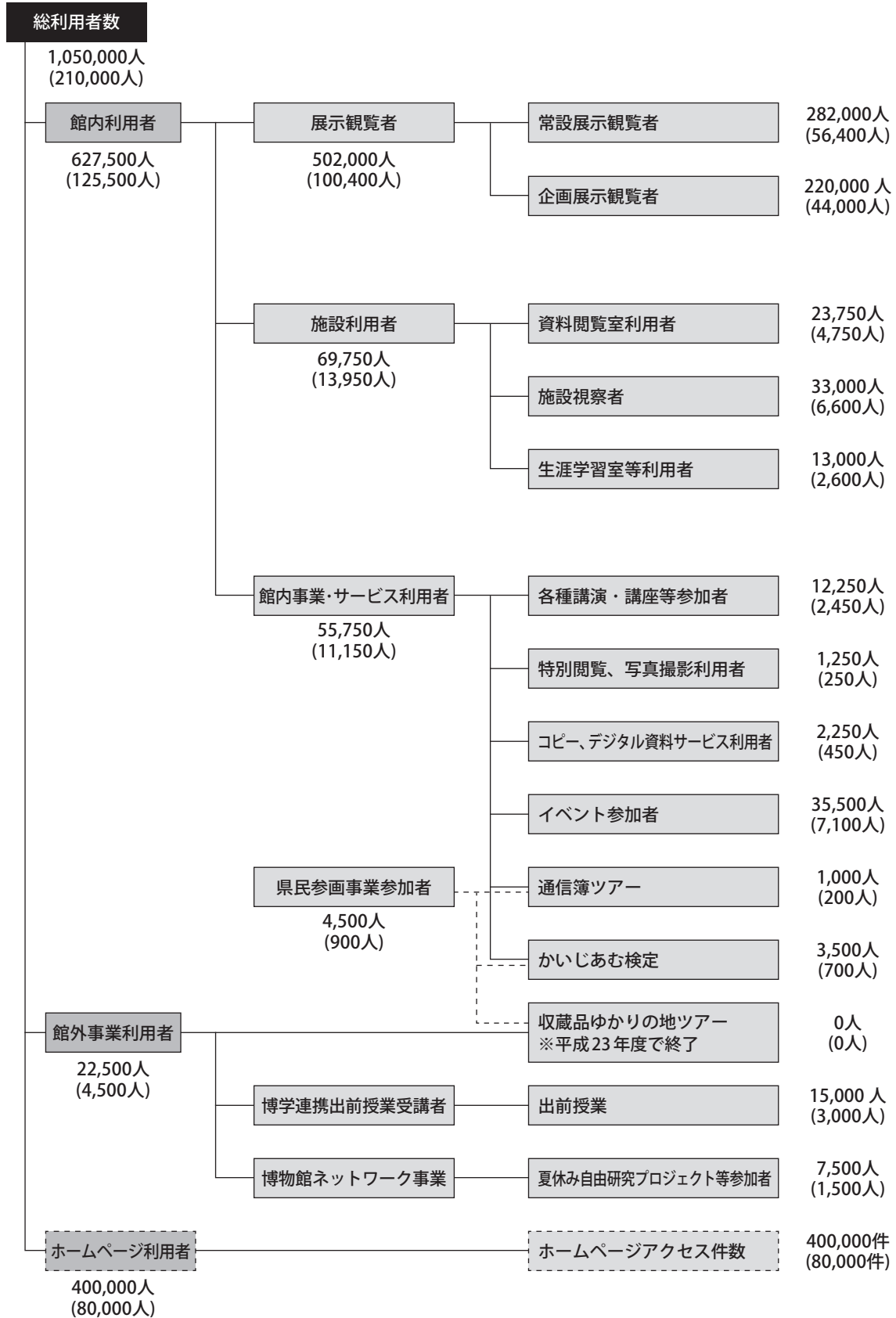
山梨県立博物館の使命	使命1：山梨県立博物館は「山梨の自然と人の関わりの歴史を学ぶこと」を目指します。	使命2：山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。	使命3：山梨県立博物館は「成長する博物館」を目指します。	
(1) 運営（ミュージアムマネジメント）及びミュージアムサービスについて	<ul style="list-style-type: none"> 山梨県立博物館が整備されて良かったと思え、思われる博物館づくりを目指して、当館が提供するあらゆるサービスの利用者数の増加に努めます。具体的には開館16周年目から開館20周年目までに1,050,000人の総利用者数を目指します。 山梨県立博物館がどのような使命を持って整備されたのかを分かりやすく明示し、職員間において使命と課題の確認を行うため、年1回の全体研修を行います。 博物館の使命がどの程度達成できたのかを館内外に明らかにするために、利用者の視点に立った活動目標を設定し、その実現に向けて最善の努力をします。 博物館が提供するあらゆるサービスについて多くの利用者に御満足いただけるよう、絶えず改善し続ける博物館づくりに館に携わる全ての人々が丸となって努めます。そのために、常に博物館全体の活動について自己点検を行い、また利用者の側からの評価の声を受け入れ、その結果を公開します。また、当該年度の利用者評価の結果を年末の全員出勤日に全員で確認し、共有します。 NPOとの協働などとおして、広く県民が参画できる事業活動を推進し、県立博物館及び山梨県への親しみや関心が深められるように努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 総利用者数（評価方法A） 毎年、職員間で使命と課題の確認が行われ、かつ利用者評価の結果の共有が行われているか？（評価方法B） 利用者の視点に立った目標を設定しているか？（評価方法B） 目標の達成状況については、自己及び他者評価を行い、その結果を公開しているか？（評価方法B・C） 県民参画事業の参加者数（評価方法A） 		
(2) 調査・研究について	<ul style="list-style-type: none"> 「山梨の自然と人の関わりの歴史」をテーマとした調査・研究を精力的に実施し続けます。 専門分野を横断する共通テーマのもと、多分野参加型による共同研究や館内研究会を行い、かつ個人研究の発表の機会を設ける等して、博物館における調査・研究活動の活性化を促します。 	<ul style="list-style-type: none"> 調査・研究の最新成果を展示や諸講座等の機会をおとして積極的に公開し、利用者の知的好奇心を満足できるように努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 学術研究機関としての博物館の魅力を高めるために、外部資金の導入などによって積極的に調査・研究を行い、その成果を論文や研究発表などをおして、広く社会に還元します。また、その実現に向けて県内外の人々との共同調査・研究を積極的に推進します。 	
(3) 資料の収集、保存及び活用について	<ul style="list-style-type: none"> 資料保存機関としての博物館という魅力を高めるために、「山梨の自然と人の関わりの歴史」を明らかにする上で必要な資料の収集・保存に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 博物館職員及び共同研究者が行った調査・研究項目について一覧表化がなされているか？（評価方法B） 共通テーマによる多分野参加型による共同研究の館内研究発表を年3回以上実施したか？また、個人研究の発表の機会を年2回以上設けたか？（評価方法B） 	<ul style="list-style-type: none"> 研究紀要や調査報告書類の作成・発行を行っているか？（評価方法B） 館主催講座の開催数（評価方法A） 館職員の館外担当講座数（出前授業も含む）（評価方法A） 	<ul style="list-style-type: none"> 博物館職員による論文執筆や講演・報告などの研究実績が定期的に蓄積されているか？（評価方法A） 科学研究費ほか外部資金の導入などをおして、共同調査・研究が行われているか？（評価方法B） 県民参画による調査・研究が行われているか？（評価方法B）
	<ul style="list-style-type: none"> 資料の収集点数（評価方法A） 個々の資料について適切に資料保存・修復措置を行っているか？（評価方法B） 	<ul style="list-style-type: none"> 収集及び保管・調査資料の利用体制の充実化をはかります。これら資料の目録化（データベース化）を進め、館内外の人々にとって共に積極的な活用が可能となるように努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 収集した資料の活用を図り、展示やホームページなどをおして、新たな資料情報を積極的に公開します。 	
		<ul style="list-style-type: none"> 全収集点数の内、目録化（データベース化）がなされた資料点数の割合（評価方法A） 資料の総利用件数（一次資料やマイクロフィルムなど二次資料も含んだ閲覧件数、館外資料貸出件数など）（評価方法A） 	<ul style="list-style-type: none"> 新たに展示やホームページに公開した資料点数（評価方法A） 	

山梨県立博物館の使命	使命1：山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりの歴史を学ぶこと」を目指します。	使命2：山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。	使命3：山梨県立博物館は「成長する博物館」を目指します。
(4) 展示について	<ul style="list-style-type: none"> ・展示をとおして魅力あふれる「山梨の自然と人との関わりの歴史」像を積極的に多くの人々に向けて発信し続けます。具体的目標としては、開館16周年日から開館20周年目までに502,000人の利用者数を目標とします。 ・月1回以上の学芸員会議を開催するとともに、開催準備中の展覧会について、担当分野外の学芸員から意見をj得る機会を設けます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の現場との連携を深め、子ども達が楽しみながら山梨の歴史や文化を学ぶことのできる展示を作り続けます。具体的には開館16周年日から開館20周年目までに15,000人の学校利用者数を目標とします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズや調査・研究の進展に対応して、企画展の開催や、年間をとおした常設展示の展示替えを行います。 ・展示計画に際しては、学芸員による会議によってアイデアを出し合うとともに、常設・企画とも展示計画の早期検討に努めます。
(5) 企画交流活動について	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展示の利用者数(評価方法A) ・企画展利用者数(評価方法A) ・展覧会の企画運営において、当該分野をのぞく2分野以上の学芸員から意見を聞き、山梨県立博物館らしさのある展示内容になるよう努めたか?(評価方法B) 	<ul style="list-style-type: none"> ・博物館への学校利用件数及び参加者数(評価方法A) ・展示をわかりやすく解説するワークシートなどを作成しているか?(評価方法CまたはB) 	<ul style="list-style-type: none"> ・常設展示の印象に関わるアンケート調査(評価方法CまたはB) ・企画内容や展示手法の満足度に関するアンケート調査(評価方法CまたはB) ・常設展示における年間の展示資料点数(どれだけ展示替えを行っているのか?)(評価方法A) ・常設展示の来館者数増加に向けた取り組み(評価方法B) ・展示企画会議を年1回以上開催するとともに、展覧会計画の早期検討に努めたか?(評価方法B)
(6) 施設の整備・管理について	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨の歴史や文化について、人々が快適に学ぶ環境を整えるために、人にとっても安全かつ快適な施設・整備の管理に努めます。 ・魅力あふれる「山梨の自然と人との関わりの歴史」を知ることが出来る貴重な資料を永く後世に伝えていくために、資料にとって安全かつ快適な施設・設備の管理に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校教育の現場と密接に交流し、博学連携の強化に努めます。 ・県内各地の文化施設・史跡・自然と密接に連携し、多くの利用者を県内各地へと誘導する企画交流活動の立案・実行に努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズに応じて、企画交流活動の内容の見直しや新規の立案に努めます。 ・大学や図書館、研究団体など、新たな施設・団体との連携の強化に努めます。 ・イベントの参加者の満足度80%以上を目標とします。
(6) 施設の整備・管理について	<ul style="list-style-type: none"> ・地震・火災等の緊急事態に対して、職員の研修をはじめとした対応を行っているか?(評価方法B) ・緊急の傷病者への対応に関して、職員の研修をはじめとした対応を行っているか?(評価方法B) ・バリアフリー対策を行っているか?(評価方法B) ・資料保存について措置を講じているか?(評価方法B) 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者への施設開放(例えば生涯学習室の貸し出しなど)を積極的に行うことで、県民に親しまれる博物館づくりを推進し、開館11周年日から開館15周年目までに69,750人の利用者数を目標とします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者への施設開放(例えば生涯学習室の貸し出しなど)を積極的に行うことで、県民に親しまれる博物館づくりを推進し、開館11周年日から開館15周年目までに69,750人の利用者数を目標とします。 ・利用者に対する施設開放件数及び利用者数(例えば、生涯学習室の貸し出しなど)(評価方法A)
(7) 情報の発信と公開について	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が「山梨の自然と人との関わりの歴史を学ぶ」ことについて支援することに努め、レファレンスをとおし開館16周年日から開館20周年目までに55,750人か知的な好奇心を満足できるように努めます。 	<ul style="list-style-type: none"> ・山梨県立博物館の活動全般について、県内外の人々に対して積極的にPR活動をするように努め、例えばホームページをとおした場合には開館16周年日から開館20周年目までに400,000件のアクセス数を目標とします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のニーズに応じ、未来に向けた新たな博物館のあり方について検討します。 ・インターネットを使用した博物館通信の送信や館外におけるPRなど、新たな広報活動の取り組みに努めます。
	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページアクセス数(評価方法A) ・ホームページの更新や利用者ニーズに応じた内容の検討を行っているか?(評価方法B) 	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページアクセス数(評価方法A) ・ホームページの更新や利用者ニーズに応じた内容の検討を行っているか?(評価方法B) 	<ul style="list-style-type: none"> ・どのような情報をどのような媒体で情報発信しているのか一覧表化がなされているか?(評価方法B)

山梨県立博物館の使命	使命1：山梨県立博物館は「山梨の自然と人との関わりの歴史を学ぶこと」を目指します。	使命2：山梨県立博物館は「交流」のセンターを目指します。	使命3：山梨県立博物館は「成長する博物館」を目指します。
(8) 市民参画について	<ul style="list-style-type: none"> ・NPOやボランティアなどとの協力を得た事業活動を実施し、共同事業では開館16周年目から開館20周年目までに4,500人と交流できるように努めます。 ・NPOや協働事業開催件数及び参加者数(評価方法A) ・協働事業(ボランティア)の登録者数(評価方法A) ・協働事業(ボランティア)ではどのような活動を実施したのか一覧表化がなされているか？(評価方法B) 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の視点から博物館の評価を行い、その成果を博物館の成長や運営改善に向けて反映するよう努めます。 ・利用者による博物館評価を実施し、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか？(評価方法BまたはC) ・屋外展示について、NPOや協働事業等の協力を得て、屋外展示を活用した事業を年4回以上実施したか？(評価方法B) 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者やNPOと協働した事業を行うことにより、博物館活動の充実化に努めます。
(9) 組織・人員について	<ul style="list-style-type: none"> ・職員各自の資質向上ができる環境整備に努めます。 ・職員に対して、新任職員研修、防災・救急研修を年1回実施したか？(評価方法B) ・職員と交流員は、次に挙げる内容のうち、当該年度に開催される研修に2種類以上かつ年4回以上参加し、交流の質の向上に努めたか？(評価方法B) ・コミュニケーション研修/話し合った研修/接遇/展示替え後の説明会/他館または館外講師による解説・ワークショップ参加・視察/館内研究会/展示解説 	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者機関の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映するよう努めます。 ・第三者機関(運営委員会、みんなでつくる博物館協議会、資料情報委員会など)の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか？(評価方法B) 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員各自の資質向上ができる環境整備に努めます。 ・職員と交流員は、次に挙げる内容のうち、当該年度に開催される研修や講習等に2種類以上かつ年4回以上参加し、交流の質の向上に努めたか？(評価方法B) ・コミュニケーション研修/話し合った研修/接遇/展示替え後の説明会/他館または館外講師による解説・ワークショップ参加・視察/館内研究会/展示解説 ・附属機関(運営委員会、みんなでつくる博物館協議会、資料情報委員会など)の意見を積極的に受け入れ、その結果を館の運営に反映できるよう工夫がなされたか？(評価方法B)
(10) 外部支援と連携について	<ul style="list-style-type: none"> ・継続的に質の高い博物館活動に資するよう、外部支援体制の導入に努めるとともに、地域連携を図ります。 ・館の運営のために外部支援体制の導入に努めたか？(評価方法B) ・山梨県内外における歴史・民俗系博物館等との連携を図っているか？(評価方法B) ・文化財レスキューなど、県立博物館が地域社会を支援する体制の整備に努めたか？(評価方法B) 		

■山梨県立博物館 令和3年度から令和7年度までの各活動分野における数値評価の目標値

○「総利用者数」とは、当館の施設、提供するサービスを利用した者および当館の事業活動に参加した全ての利用者の統計である。



※1 数字…令和3年度（開館16周年年度）から令和7年度（開館20周年年度）までの目標値

※2 ()内の数字…令和3年度から令和7年度までの5年間における単年度の目標値

第2章 通信簿ツアーの実施

(1) 通信簿ツアーの内容

■令和6年度における通信簿ツアーの特徴

令和6年11月11日(月)～11月16日(土)の期間に、県民参画事業(第II編第8章参照)の一環として「通信簿ツアー」を実施した。これは利用者とともに県立博物館を評価する(県立博物館の活動に「通信簿」を付ける)という利用者参加型の評価方法である。(本事業の概要は平成18年度県立博物館年報第I編第2章参照)

令和6年度の通信簿の内容と参加者数は次のとおり。

- ・幅広い年齢層の来館者に意見を伺うことをねらいとして、秋期企画展開催中に一定期間実施日を設けた。
- ・質問内容が多すぎるという参加者からの声を踏まえ、平成24年度からは、はい・いいえ方式の設問を導入して記載の簡素化を図っている。
- ・あわせて、はい・いいえ方式による回答の理由などを把握するために記述式の設問も残し、多様な利用者からの声が届きやすい仕組みとした。
- ・通信簿ツアーの冊子配布数は400冊、参加者(参加同意者)数は338人であった。

■通信簿ツアー評価項目

- A 山梨県立博物館(かいじあむ)に到着するまでの道のりで、わかりづらいところはありませんか？
電車の最寄り駅 バス乗り場・路線 看板 目印になる建物 県道からの入口 その他
- B 受付(総合案内)や案内スタッフの対応や誘導はいかがでしたか？
よい ふつう あまりよくない
- C 館内のサービスについてうかがいます。
01. 障害者の方に対応したサービスは充実していると思いますか？充実化、追加した方がよいサービスがあればお聞かせください。
 02. 外国人の方に対応したサービス(サイン、キャプション、パンフレット、音声ガイドなど)は充分だと思えますか？充実化・追加した方がよいサービスがあればご記入ください。
 03. 小さな子どもや親子の来館者に対応したサービスは充実していると思いますか？こんなサービスがあるとうれしい!!というものがあればお聞かせください。
- D 展示室についてうかがいます。*常設展
01. 常設展示室内では、2ヶ月ごとに資料の展示替えを行っています。過去の通信簿ツアーの結果をふまえて、常設展のおすすめ資料を紹介したバナーやパネルがエンランスおよび展示室の入口に表示されていますが、気づきましたか？
 02. 常設展はどのテーマから見ても良いように、展示室内には厳密な順路は設けられていません。それでも、順路があったほうが見やすいという方のために、案内の看板を立てたり、展示室内の地図を表示したりしています。展示室内をめぐる際、迷われてお困りになることはありませんか？
 03. 展示品のタイトルや解説類の文字は、見やすとともに、展示品の大きさなどに合わせて調整しています。文字の大きさ、内容など、読みやすかったですか？
 04. 室内にはジオラマの下の引き出し式展示やタッチパネルの映像をはじめ、壁や床面の映像や、それと連動したジオラマの演出などユニークな仕掛けがいろいろありますが、お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。
 05. 展示の解説は充実していますか？展示理解の手助けとなる解説や補助グッズ(クイズシートなど。パンフレットの裏面にあります。)についてのご意見やご提案があればお聞かせください。
 06. 常設展で、山梨のこんな資料が見たい!あるいはこんな展示があるといいな!というものがあればお聞かせください。
 07. 常設展示室の横にあるぎやかな展示場は、江戸時代の甲府城下町の散策をゲームで楽しんだりできる体験コーナー「歴史の体験工房」です。12ヶ所の「現場」があります。お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。
※ 07.の項目は、館内工事で「歴史の体験工房」が閉鎖していたため回答を求めなかった。
 08. 体験型展示のコーナーだけは「写真撮影可」ですが、そのことに気づきましたか？
 09. 体験型展示(2025年3月まで寺子屋コーナーのみ開設)では、毎週日曜日の11時より、体験イベント「あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば」などを開催しています。これまでに利用されたことがある方、楽しい体験ができましたか？ご感想があればお聞かせください。

- D 展示室についてうかがいます。*企画展
10. 今回の企画展はいかがですか？よろしければ、展覧会の中で、楽しかったところや興味を持ったところを、具体的に教えてください。
 11. 山梨県立博物館だからこそやってほしい・観たいと思う企画展のテーマがあれば教えてください。
- E 調べ物には「資料閲覧室」や「地域インデックス」をご利用いただけます。資料閲覧室は博物館の図書館です。古文書の閲覧やデジタル画像を見ることもできます。
01. 資料閲覧室は誰でも自由に入れますが、入ってみましたか？感想がありましたら、お聞かせください。
 02. 古文書の即日閲覧（申請すれば、その日のうちに博物館収蔵の古文書を見ることができるサービス）など、博物館の図書や資料の閲覧手続きはわかりやすいですか？
 03. 本年度は3回、館内での「古文書相談日」（次回は1月21日開催）が開かれています。もしお宅に古文書があれば、相談してみたいですか？古文書以外にも相談してみたい内容がありましたら、お聞かせください。
 04. 博物館周辺や県内各所の観光スポットを調べたいときや、常設展・企画展の展示を見てどこかの地域に実際行ってみたいと思ったとき、「地域インデックス」のコーナーは役に立つと思いますか？よろしければ、その理由や、このコーナーについてのご感想もお聞かせください。
- F ショップや休憩室、お庭についてうかがいます。
01. レジの対応はいかがでしょう？
 02. ショップでは、オリジナルグッズや收藏品ゆかりのグッズ、展覧会の図録・リーフレット、関連グッズを販売しています。品揃えはいかがでしょう？他にどのような商品があると良いと思いますか？
 03. 県博とNPOで製作した、まちミュージアムガイドブックも販売しています。博物館と県内市町村をつなぐ「歴史ウォーキング」に興味がありますか？
 04. ミュージアム・カフェは果物を使ったメニューが好評です。また、不定期で敷地内でパン屋さん、カフェなどの移動販売が行われています。利用したことがありますか？試してみた方はご感想をお聞かせください。
 05. お庭で食事をとることができるをご存じですか？利用したことがある方はご感想をお聞かせください。
 06. 建物のまわりの広いお庭と植栽は、博物館の自慢です。体験学習室前でお庭の季節の情報を掲示しているほか、毎月「ボランティアによるお庭の見どころガイド」（次回は11月16日・12月21日）も開催しています。よろしければ、お庭についてのご感想をお聞かせください。
- G 博物館ではイベントや普及プログラムが行われていることを知っていますか？
01. 館長トーク・古文書講座・子ども工房・スルーガイド・寺子屋ひろばなどのイベントプログラムが行われていることを知っていますか？
- H 博物館で働く人たちと交流できましたか？
01. 展示交流員（男性は赤いジャケットを、女性はグレーのチェックの上着を着ています）の説明はわかりやすかったですか？よろしければ、スタッフについてのご意見もお聞かせください。
 02. 館内には、「協力員」と呼ばれる「ボランティアスタッフ」がいて、赤色のベストを着てイベントなどで職員と一緒に活動しています。よろしければ、スタッフについてのご意見もお聞かせください。
- I 博物館に行く前に、情報を入手できましたか？
01. 県立博物館のホームページは、知りたい情報が得られるなど、役に立ちましたか？また、ホームページにどのような情報があたらよいと思いますか？
 02. 博物館では公式X（旧Twitter）でさまざまな博物館情報を発信しています。ご存じでしたか？ご覧になった方は、その感想もお聞かせください。
 03. 山梨県内の博物館が連携した「ミュージアム甲斐ネットワーク」のホームページ（<http://www.museum-kai.net/>）が公開されていますが、利用したことはありますか？
- J 最後に、これもぜひお聞かせください。
01. 1年間、何回でも博物館を利用することができる定期観覧券や、美術館・文学館・考古博物館との4館共通パスポート（ミュージアム甲斐in券）を知っていましたか？
知っている 知らなかった
 02. 以前に来館したことがある方、博物館のサービスが以前よりよくなっていると思いますか？よくなっていると思ったところがあれば、いくつでも○をつけてください。
スタッフの案内・誘導 館内の誘導サイン 展示内容 解説文の見やすさ・わかりやすさ
博物館HPやX（旧Twitter） ショップの品揃え 広報・情報発信 安全対策 その他
 03. 博物館に来たことでもっと山梨県を知りたい、観光してみたいと思いましたか？気持ちに一番近いものに○をつけてください。

山梨を知りたい・観光したい気持ちが高まった 積極的に観光したいとまでは思わないが、歴史や文化に興味があった
 観光したいとは思わなかったし、興味もわかなかった

04. もう一度、この館に来たいですか？

また来たい もう来たくない

(2) 通信簿ツアーの結果

■通信簿ツアー評価結果

回答者情報	回答数	評価者No.
年代		
10代	0	
20代	7	
30代	17	
40代	21	
50代	38	
60代	103	
70代	100	
80代	19	
90代	0	
無回答	33	
性別		
男性	123	
女性	185	
無回答	30	
来館回数		
初めて(1回目)	102	
2～5回	103	
6～11回	46	
11回～	49	
無回答	38	
住所		
県内(市町村未記入)	48	
甲府	45	
峡東(笛吹・山梨・甲州)	46	
中北(甲斐・南アルプス・昭和・中央・北杜・韮崎)	43	
峡南(身延・市川三郷・富士川)	13	
東部(上野原・大月・都留)	5	
富士北麓(富士吉田・富士河口湖・鳴沢)	23	
県外(都道府県未記入)	1	
東北(宮城)	1	
関東(東京)	20	
関東(神奈川)	16	
関東(埼玉)	12	
関東(群馬)	0	
関東(栃木)	2	
関東(茨城)	3	
関東(千葉)	6	
中部(静岡・長野・富山・岐阜)	10	
関西(兵庫)	1	
九州(鹿児島)	1	
海外	1	
無回答	41	
交通手段		
電車	17	
バス	14	
自家用車	275	
タクシー	4	
徒歩	4	
自転車	1	
バイク	0	
その他	1	
無回答	22	
来館目的		
常設展	57	
企画展	246	
イベント	9	
観光	23	
学習、調査	2	
その他	4	
同伴者		
1人	91	
家族	160	
友人	51	
団体	3	
その他	1	
無回答	32	

	質問内容・意見		
A	山梨県立博物館(かいじあむ)に到着するまでの道のりで、わかりづらいところはありましたか?		
	電車の最寄り駅	2	
	バス乗り場・路線	8	
	看板	21	
	目印になる建物	8	
	県道からの入口	19	
	その他	1	
	【ご意見】		
	甲府からバスで来て、直前に着いたのでわかりづらい所はなかった。	22	
	何回も来ているので、特にない。	34	
	看板がきれいになっていた。県道沿いの看板が新しくなってよかった。	80・94	
	わかりやすく来られた。	167・228・317	
	大丈夫。多少の土地勘があり案内も十分。	243	
	ナビがあったので、スムーズに来られた・娘がナビで連れてきてくれた	261・263・267	
	前の時行ったり来たりしたので、ナビに入っていると大丈夫。	27	
	近いのでとくになし。	279	
	案内があつてわかりやすかった。	291	
	駅からバスに乗ったので問題なかった。	300	
	看板の文字が不思議な消え方をしていた(高速から)・ICからの道、立体交差点下の博物館の看板、剥げてしまって勿体ない・河口湖方面から来て、若宮交差点の案内板が消えかかっている、見にくかった・20号を降りたところの看板が消えていた	42・44 225・287	
	バイパスを下る道の看板をもう少し大きくしてほしい。	138	
	初めて来たときは、道路標識がみつけれず、わかりにくかった。入口で迷った。	219	
	入口と駐車場への看板が少なすぎて探すのに苦労した・もう少し前から標識があればと思う	193・247	
	20号線、イエローハット右折後、駐車場より入口までわかりにくい。	216	
	最初は場所自体わかりづらい・道中の案内がなく、初めてだとわかりにくい	51・265	
	県外からだ目立たない。(バイパスから)	270	
	正面入り口の案内表示が少ない・車からの入口までの行き方がわかりにくい・西側から「入口だろう」と入りましたが、もう少しわかるように案内があつてもよい・表通りからの入口までわかりにくい	84・251 258・275	
	白線が消えていてわかりづらい。	93	
	駐車場がわかりづらい。	150	
	目印がわかりづらい。	113	
	駅の富士山行きの順番をみて長塚が過ぎたらと手に書いた。	91	
	車の運転をしないので、バスの本数が少なく不便	139・145	
	甲府駅発のバス乗り場がわからなかった。	184	
	バスで来たが入り口がわかりにくかった・正門に入ってからの博物館の位置がわかりづかった・駐車場から建物が見えず入りにくい、塀をはずしたほうがよい	300・308 321	
	タクシーにした。	244	
B	受付(総合案内)や案内スタッフの対応や誘導はいかがでしたか?		
	よい	247	
	ふつう	60	
	あまりよくない	1	
	【ご意見】		
	社員教育されていて、山梨の印象がよい。	27	
	とても親切・丁寧	79・100・167 176・269	
	いつ来てとても感じがいい。	91	
	高齢、県外のため、いろいろ説明していただいた。	132	
	親切に声をかけて説明して下さった。他の博物館ではないサービスだった。	184	
	必要事項、充分。	243	
	案内スタッフさんのガイドがおもしろくて、ずっと聞いていた。受付スタッフさん丁寧で、気配りしていただき、助かった。	261	
	説明がわかりやすい。	334	
	とても穏やかに感じた。	318	
	少しくどい(笑)。	43	
	解説の文字サイズをもう少し大きくしてほしい。	75	
	受付にいる人数が多い気がしたが、受付場所がわからなかった。ドアから誘導してほしい。	94	
	早口でよく聞き取れない・受付の説明が少し早口だった	118・309	
	丁寧だが、誘導はあまり必要ない。	189	
	どこが常設、どこが企画展なのか道案内(簡易な)があったほうがよい。	258	
	まったくよくない。騒いでいる人を注意すべき、大声でうるさすぎる。(静かに見られなかったし、うるさすぎる)	313	
	受付がわかりにくい。位置をかえたほうがよい、企画展受付が見えない。左に移動したほうがよい。	321	
	説明が長い。	322	
C	館内サービスについてうかがいます。		
C01	障害者の方に対応したサービスは充実していると思いますか? 充実化、追加した方がよいサービスがあればお聞かせください。		
	【ご意見】		
	なかなか文化にお金をかけているのがわかる。	42	
	以前母が来た時に親切に車いすを案内していただいた。	64	
	車いすで回りやすい。	225	
	来館者で車いすを使いたい人がいて、案内がスムーズでよい感じだった。	265	
	とても充実している	79・264・308	
	入口をまちがえたが、職員さんが案内してくれて助かった。	131	
	よかった・対応がよい	141・279	
	こまかく説明してもらった。	143	
	シンプルで良い。	190	
	駐車場から段差がなく入館できてよかった。	226	
	富山と比べるとよい。	228	
	イスの設置・展示場内で座るイスが1か所しかなかったので、数か所あるとゆったり見られる・足が不自由なので一寸休める場所か展示場にもあると嬉しい・一休みできるソファがあるといい・企画展のイスを増やしてほしい(高さが高いもの)	8・14・20 98・212・246	
	カートがほしい。支えがあると楽。	195・196	

	職員の誘導・案内・もう少し詳しい案内誘導をしてほしい	46・48・96 101・159・160 240・276
	点字に気づかなかった。	51・330
	点字の追加、ガイドの機械の値下げ。	72・271
	廊下(通路)が狭い	78
	とにかく、暗すぎる・常設展の室内が暗い・照明を明るく	150・162 205・314
	説明文を大きくしてほしい・可能な範囲で説明文、文字を大きく	151・285
	順路を一本にしてほしい・順路案内	153・170
	車いすをわかりやすく。	167・169
	出品リストのパンフレットを置いておくのではなく、入口で渡してほしい。	182
	会場閲覧できるもの(パンフレット)がもっとほしい。誰か見てると待ってなければならない。	219
	企画展の写真集。	219
	館内の案内表示。	235
	専門知識も少しはすべての人に多少必要かと、興味、関心の問題だが。	243
	時計(マナーにしている)ので、携帯を出さないで。	270
	多目的トイレの充実を図っていただければ、うれしい。	317
	視覚障害者のスマホ使用許可(拡大させてキャプションを読むため)	321
C02	外国人の方に対応したサービス(サイン、キャプション、パンフレット、音声ガイドなど)は充分だと思いますか? 充実化・追加した方がよいサービスがあればご記入ください。	
	【ご意見】	
	充分。	264
	音声ガイドを充実させてほしい。	93・150・173 199・243 271・276
	音声ガイド、有料…仕方がないが、無料になったらいいな・600円より300～500円くらいに	9・243
	音声ガイドの内容をもっと深く	199
	音声ガイドを英語、中国語で80%くらいカバーできるようにしてほしい	243
	解説文の下に簡単な外国語の説明の記載。	14
	資料解説の英字表記(常設展)・資料解説の英字表記、英語のみでいいので、常設展、企画展でもあったほうがいい	97・317
	館内の案内表示を充実させてほしい	40・142・160 234
	英語の他に中国語、韓国語への対応。	78
	職員の誘導・案内	159・196
	会場に設置しているパンフレットを増やしたほうがいい。	219
	外国語パンフレット、河口湖の方では外国人を多く見かける。これからは、英語表記が必要になるかもしれない。	220
	外国語パンフレット。	266
C03	小さな子どもや親子の来館者に対応したサービスは充実していると思いますか? こんなサービスがあると嬉しい!!というものがあればお聞かせください。	
	【ご意見】	
	いつも対応が丁寧で気持ちが良い。	34
	子ども向けイベント、子ども用図書、職員の案内・誘導、充実している。	220
	本のコーナーもあり、よかった。展示のヒモの説明は、子どもも楽しんでいた。	238
	職員の誘導・案内、親切に案内してくれた。	248
	子どもたちがにぎやかにかるた遊びをしていて参加型でいいと思った。	300
	難しい漢字にルビがふってあるとよい。	11
	子ども向けのイベント・子どもの興味が湧くようなイベント・体験教室	59・101・150 160・173・203 218・289・313 317・321
	子ども用図書	173・187
	子どもが楽しめるワークショップがもっとあるとよい、大人も楽しめるものもほしい。	265
	VRの設備で山梨の紹介。	81
	職員の案内指導。	141・159・187 167・313
	遊具があるとよい。	264
	子どもが楽しめそうな展示	332
	トイレにペーパータオルがほしい。	78
	科学館や美術館に比べると、遊べる場所がなく、イベントも子どもには難しい。	94
	親が観られるように15分でもいいので、託児所がほしい。	80
	授乳室の有無や場所をわかりやすくしてほしい・授乳室までの通路が暗い	93・139・219
	難しいテーマにもよるが、幼児、小学生の泣き声、付き添いの指導力	243
D	展示室についてうかがいます。*常設展	
D01	常設展示室内では、2ヶ月ごとに資料の展示替えを行っています。過去の通信簿ツアーの結果をふまえて、常設展のおすすめ資料を紹介したパネルやパネルがエントランスおよび展示室の入口に表示されていますが、気がつきませんでしたか?	
	気づいた	60
	気づかなかった	76
D02	常設展はどのテーマから観ても良いように、展示室内には厳密な順路は設けられていません。それでも、順路があったほうが観やすいという方のために、案内の看板を立てたり、展示室内の地図を表示したりしています。展示室内をめぐるとき、迷われてお困りになることはありましたか?	
	迷って困った	19
	迷わなかった	98
	迷って探すのも楽しかった	28
	【ご意見】	
	好きなどころだけ選んで見られるのがよかった。	17
	迷うほうがこの展示の面白さ(歴史に迷いこむ)に合いユニークな常設展示だと思ふ。	185
	順路はあった方がよい。	175
	好きなようにまわる。順路はあまり必要ないかと!?	243
	順路がわかりにくい・どこから観てよいかかわからない・迷う	23・24・51 139・219・250
	一方通行のほうがわかりやすい。	150・151
	行き止まりが多い、順巡りが楽。	300

	順路の看板をもっと大きく。大きな字で。暗くて見にくい。見つけにくい。		24
	少し暗かったので迷ってしまった。		315
	テープがあると、見たい所に最短距離でいけない。		17
	初めての時には順路がわかりにくいと思ったが、回数を重ねると、順路のための標識や通行止めロープが邪魔になった。		66
	迷うほど広くない。		184
D03	展示品のタイトルや解説類の文字は、観やすさとともに、展示品の大きさなどに合わせて調整しています。文字の大きさ、内容など、読みやすかったですか？		
	文字の大きさ 適当	127	
	文字の大きさ 小さい	61	
	文字の大きさ 大きすぎる	0	
	内容 適当	137	
	内容 難しい	10	
	内容 もっと詳しく	15	
	【ご意見】		
	見やすかった。		146
	コーナーのキャッチコピー的な標語がユニークでよい。		185
	展示してあるものは、素晴らしい。		250
	小さいものもあるが適当。		123
	小さい文字のものは、もう少し大きく、普通のものはOK。		174
	解説を積極的にしてもらえると楽しめると思う。時間があるか、聞いてみるのもいいのでは？		94
	1枚の解説版を載せずに数枚に。		14
	室内が暗く書いてあるものがわかりづらい・照明が暗い・全体的にちょっと暗くて字がわからない箇所があった・よく見えなくて読む気にならなかった。	16・63・66 76・250・321	
	一部の考古資料のラベルで、小さいものが気になる。		185
	展示品などに細かい字や表現があるときに、虫メガネのようなものがあるとよい。		258
	黒い展示のものの文字は人によっては見にくいと思う。		262
	ライトの当て方でもっと見やすくなるのでは。		265
	光が反射して見づらいところがある。		321
D04	室内にはジオラマの下の引き出し式展示やタッチパネルの映像をはじめ、壁や床面の映像や、それと連動したジオラマの演出などユニークな仕掛けがいろいろありますが、お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。		
	楽しめた	118	
	楽しくない	7	
	気づかなかった	23	
	【ご意見】		
	いろいろな資料が入っていて参考になった。		14
	たいへん楽しく素晴らしいと思う・楽しくてすてき		44・79
	ジオラマで当時を再現しているのを見るとわくわくする。		86
	馬にも日よけの帽子があったことに驚いた。当時の暮らしもわかり、大変勉強になった。		87
	まあいいと思う。		124
	ジオラマの人の表情が豊かでおもしろかった・ジオラマの出来がとてもよい。		90・187
	説明がわかりやすかった。興味がもてた。		269
	案内の人に教えてもらってよかった。		270
	引き出しの展示がよかった。		174・279・334
	とても楽しかった。引き出しは中身がよく見えてよい、何度来ても発見があり楽しい。		321
	引き出しをあけるのが楽しい。ジオラマがもっと多い方が楽しい。		300
	引き出しは、少し中身がわかるようにあると興味が引かれてよいと思う。		258
	それぞれの人形の解説があるともっと楽しめそう。		265
	暗い展示のため、説明文が読めないものがあった。ジオラマがよかったですけれども残念。		90
	スタッフから教えてもらわなければわからなかった。展示室全体が暗いというのもある。		24
	床面の映像切り替えが速いところがあり、もう少しゆっくりでもよいのではありませんか。(川の流れをかえる説明)		25
	引き出しがあるところがわかりにくい。もっとわかりやすい工夫が必要ではないだろうか。		30
	引き出しがわかりにくかった。航空写真の山や市などの名前を小さくしていいので、入れて欲しいのと、飛行機探しとにしても面白い。2機はありましたね。		67
	引き出しの中身のタイトルが少しわかりにくい。		139
	引き出し式で資料の傷みが気になる。開館間もなく20年。30年をたぶん目途にしているであろう、全面リニューアルができるのか、どうなるのか期待している。		185
	展示物が小さくて見にくい所があるので、拡大鏡があるとありがたい。		39
	びみょう。		58
	思ったよりもたくさんあったため、時間がたりなかった。		68
	全国の博物館で写真の解禁が進んでいるなか、著作権の問題であろうと思われるが、一部を除きながら、なんとかフリーにしていきたい。		185
	タッチパネルの反応がいまいち。		144
	タッチパネルの反応がわるすぎる。その場所にずっとたっていたいなくてはならず、つかれる。ビデオコーナーがあればうれしい。		150
	操作方法の順番等を表示してほしい。タッチパネルは作動しない所もあった。金銭の表示のものは、現在の金銭表示をしてほしい。		174
	調整中のモニターなどが多かったのが気になった。		242
	暮らしの展示のところ？映像がずっと流れていて少し音が大きいと思いました。		291
	直接に(回ってみて)常設展内の暗さがもう少し明るいほうがよいと思う。床、足もとが高齢者には、不快だった。		199
	個々のジオラマの関連性がよくわからない。		203
	ジオラマに誘導されてしまった。甲斐の国の特長がわかりにくい。		331
	暗くて字が読みにくかった。		267
D05	展示の解説は充実していますか？展示理解の手助けとなる解説や補助グッズ(クイズシートなど。パンフレットの裏面にあります。)についてのご意見やご提案があればお聞かせください。		
	解説 充実していた	111	
	解説 足りなかった	10	
	補助グッズ 充実していた	51	
	補助グッズ もっと増やしてほしい	11	
	補助グッズ 気づかなかった	19	
	【ご意見】		
	探すのも楽しかった。		265
	補助グッズが多すぎる。		331

D06	常設展で、山梨のこんな資料が観たい！あるいはこんな展示があるといいな！というものがあればお聞かせください。		
	【ご意見】		
	県内の神社の紹介と展示・県内神社の階級ごとの紹介・寺		14・35・180
	武田家・信玄公に関するもの・武田信玄の一生		19・59・67 184・203
	武田信玄の常設があったら嬉しい。		219
	県外の人から見ると、やはり最初に武田信玄がどーんとでてくるとよいと思った。		250
	武田信玄公の生立ち、亡くなるまでを詳しく知りたい。上杉との関係。		304
	富士山や富士五湖についての特設コーナー		23・337
	歴史ごとの古地図と現在の地図の比較・甲府市内の古地図(いろいろな年代のもの)		24・321
	県内各地の祭りの風景など、国中、郡内の地元の違いを知ることができたら。		60
	村の四季(年中行事)と地域ごとの歴史		72
	宝石、くだもの、ワイン		73
	ワイン製造方法など。		143
	縄文展・縄文遺産		79・150
	昔は水晶がとれたので、どういふふうにとれたのか、その後の工程、紙もみつまたこうぞをつかつての作り方。		118
	金、水晶の関わり。		144
	金(ゴールド)の展示を増やしてほしい。武田といえば黄金なので！		152
	水晶や宝石		291
	せっかくの国内有数の宝石の産地なので、専門の博物館があるのは知っていますが、少し触れていただけたら、よかった。		298
	地方病		162
	山梨の仏像展		194
	北麓地域の展示もあるといいな、と思った。		226
	戦争についての資料		241
	現代、現在を昔と対比するような変化を楽しみ、将来を連想するような内容。		243
	はにわ		249
	山岳信仰について		262
	信玄塚など防災に役立つもの		265
	甲斐犬		265
	暴れ川(富士川)の資料をもう少し充実してほしい。		269
	各市町村の文化財課のもっているとおきのもの・県内各地の文化財の紹介		270・326
	甲州弁をしゃべる人達		317
	林業で山梨の国で開発されたものを観たい。		331
	釜無川の工事について。		334
	手元にいただける資料を添えてもらえるとうれしい。		44
	いつも楽しく見学してるが、新しいシリーズもあるといい。		51
	地形、地質、民俗、産業、すべてにおいて物足りない。		56
	入口の衛星写真に、山の名前か湖の名前があるといいと思う。		66
	山梨に行ったら、ぜひ、見たいと思う目玉の展示物(ミレー等)が欲しい。		81
	解説板に「〇〇寺」などと書かれていたが、「〇〇寺(△△市)」のようにしてほしい。		258
	中庭、池のほうかが汚いので磨いたほうがいい。記念スタンプの信玄が間違っていた信玄にみえる。		321
	県民じゃないからわからない。		300
D07	常設展示室の横にあるにぎやかな展示場は、江戸時代の甲府城下町の散策をゲームで楽しんだりできる体験コーナー「歴史の体験工房」です。12ヶ所の「現場」があります。お楽しみいただけましたか？ご意見もあればお聞かせください。(令和7年3月まで休止のため質問せず)		
	【ご意見】		
D08	体験型展示のコーナーだけは「写真撮影可」ですが、そのことに気づきましたか？		
	気づいた(知っていた)		59
	気づかなかった(知らなかった)		60
D09	体験型展示(2025年3月まで寺子屋コーナーのみ開設)では、毎週日曜日の11時より、体験イベント「あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば」などを開催しています。これまでに利用されたことがある方、楽しい体験ができましたか？ご感想があればお聞かせください。		
	楽しめた		23
	楽しめなかった		1
	参加したことがない		72
	【感想】		
	子ども中心なので少し控えている。寺子屋コーナーではないが飛び出る切り絵作成は小生でも参加でき楽しかった。		14
	久々にだるまおとしをした。昔は何もなくてきたのに、大人になると全くできず、楽しかった思い出を思い出せた。		87
	子どもには、楽しみである。大いに願う。		243
	参加型がよい。もっと告知が多いとよい。たとえばTVCMとか。		300
	次、また来たい！と思うような子どものイベントがほしい。		80
	もっと種類があるとよい。		265
	展示室についてうかがいます。 企画展		
D10	今回の企画展はいかがですか？よろしければ、展覧会の中で、楽しかったところや興味を持ったところを、具体的に教えてください。		
	大満足		68
	満足		140
	今ひとつ		18
	不満		4
	【ご意見】		
	説明が丁寧でわかりやすかった。		4・210
	細工とか、それぞれ顔が違う所。		5
	仏像たちはもちろんですが入江さんの写真で奈良全体が楽しめた。(奈良に行っていたかのごとく)		6
	展示品と入江さんの写真でお寺周辺の雰囲気がよくわかった。		7
	入江先生の写真が添えられてよかった。		14・88・98 189・283・321
	仏像と写真が一緒というのは、とても良い。仏像をさらにひきたてる・写真とのコラボがすてき・写真とセットで楽しめた・写真に撮った仏像もまた雰囲気があった		51・139 211・245
	写真による奈良の姿が(景色、仏像)行ってみたいと思わせる。展示で古都の良さを感じた。		57
	写真がよかった、この作家の写真展がみたい。		219
	入江さんの写真を見ながら仏像を見ると、奈良にいるような気分になった。		273

大和まではもうあまり行けないのでなつかしくもあり、よかった・奈良に旅行に行ったことを思い出して、なつかし んだ	10・98 194・211
奈良へ旅している気分になった。奈良が好きで、何度も行っていますが、またここで見るのができたのはよかった。 とてもよかった。奈良や京都にはなかなか行かないので。	254 265
これだけの展示素晴らしい。とても楽しめた。とてもすてきだった。	26・300
こういった展覧会では、仏像を間近で拝見できてとても良いと思う・仏像を間近で見せていただけてよかった・あ んなに間近でゆっくり見学ができて、満足	34・66・85 174・251 263・316
何回か大和寺を訪れているので全体的によかったと思う。特に風景写真等の展示は現地を想像できるのでよかった。 貴重な作品を鑑賞できた。	35 42
仏像の顔。手、指の形。	46
奈良の魅力が伝わった。	49
よくこれだけのものを集めたな、と感心した、奈良へいった気分・仏像が多くよかった	50・264
古寺巡礼をコンパクトにできたようで、心が洗われました。	64
大満足は、写真が奈良の風景を補って、仏やいにしへの風情にひかれた。聖徳太子の像は、もしかして東を向いてい ます、よね。偶然か意図したならさすが!と思いました。	71
詳しく書かれていて、読みながら観させていただいた。写真より仏像は感激する。	91
梅の歴史等細かい所がわかり、よかった。	93
見ごたえあり、国宝、重文等も展示され、よかった。素晴らしい展示、知らない人も多いのでは?	109
十一面観音の写真が撮れてよかった・聖林寺の十一面観音が模造でも展示され、摸刻だからこそ、写真撮影できたこ とがよかった	111・283
実物に向き合えて、長い歴史を感じとてもよかった・実物をみれてよかった。興味をもてた	138・246
写真もきれいだし、仏様多数あり、よかった。	146
展示パネルも音声ガイドも充実していた。	149
多くの寺にある仏像を見られたので。	163
大観音菩薩の影、仏像を四方からみることができたこと。	168
快慶作品はやはりすばらしい。作品展示は、全般的にどれも見ごたえがあった。	176
仏像をみたかったので、とても楽しくみれました。山梨の紅葉を見てから来館できてよかった。	190
仏像の展示、うしろからも見られてよかった。	207
伺ったことがある寺等が多く、そのころを思い出し、嬉しかった。合掌したくなるみほとけが豊富だった。	217
奈良の仏像を山梨で見ることができてよかった。	221
貴重な仏像を360度角度からみることができ、写真もよかった。模作でも聖林寺の観音像はとてもよかった。展示光の 影とかもよかった。	227
展示説明の字が大きくて読みやすかった。	260
すべて楽しかった。奈良に行ってみたくになりました。	281
本物が見られて満足。思っていたより、たくさんあってよかった。仏像の飾りなどに目がいった。ひたいのところに 石を使っているのもあり、なんの石か気になった。	291
実際の仏像は迫力があつた。	298
聖林寺の十一面観音。法隆寺の金堂壁画。	308
如来や菩薩のことを知ることができた。修学旅行以来の奈良を旅行した気分になった。	309
とても良かった。また別の仏像もやってほしい。	322
同じテーマで継続的にやってほしい。もっと多く見たい。	326
今回山梨のお寺や神社めぐりの道中のため、大変参考になった。	334
照明は適当と思われるが、表情を見るにはよく見え、それが今一つだった。	41
照明に一考をお願いしたい、と思う像が数点あつた。	119
照明をもっと明るくしてほしい・照明をもう少し工夫してほしい	239・305
今回は、仏像が主だったので、金属製のものはもう少し明るくしてもいいのではないかと、傷まないのでは?	259
美術品にあまり光を当てられない為とは思いますが、少し暗いのではないかと。思った。	310
本物だとよかったけれど、写真でもしかたないですね・・・	13
文殊菩薩、騎獅像の後がみえた。休むところがもう一か所くらいほしかった。	22
寺の所在地を知りたかった。簡単な地図でいいので。	24
今ひとつは、途中にイスなど座れる所があるとよかった。	71
阿修羅像があつたらもっとよかった。	80
寺の様子がわかる写真が欲しかった。(寺は知っているが、寺の規模がわからない。)	81
少しはあつたが安置されているお寺の写真、また、その町の風景写真がほしかった。	321
写真が多すぎ。	89
写真だけでなく、実物をもっと見たかった。	133
●●(不明)お寺に集中した方がわかりやすいと思う。	96
解説をもう少しやさしくしてほしい。	101
説明文の文字が小さくて読みづらい。	130
目玉になる仏像があればよかった。	182
あまり知識のうすい(私のような)向けに一般的な寺の全容の写真もほしかった。	189
聖林寺の十一面観音はよかったが、残りはないして、	193
入口がぜんぜん見えなかった。	219
本当は、なぜ、いま開催する意義、目的も付け、大いにアピールすべき、こじつけでも。	243
もう少し像を展示してほしい。県内のものでいいと思う。(プラスするとしたら)	258
もう少し背部や細かくみえたかった。	264
十一面のうしろがみたいのに暗くてみれない。写真でもいいのでみてみたい。	270
展示物が少なく、料金高すぎる。	313
D11 山梨県立博物館だからこそやってほしい・観たいと思う企画展のテーマがあれば教えてください。	
【ご意見】	
武田信玄関係・やはり、他ではできないレベルの武田信玄でしよう・信玄公コーナーがあればよいです	5・230・229
県内にある信玄公の絵をみたい。	264
武田一族の歴史(武田三代等)	81
やはり、武田信玄にかかわる時代の切り取り、その他の家康などの宝物の展示など、興味がある。	85
甲斐源氏や武田氏の企画展。以前にもやったようだが。	88
武田信玄に興味あり、その時代の道徳と現代の比較	254
戦国武将	111
山岳信仰(色んな山のほくらとか神社)なりたち等・甲斐山々の神	13・46
富士山・富士山に関連したもの	23・187
富士信仰、甲州街道の旧道、他県との交流史	258
周りの山々、魅力など。	189

	山梨百名山の歴史とエピソード展		218
	企画展、常設展も兼ねた県内の寺社仏閣の展覧会・県内の仏像展		14・98 203・253
	山梨の寺社を一年に一回くらい、1～2位を深く見たり、。照明をもう少し明るく寺社の名にふりがなを。		96
	県内から「仏様が大集合」とか、県内神社から「お獅子が大集合」体験で獅子舞に挑戦とか。木喰仏、身近にあるが、道がこわくて行ったことがない。木喰、柳、浅川兄弟の関連。		283
	ますます仏像関連、信仰関連をもっと拝見したくなった。今日はありがとうございました。		44
	今回のような神社や寺など・今回のような奈良、京の仏像、文化財展・京都の仏像のお寺など。		24・71・194
	なかなか気軽に行けない奈良や京都の仏像をもっとたくさん見学できると嬉しい。		263
	十一面観音特集。		308
	田中沢さんの企画展、踊りはビデオで流したり、様々な角度で分析してほしい。		49
	子どもが楽しめるようなものをぜひ。常設展とあわせてきたい。		54
	だんだん消えてゆく、各地に伝わる「祭」や「伝承芸」について。山梨の産業の移り変わり。		57
	北斎展		64
	その年の大河ドラマをテーマとした展示、朝ドラのテーマを取り上げて展示。(今年なら法律、法令とか。)		71
	山梨の地域に生きた人の歴史の、県内の地域によって異なる特徴、歴史		72
	ゴジラなど、特撮など		73
	曼荼羅展		79
	山梨と音楽、楽器展		80
	県内の美術館や博物館等とコラボした展示		93
	明治大正時代、実業界で活躍した人々		100
	ゆるキャン△		111
	山梨を舞台にした漫画やアニメ(ゆるキャン、スーパーカブのような)の企画展をすれば、大勢の人が来るのではないかと思う。また、以前「ブータン展」を見に来たことがあって、すごくよかったので、山梨というものにこだわらずにいろいろな企画をやってほしい。		245
	山岳の動植物		143
	金山、水晶		144
	水晶。どこからどんな形でうまっって、どう掘り出して、加工していくのか		291
	県内で存在した遊園地展		168
	ネパール展(以前にしたけど) 希望		195
	また夏にやってた妖怪、おばけの企画をしてほしい。		200
	県内の国宝の展示		206
	都会では混雑で見られない空間や集客数。観光客も上野や各デパートの施設企画展のような企画があれば、バスツアーに計画してくださる会社もあるかも、と。		217
	せっかくだから人物展をやってもいいのでは。市役所にあるのは、行きづらいし、おもしろくない、深堀してほしい。		219
	山梨の偉人について詳しく知りたい。		251
	山梨の近代人物		321
	木喰上人展・木喰さんのコーナーがよかった。		229・233
	縄文の土器は、たびたびあってもいいと思う。		232
	ほうとう博物館がいいと思う。(ラーメン博物館のように)		242
	地域の資料館や収蔵物の出張展示		326
	地域史についてテーマ、中世以前の。		333
	今回とても、よかった。りっぱな博物館、内容だった。広くていい。		284
	とても充実していると思う。		316
	駐車場か入口まで来る間にも何か展示するなり、楽しめるものがほしい。お庭や駐車場をきれいにしている方々に感謝。		94
	多少、大げさでもこじつけ、理由付けて堂々と大風呂敷を広げアピール、企画、宣伝力。		243
	今回のような展示でも歴史や興味をもてるようなわかりやすいものがあたらうれしい。		246
	展示物の前でゆっくりみても大変。イスがあるともっとゆっくり見ることができるといい。		260
	予算の関係で厳しいとは思いますが、もっとメジャーな事を企画してほしい。府中博物館を参考にしてもらいたい。		312
E	調べものには「資料閲覧室」や「地域インデックス」をご利用いただけます。資料閲覧室は博物館の図書館です。古文書の閲覧やデジタル画像を見ることもできます。		
E01	資料閲覧室は誰でも自由に入れますが、入ってみましたか？感想がありましたら、お聞かせください。		
	入った		35
	入らなかった		123
	気づかなかった		19
	【ご感想】		
	最初は戸惑ったが…		14
	今回入らなかったが閲覧室に入りたい。		51・64
	案内があるといい、利用してみたい。		85
	はじめて入った。県立図書館もこんなふうの本を見せてくれたらと思った。背表紙のみをながめて大変失礼いたしました。		91
	以前入ったことがある。		139
	即日閲覧は、初めて知った。大変助かる。研究する身にとって!!		145
	思ったより、博物館に本があった。		168
	今日は入らなかったが、時々コピーしてもらっている。		220
	調べたいことがあり、利用したことがある。とてもよかった。		265
	落ち着いて調べものができそう。		291
	とても静かにすごせる。		316
	充実していると思う。何冊か参考にした。		337
E02	古文書の即日閲覧(申請すれば、その日のうちに博物館収蔵の古文書を観ることができるサービス)など、博物館の図書や資料の閲覧手続きはわかりやすいですか？		
	わかりやすい		16
	わかりにくい		15
	使ったことがない		89
E03	本年度は3回、館内での「古文書相談日」が開かれています。もし、お宅に古文書があれば相談してみたいですか？古文書以外にも相談してみたい内容がありましたら、お聞かせください。		
	相談してみたい		10
	相談する必要はない		11
	古文書を持っていない		79
	【希望する相談内容】		
	古文書ほど古くないが、処分もできず、困っている本などがある。寄贈できるか、いつか相談してみたい。		283

E04	博物館周辺や県内各所の観光スポットを調べたいときや、常設展・企画展の展示を観てどこの地域に実際行ってみたいと思ったとき、「地域インデックス」のコーナーは役に立つと思いますか？よろしければ、その理由や、このコーナーについてのご感想もお聞かせください。		
	役立つと思う	79	
	役に立たないと思う	15	
	【ご感想】		
	いつも見ている。		66
	昔、大善寺の特集をしたとき、老夫婦から「実際に行ってみたいが、ちかい？」と聞かれ、道順を教えたことがある。		283
	よくわからない。		51・219・300
	「地域インデックス」で行ってみたい所を探している。		265
	利用したことはない。		85
	コーナーがあるのはいいが、ほとんどの人はスマホに頼るだろう。		123
	観光スポットは軽やかな方が見やすい。		139
	遠いので行かない。		244
	気が付かなかった。地域に関連する本があるのは、わかった。		291
	ホテルにも似たコーナーがあり。それを利用している。		298
F	ショッピングや休憩室、お庭についてうかがいます。		
F01	レジの対応はいかがでしょう？		
	よい	54	
	ふつう	48	
	わるい	3	
	利用しなかった	84	
F02	ショップでは、オリジナルグッズや收藏品ゆかりのグッズ、展覧会の図録・リーフレット・関連グッズを販売しています。品揃えはいかがでしょう？他にどのような商品があると良いと思いますか？		
	品揃えがよい	53	
	品揃えよいとは言えない	27	
	利用しなかった	73	
	【ご意見】		
	いつも買って帰る。		220
	企画展の地域のおみやげを扱っていてよいと思った。		291
	まちミュージアムは地域の小さな遺跡などもっていて、見やすくて好きです。		291
	もう少し県内の工芸品など、増やした方が良い、大ファン。		316
	2,3回利用した。		243
	あまり魅力がない。		39
	ふつうだが、レイアウトがつまらない。		51
	店員がいないのは、なぜ？店員を呼ぶのがめんどくさい・レジの人がいなかった。不便。		80・265
	ポストカード(企画展のもの)がもっと種類があるとよかった。地蔵菩薩が少ない。		111
	良い物はすぐに売れてしまう。		18
	一言、ビニール袋はお金を払うのは仕方がないと思う。紙袋でお金を払うことは考えたほうが…。しかも5円。ビニール袋で5円はわかるけど。おみやげ買って紙袋にいれるのは普通だと思う。県立博物館の名前も入っているのに。県外から来た人にはどこで買ったかわかりやすいと思うけど、5円出してまで・買わないと思う。県立博物館の名前を忘れられる。		131
	現金のみの扱って今どき!?		158
	品切れの図録の再販を希望する。特別展は、期間中はやめに来て、図録を買うようにしているが。		185
	山梨の歴史の中で伝えることができるものなど、小さくて家中、玄関等にも飾ることができるもの。		199
	入江泰吉のカレンダーがあるとよかった。写真が楽しめたので。		211
	今回の企画展のグッズがあればよかった。		227
	あまり買いたいと思えるようなものがなかったので、センスの良いオリジナルグッズを作るなど、もう少しを工夫をしたほうがいいのではないかと思った。		245
	食べ物をもっとおいしてほしい。(期限切れになっちゃうのかな)ヨゲンのトリTシャツがほしい。		258
	レプリカがほしい。		266
	おかたいイメージがある。		283
	普通だと思う。		322・326
F03	県博とNPOで製作した、まちミュージアムガイドブックも販売しています。博物館と県内市町村をつなぐ「歴史ウォーキング」に興味がありますか？		
	興味がある	81	
	興味はない	35	
F04	ミュージアム・カフェは果物を使ったメニューが好評です。また、不定期で敷地内でパン屋さん、カフェなどの移動販売が行われています。利用したことがありますか？試してみた方はご感想をお聞かせください。		
	利用したことがある。	38	
	利用したことはない	146	
	【ご感想】		
	いつもと違う場所でありながら落ち着けた。		6・229
	すごくおいしかった。		32
	パフェが非常においしかった。		122
	地元のものを使っているのと、変わったメニューが多くてとてもよかった。		245
	内装もきれい。食事メニューを増やしてほしい。		265
	カフェは生まれ変わり、びっくり。鑑賞の余韻にひたるにはぴったり。65歳以上は、無料なのでその分、コーヒーやケーキを頼んじゃう。		283
	昔は利用しましたが、		14
	カフェを利用、落ち着かない。高くておいしくなかった。		39
	価格設定が高価、気楽にお茶しましょう、というスペースがほしい。		60
	高いね。		94
	パフェがちよっと高かったので、ハーフサイズでもう少し安いがあるとよかった。		245
	コーヒーを飲んだ。少しお高い、軽食がなかったので不便。		300
	店内が外からの入口から見えないのでメニューがわからず入りにくかった。(あったとしたら気づきにくかった)		71
	今日はカフェ休業中だった。その情報がどこにもない・休み、残念・悲しい		51・58・80
	アレルギーで果物やカフェインがとれない。		111
	カフェで卵サンドとコーヒーを注文。外のテラス席があると聞いていたが、なかったのが残念。		219
	数が少し。少なくなると・食べたい品物がなかった		260
	コーヒーが濃すぎる、ゆったりさせる。		316
	食事のメニューがもう少しあるといい。入口がわからない		321

F05	お庭で食事をとることができるのをご存じですか？利用したことがある方はご感想をお聞かせください。		
	知っている	35	
	知らなかった	166	
	【ご感想】		
	とても素敵だと思う。		13
	イスがなくて、庭にそのまま座るのはNG。カフェに寄るつもりだったのに。外にイスは出しておくべき・外にイスもない・ベンチがほしい		51・139・321
	こういったことも案内があると利用してみたい。		85
	利用はない。		227
	どこで食べていいか、わからない。		265
	カフェから外を眺めていて初めて知った。		283
F06	建物のまわりの広いお庭と植栽は、博物館の自慢です。体験学習室前でお庭の季節の情報を掲示しているほか、毎月「ボランティアによるお庭の見所ガイド」も開催しています。よろしければ、お庭についてのご感想をお聞かせください。		
	【ご感想】		
	広くて整備されており、気持ち良く散歩することができた・見所満載、広くて楽しい・いつもきれいに掃除してあって、きもちいい・手入れができていた		6・14・139 211・218・271
	お庭がきれい。ゆっくり拝見したいと思う・美しかった・すばらしかった・癒やされる・心和む・緑が多く、ゆっくり散歩したいと思う		9・32・70 81・95・124 194・196・213 226・229・298
	天気もよく紅葉がきれいだった・ご苦労様です。落葉のお掃除大変ね・明るくてとてもよい気持ち		10・80・146 148・206・245 291・300
	今日のみてないが、見所ガイドに参加してみたい。		51
	落ち葉やドングリが拾えて楽しそうだった。いろんな木があってよい。		54
	いろいろな木があり、広い芝生の丘も落ち着ける場所だと思った。		57
	ゆっくりさせてもらった。		67
	このアンケートで知ったので、これから行く。		68
	参加してみたいし、散歩だけの利用もいいのか。		85
	竹林が日本の風土をよく表している。		130
	次回からは、ゆっくりみてみようと思う。お庭すばらしいと思う。		189
	手入れが大変だろうが、キープしてほしい。		211
	開館直後にお庭ガイドの講師が知っている先生だったので、それからは時々散歩している。		220
	カフェ側から見た。広々としていて気分がよかった。		259
	お庭ガイドに参加したことがある。とてもよかった。		265・321
	駐車場は利用しにくい。庭への誘導がわかりにくい。		39
	素晴らしい広場にお庭、もっとイベントをするべき。		94
	広くていいかな、と思うが一方もったいないと思うこともある。活用面で。		123
	テラスから木々の色づきを眺めたかったがイスがなくて残念だった。		139
	庭は、きれいに掃除されているけれど、博物館正面の垣根は草ボーボーで残念だった。正面は、顔だと思う。		219
	もう少しお花があたりしてもいいのではないかなと思う。		245
	きれいに整備されていたが、見る人が少なくて残念。		260
	竹はもっと広く遊歩道にあってほしい。		264
	お庭に中を歩けることが、周知されていない。入口とかにわかりやすく掲示してほしいな。		283
	鳥の観察もしてみたい。		291
	ぜいたくな所だな...、と思った。		310
	中庭、池のほうが汚いので磨いたほうがいい		321
G	博物館ではイベントや普及プログラムが行われていることを知っていますか？		
G01	館長トーク・古文書講座・子ども工房・スルーガイド・寺子屋ひろばなどのイベントプログラムが行われていることを知っていますか？		
	知っている	94	
	知らなかった	93	
H	博物館で働く人たちと交流できましたか？		
H01	展示交流員（男性は赤いジャケットを、女性はグレーのチェックの上着を着ています）の説明はわかりやすかったですか？よろしければ、スタッフについてのご意見もお聞かせください。		
	わかりやすかった	64	
	わかりにくかった	8	
	説明を受けられなかった	35	
	説明は不要	20	
	【ご意見】		
	若い男性で学生さんたちに説明をしている方がおられた。とてもよかった。		9
	特に不便はなかった。		51
	とても親切に教えていただいた。		66
	本を読んで来たので分かりやすかった。		146
	要所でわかりやすい解説をしてもらい、大変よくわかった・説明が適度でよかった・丁寧でよかった・とても詳しく説明も上手だった		186・228 229・321
	多少質問した。ありがとうございました。		255
	興味深い話を聞いた。		258
	とても楽しくて、時間を有意義に使えた。本当にありがとうございました。		261
	聞きたいときに声をかけたい。		111
	とくに交流することがなかった。		131・139・172
	知らなかった。		189
	赤ジャケットの方には、会わなかった。		219
	わかっていたが、聞きたいことがあれば、こちらから声をかけようと思っていた。		250
	今日、11月15日は、学校の子が鑑賞していたが、静かに見ていい意味でびっくり。ところが交流員の人が立って、時間の交代のことでしゃべっていた。これは、よくない。		283
H02	館内には、「協力員」と呼ばれる「ボランティア・スタッフ」がいて、赤色のベストを着てイベントなどを職員と一緒に活動しています。よろしければ、スタッフについてのご意見もお聞かせください。		
	【ご意見】		
	話しかけやすく、安心感があり、わかりやすく説明していただけて、嬉しかった。		132
	わかりやすく丁寧に教えてもらった。		258
	皆様、ボランティアとお聴きして驚く。ご協力ありがとうございます。		316

	協力ががすくなってきたと聞いたことがあるので、大変かと思いますが頑張ってください。		271
	スタッフがわからなかった。		70
	そうじに夢中で話しかけにくい状況だった。		78
	あわなかった。		139
	わからなかった。ありがとうございます。		189
	よく知らない。		219
	時々しつこく話しかけてくる人がいた。		220
	ボランティアスタッフがいることに気が付かなかった。		310
	ボランティアスタッフとは気が付きにくい。わかりやすい服装にしてほしい。		312
I	博物館に行く前に、情報入手できましたか？		
I01	県立博物館のホームページは、知りたい情報が得られるなど、役に立ちましたか？また、ホームページにどのような情報があつたらよいと思いますか？		
	役に立った(知りたい情報があつた)	94	
	役に立たなかった	4	
	ホームページは見えていない	96	
	【ご意見】		
	さらに詳しい内容や展示物の説明があるとよい。(事前学習のため)		11
	TVCM。		29
	カフェの営業状況を知りたかった。		51
	県立図書館にあった資料をみて、行きたいと思った。		91
	スマホ用のページを作成してほしい。		97
	HPのつくりが古い。		122
	たまたまにきたので調べなかった。		143
	体の関係で選出不可のころの歴史を取り上げてくださるとありがたい。		199
	もっとホームページは、充実してほしい。		203
	企画展の内容もう少し、紹介されているとよいと思った。		291
	ホームページというものは関心がある人がみるもので一般の人に知らせるための手段ではない。		310
	古地図(おたのしみ資料)		321
	もう少しわかりやすくしてほしい。		333
I02	博物館では公式X(旧Twitter)でさまざまな博物館情報を発信しています。ご存じでしたか？ご覧になった方は感想もお聞かせください。		
	見たことがある	29	
	見たことはない	159	
	【ご意見】		
	とても楽しみにしている。		49
	映像がたくさんあるとうれしい。(国立博物館がすごい)		93
	次回の企画は、というときだけ。		123
	Facebookありますか？ちょっとひらいてみましたが、古い情報でとまっていたかもしれません。		291
	パソコンやTwitterは若い人のもので、一般的ではない。		310
I03	山梨県内の博物館が連携した「ミュージアム甲斐ネットワーク」のホームページ(http://www.museum-kai.net/)が公開されていますが、利用したことがありますか？		
	利用したことがある	11	
	利用したことはない	164	
J	最後に、これもぜひお聞かせください。		
J01	1年間、何回でも博物館を利用することができる定期観覧券や、美術館・文学館・考古博物館との4館共通パスポート(ミュージアム甲斐in券)を知っていましたか？		
	知っている	72	
	知らなかった	156	
J02	以前に来館したことがある方、博物館のサービスが以前よりよくなっていると思いますか？よくなっていると思ったところがあれば、いくつでも○をつけてください。		
	スタッフの案内・誘導	69	
	館内の誘導サイン	17	
	展示内容	38	
	解説文の見やすさ・わかりやすさ	25	
	博物館HPやX(旧Twitter)	3	
	ショップの品揃え	4	
	広報・情報発信	4	
	安全対策	8	
	その他	0	
	【ご意見】		
	以前からいい。		91
	一般的に向上していると思う。		93
	イスが増えていた。よかった。		139・219
	スタッフの対応がよくなっていると思った。		174
	展示内容はいつもよい。		189
	カフェができてよかった。		265
	企画展をもう少し安くして多くの人の入館をしたほうがいいと思う。赤字経営でも何とか改善を求む。		39
	企画展の料金高い。スタッフの人数が多すぎる。		40
	上記のパスポートで美術館のショップでは割引を受けられた。博物館でもぜひやってほしい。		66
	初めて来館		190
	解説文を読むときに暗いのでスタンドがほしい。		195
	特に気が付かなかった。		227
J03	前、夏に来た時に、スタンプラリーのような展示物を探してチェックする企画は、楽しかった。参加できるものも増やしてほしい。		322
J03	博物館にきたことでもっと山梨県を知りたい、観光してみたいと思いましたか？気持ちに一番近いものに○をつけてください。		
	山梨を知りたい・観光したい気持ちが高まった	69	
	積極的に観光したいとは思わないが、歴史や文化に興味があった	41	
	観光したいとは思わなかったし、興味もわかかなかった	4	
J04	もう一度、この館に来たいですか？		
	また来たい	211	
	もう来たくない	5	

	【ご意見】		
	企画展にきたい。		24
	喫茶店が休みのため、残念だった。時間がなくなったので、ここまで！		27
	わからない。		58
	企画展による・内容によって		80・94 123・300
	アンケートはこんなにしなくて、一枚書きの用紙で表裏でも後の資料もかえてしまうのは、もったいない・通信簿が立派すぎる。紙でよいのでは？		91・296
	特別展があったらうれしい。		199
	もう少しイスなど休めるところがあればうれしい。		281
	地方病のコーナーが準備中だったけど、みなかった。		291

※「評価者No.」は通信簿の提出者それぞれに機械的に付与した番号であり、同一番号は同一人物の回答によるものであることを示す。

※回収数は338人分だが、家族で一冊など複数回答の冊子があった。

※「ご意見」欄は、重複意見は集約して掲載した。

■評価結果の分析

平成18年度以来続けてきた通信簿ツアーでは、寄せられた利用者の声に可能な限り対応をし、より親しみやすい博物館づくりの参考としてきた。

令和6年度の通信簿ツアーは、秋期企画展開催中に一定期間の実施日（11月11日～11月16日）を設けて実施した。通信簿の内容については精査した。館内工事のため体験型展示「歴史の体験工房」についての設問は回答を求めなかったが、設問数は昨年度と同程度にして実施。

通信簿ツアー参加者の年代については、60代以上の割合が72.8%に上がった。中でも60代、70代の来館者が圧倒的に多い。一方、10代から30代の割合は7.9%であった。割合的には昨年度よりも0.7ポイント上がったが、依然として低い数値になっている。博物館ファンの方にも満足していただきながら、若い世代が博物館に足を運ぶ機会を作る必要がある。

博物館までの交通手段は87%以上の方が自家用車で来館している。初めて来館した方の中には看板が少ない、見づらいという意見が寄せられ「入り口がわかりづらい」という声が多かった。また、来館者の75.1%が県内在住者、20.9%が関東在住者だった。リピーター来館者の割合は回答者全体の66%であり、その中で来館回数6回以上の割合が回答者全体の31.7%であった。来館の目的としては72.1%が企画展と回答した。これらの項目は、例年と比べ大きな変化は見られない。

続いて、令和6年度の結果について概観する。全体的に、自由記述欄への記入も多く具体的な意見が書かれ、参加者の博物館に対する期待の高さがうかがわれた。

(B)「受付(総合案内)や案内スタッフの対応や誘導はいかがでしたか?」という設問に対して、「よい」回答率が80.2%、「ふつう」回答率が19.5%であった。令和5年度よりも「よい」回答率については上昇したが令和4年度の値には届いておらず、「ふつう」の回答者が横這いの状態である。記述欄には、親切で丁寧な案内や説明などの対応を受け「山梨の印象がよい」「いつ来てもとても感じがいい」という記述が見られた。「あまりよくない」との回答は1人だったが、令和5年度は否定的な記述がなかったのに対して令和6年度は「受付の人数が多かったが受付場所がわからなかった、ドアから案内をしてほしい」「説明が長い・少しくどい」「早口で聞き取れない」といった意見があった。受付の体制・態勢や、説明事項の精査の必要性を指摘されていると感じる。

館内サービスについての項目では、(C01)「障害者の方に対応したサービスは充実していると思いますか?」という設問に対して「充実している」や、職員の親切な案内があったことに対して好評価していただいている反面、昨年度から引き続き「職員の誘導や案内」を希望する声や「座ることのできる休む場所を増やしてほしい」という声が多かった。令和5年度の意見より、ロビーやカフェに続く通りにイスを設置したが、展示室内への休憩スペース増設を望む声が多く寄せられた。さらに、「視覚障害者のスマホの使用を許可してほしい」という意見があった。令和6年度は視覚障害者へ向けた機器の体験やギャラリートークに手話通訳を依頼するなどサービスの充実を図っており、今後もそうした活動を模索していく。(C02)「外国人の方に対応したサービスは充分だと思いますか?」という設問に対して、昨年度に引き続き外国人に向けたパンフレット・外国語の解説や案内(音声ガイド)・キャプションの外国語表記・館内表示を充実させてほしいという要望が多数上がった。音声ガイドについては内容面の充実を望む声もあった。(C03)「小さな子どもや親子の来館者に対応したサービスは充実していると思いますか?」という設問に対しては、例年と同様に子ども向けイベント・展示解説を実施してほしいという要望を多くいただいております、改善の必要性が高まっている。

次に、展示についてである。(D01)常設展が2ヶ月ごとに展示替えを行っていることについて、おすすめ資料を紹介したバナーやパネルに対しては、令和5年度と同様「気づかなかった」回答率が「気づいた」回答率を上回った。テーマ性をもたせた展示替えは、資料保存の観点のみならず、リピーター来館者も考慮して博物館が力を入れてきた活動であるが、多くの来館者に周知できているかということ、不十分であるという結果になった。今後さらに、展示替えに関する継続的で具体的な広報の方策を検討していき、新た

な博物館の魅力として認知されるようにしていきたい。

順路について、今年度は館内工事のため2つのルートを示したが「どこから観てよいのかわからない・迷う」という意見があった。また、開館以来続けてきたキャプション等の文字の大きさや見やすさなどの課題(D03)については改善が進み、「文字が小さい」という意見は少なくなり成果の表れを感じた。しかし、展示室内の明るさに対しては「暗くて資料やキャプションが観にくい」という意見が多く上がった。これは他の項目でも散見される意見である。資料保護の観点から、明るさに制限があることを理解していただくための工夫がより必要になると思われる。

ジオラマや引き出し式展示については、当時の理解を深める手立てになっていたり、引き出しを開けることによって資料が顔を出す仕組みに楽しさを感じたりしている意見が寄せられ、「楽しめた」という回答が回答者全体の80%以上であった。しかし、19.5%は「気づかなかった」と回答しており、声かけ等の気づく工夫が必要になる。タッチパネルについては、「反応が悪い」「操作方法がわからない」などの改善を望む声が多かった。

(D06)「常設展で山梨のこんな資料がみたい！あるいはこんな展示があるといいな！というものがあればお聞かせください」の設問に対しては、「県内の神社や寺の紹介」「武田信玄や武田家」「古地図の比較」「水晶・金・宝石に関する展示」等の来館者の要望が多数寄せられた。「通信簿ツアー」の実施期間に企画展「奈良大和路のみほとけー令和古寺巡礼ー」が開催されていたので「県内の神社や寺の紹介」「山梨の仏像展」が上がってきたのだと思われる。来館者が山梨を見つめ直すきっかけになったことは大いに評価できることだと考える。

(D09)「体験型展示(2025年3月まで寺子屋コーナーのみ開設)では、毎週日曜日の11時より、体験イベント「あそぼう！まなぼう！寺子屋ひろば」などを開催しています。これまでに利用されたことがある方、楽しい体験ができましたか？ご感想があればお聞かせください。」の設問に関して、(C03)「小さな子どもや親子の来館者に対応したサービスは充実していると思いますか？」では、子ども向けのイベントの実施を要望しているが、(D09)では75%が「参加したことがない」と回答している。子ども向けのイベントを望んでいる一方で参加していないという状況である。一概には言えないが、広報、イベント内容、開催日や対象などを再検討することが望まれる。

企画展については、前述通り通信簿ツアー実施期間中に「奈良大和路のみほとけー令和古寺巡礼ー」が開催されていた。全体的な評価として、(D10)企画展を楽しめたかの設問における「大満足」「満足」を合わせた回答は90.4%(令和5年度93.2%)と非常に高い数値となった。具体的な記述として「写真が添えられてよかった」「懐かしむことができた」「仏像を間近でゆっくり拝見できてよかった」との意見が多かった。また、(D12)企画展の希望テーマについては、(D06)「常設展で山梨のこんな資料がみたい！あるいはこんな展示があるといいな！というものがあればお聞かせください」と同様に「武田信玄」や「武田家の歴史」が多かった。次いで「富士山関連」「山岳信仰」、「県内の神社や寺」「仏像関連」「木喰さん」の希望が多い。他にも様々な意見をいただいた。展示内容そのものについての意見は、今後の展覧会の計画を検討するうえで参考にしていきたい。

資料閲覧室の利用については、「入った」と回答したのは35人(19.8%)と少数であり、「入らなかった」・「気づかなかった」と回答したのは142名(80.2%)であった。具体的な記述には「今回は入らなかったが入ってみたい」「初めて入った、他の館もこのように本を見せてくれたらと思った」という意見があった。概ね好意的な意見が連なった。中には「即日閲覧は初めて知った」や「案内があるといい」という意見もあり、活用方法などをアピールし様々な方が利用するよう周知を図っていく必要がある。

展示以外の施設については、令和6年2月にオープンしたカフェについて、(F04)「ミュージアム・カフェは果物を使ったメニューが好評です。また、不定期で敷地内でパン屋さん、カフェなどの移動販売が行われています。利用したことがありますか？試してみた方はご感想をお聞かせください。」という設問を設定した。「おいしかった」「落ち着ける」「地元のものを使っていい」という意見があった。一方で「価

格設定が高い、気軽にお茶をしようというスペースがほしい」「休業の情報がない、来てみて残念に思った」等の声が多かった。これらの意見をカフェ側にも伝え、改善を促していきたい。

(F06)「お庭についてのご感想をお聞かせください」の記述欄には、「広くて整備されており気持ちがいい」「癒やされる、心が和む」「お庭の見所ガイドに参加してみたい」など肯定的なご意見が多かった。また、「様々な活用ができるのではないか」「イスを設置してほしい」などの要望もあり、さらに発展できる伸びしろがある。

(H01)「展示交流員の説明はわかりやすかったですか？」では、半数の64人(50.4%)の方が「わかりやすかった」と回答した。その反面「わかりにくかった」「説明を受けられなかった」は43人(33.9%)と決して少なくない数値だった。展示交流員は当館の特徴であるので、今後の大きな課題として捉えたい。記述欄には「説明が丁寧、とても詳しく説明が上手だった」「とても楽しく時間を有意義に使えた」という意見がある一方、「とくに交流することがなかった」「知らなかった」という声もあった。来館者の方が「展示交流員と話してよかった、楽しかった」と思えるような方策を検討したい。

最後に総合的な設問として、(J02)「博物館のサービスが以前よりよくなっていると思いますか？」について聞いてみたところ、よくなっている点として「スタッフの案内・誘導」、「展示内容」、「解説文の見やすさ・わかりやすさ」の順で多かった。また、(J04)「もう一度、この館に来たいですか？」の設問には、全回答者の97.7%にあたる来館者が、「また来たい」と答えている。

以上、令和6年度の通信簿ツアーでは、これまでに改善を進めてきた事項の成果の蓄積が感じられるとともに、継続的な課題や新たな課題について確認することができた。また、具体的な意見や要望が多く見られた。具体的な記述に関しては、利用者の県立博物館に対する期待の反映であると捉え、実施可能な内容は反映させるとともに、運営や資料保存、その他の観点から実施不可能な内容については、その理由も含めて周知を図ることが求められる。そして、さらなる博物館活動に対する利用者の理解につなげていきたい。少数ではあるが、苦情につながりかねない意見もあった。これらを真摯に受け止め改善につなげていきたい。可能な限り利用者とのコミュニケーションを重視し幅広い年代や様々な方が博物館に行きたくなるよう、今後も県立博物館の使命と機能を果たしていきたい。また、小さな課題も軽視せず職員間で共有しながら改善に取り組みたい。

(3) 意見交換会の内容

令和7年1月26日(日)に体験学習室と常設展示室にて実施した。参加人数は一般の方11名、博物館職員6名の計17名であった。テーマを「50年後に語り継ぎたい山梨の宝もの」とし、各自の視点から博物館の魅力を発見するとともに、絵に描いたり他者にその魅力を伝えたりすることを通じて、その展示について細部まで観察し、より深く理解することにつながった。描かれたプレゼン用紙をまとめてポスターサイズにし、エントランスに掲示した。成果の公表と来館者に資料をみる時の参考にしてもらった。

他者の関心や知識を共有することで、視野が広がったり展示や資料の新たな魅力に気づいたりすることができる。こうした手法は、今後の学校見学や博物館活動にも取り入れていきたい。

第Ⅱ編 事業・諸活動

第1章 運営・ミュージアムサービス

(1) 運営・ミュージアムサービスの方針

県立博物館は、

- ・「調査研究」(第Ⅱ編第2章参照 以下、章のみ)
- ・「資料の収集・保管・活用」(第3章)
- ・「展示」(第4章)
- ・「企画・交流事業、県民参画」(第5章・第8章)

を柱とした事業・活動をとおして、県立博物館の使命の実現を目指している。「県立博物館事業体系図」のとおり、それぞれの事業・活動は密接に関連し合いながら、館の活動総体を高めていく。

県立博物館が提供するこれら諸サービスは、子どもから高齢者まで、誰もが気軽に学べ、何度来ても楽しめる博物館となることを基本方針とする。

そのためには常に、利用者が満足できる魅力あふれる事業・活動を企画・実行すること、快適に利用できる施設として整備すること(第6章)、あわせて、情報化社会に対応した情報システムの充実・強化を図ること(第7章)が必要である。

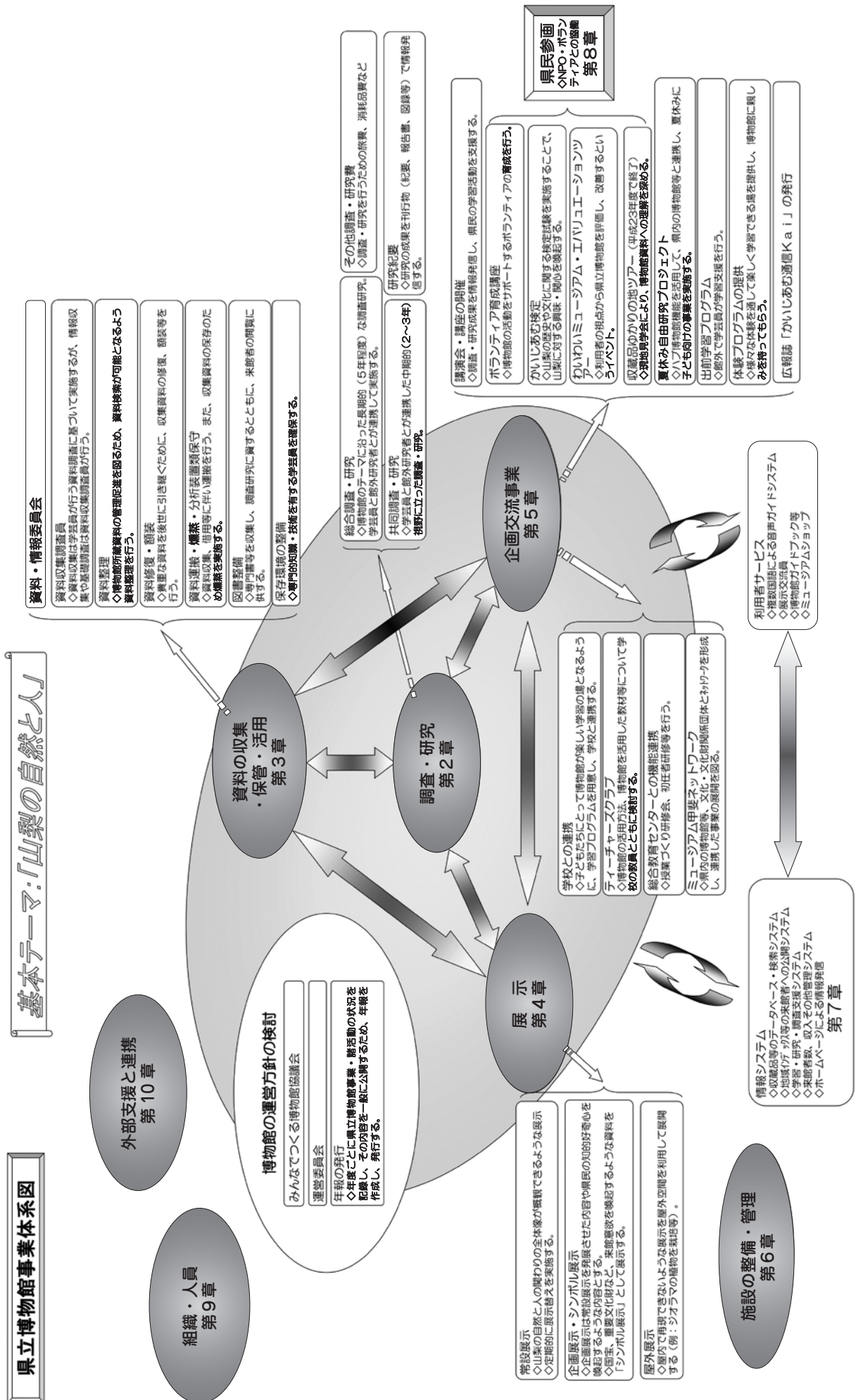
また、博物館の各種事業は、専門的かつ高度な知識や技術が必要となることから、これらの知識を着実に蓄積することのできる創造性の高い組織作りを行う。同時に、ネットワークを生かし、外部支援も導入しながら開かれた博物館運営を行い、県民や利用者のニーズの変化に応えられるよう努めていく(第9章・第10章)。

(2) 令和6年度利用者状況一覧

県立博物館の事業・活動は、調査・研究、資料の収集・保管・活用・展示、企画交流事業、施設の整備・管理、情報の発信と公開、県民参画など多岐にわたり、その成果をミュージアムサービスとして県民に還元しているところである。

これらミュージアムサービスのうち、数値実績として表現できるものについては、「令和6年度 県立博物館利用者状況」として一覧化した。県立博物館では、提供する諸サービスの総計を「総利用者数」として捉え、今後、総利用者数の増加を目指し、多くの人々に満足してもらえるミュージアムサービスを提供していく。

- ※1 博物館の利用者とは、博物館の施設や提供する諸サービスを利用した者および博物館の事業・活動に参加したすべての対象者をさす。なお、一部の項目については、重複して統計に表れる性質がある。
- ※2 一覧に示す利用者数は令和6年度分(令和6年4月1日から令和7年3月31日まで)の実績である。なお()内の数値は平成17年度分から令和6年度分までの実績数値を加えたものである。
- ※3 県民参画事業のうち、「交流拠点形成事業」及び「わいわいミュージアム」は平成18年度で終了した。替わりに平成19年度からは、「かいじあむ検定」、「通信簿ツアー」が新規に実施された(第8章)。このため、平成17～26年度までの実績を示すにあたり、「かいじあむ検定」の場合は平成18年度までの「交流拠点形成事業」の実績を、「通信簿ツアー」の場合は平成18年度までの「わいわいミュージアム」の実績でそれぞれ集計した。また、「収藏品ゆかりの地ツアー」は、平成23年度で終了した。



基本テーマ: 『山梨の自然と人』

県立博物館事業体系図

資料・情報委員会

- 資料収集調査員
 - 資料収集は学芸員が行う資料調査に基づいて実施するが、情報収集や基礎調査は資料収集調査員が行う。
- 資料整理
 - 博物館所蔵資料の管理促進を図るため、資料検索が可能となるよう資料整理を行う。
- 資料修復・額装
 - 貴重な資料を後世に引き継ぐために、収蔵資料の修復、額装等を行う。
- 資料運搬・梱装・分析装置類保守
 - 資料収集、借用等に伴い運搬を行う。また、収蔵資料の保存のため梱装を実施する。
- 図書整備
 - 専門書等を収集し、調査研究に資するとともに、来館者の閲覧に供する。
- 保存環境の整備
 - 専門的知識・技能を有する学芸員を確保する。

資料の収集・保管・活用 第3章

調査・研究 第2章

- 総合調査・研究
 - 博物館のテーマに沿った長期的(5年程度)な調査研究。
 - 学芸員と館外研究者とが連携して実施する。
- 共同調査・研究
 - 学芸員と館外研究者とが連携した中期的(2~3年)視野に立った調査・研究。
- 研究紀要
 - 研究の成果を刊行物(紀要、報告書、図説等)で情報発信する。
- その他調査・研究費
 - 調査・研究を行うための旅費、消耗品費など

展示 第4章

- 常設展示
 - 山梨の自然と人の関わりの全体像が観察できるような展示
 - 定期的に展示替えを実施する。
- 企画展示・シンボル展示
 - 企画展示は常設展示を基盤させた内容や国民的関心の喚起するような内容とする。
 - 国宝、重要文化財など、来館意欲を喚起するような資料を「シンボル展示」として展示する。
- 屋外展示
 - 屋内で再訪できないような展示を屋外空間を利用して展開する(例:シオラマの植物(在来種等))。

企画交流事業 第5章

- 学校との連携
 - 子どもたちにとって博物館が楽しい学習の場となるように、学習プログラムを用意し、学校と連携する。
- ティーチャーズクラブ
 - 博物館を活用した教材等について学校の教員とともに検討する。
- 総合教育センターとの機能連携
 - 授業づくり研修会、初任者研修等を行う。
- ミュージアム用基盤ネットワーク
 - 県内の博物館、文化、文化財関係団体とネットワークを形成し、連携した事業の展開を図る。

施設の整備・管理 第6章

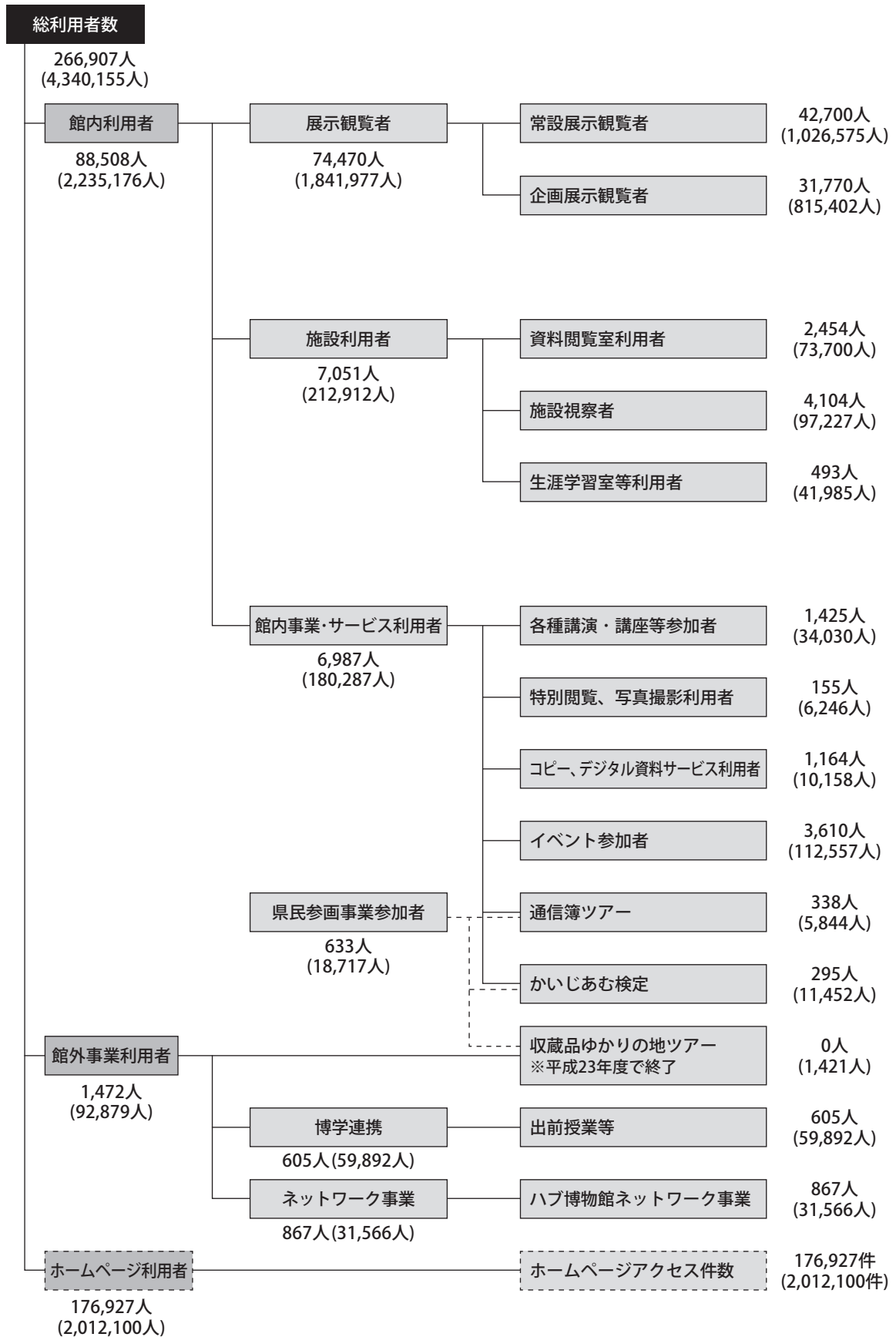
- 情報システム 第7章
 - 収蔵庫等のデータベース・検索システム
 - 地域内外の来館者への公開システム
 - 学芸・研究・調査支援システム
 - 来館者数、収入その他管理システム
 - ホームページによる情報発信

- 利用者サービス
 - 検索履歴による音声ガイドシステム
 - 無料貸出機
 - 博物館カドブック等
 - ミュージアムショップ

県民参画
ONPO・ポラン
ティアとの協働
第8章

- 講演会・講座の開催
 - 調査・研究成果を情報発信し、県民の学習活動を支援する。
- ポランティア育成講座
 - 博物館の活動をサポートするポランティアの育成を行う。
- かいじあひびび
山梨の歴史や文化に関する体験試練を実施することで、山梨に対する興味・関心を喚起する。
- わいわいミュージアム・エバリュエーションツアー
 - 利用者の視点から県立博物館を評価し、改善するというイベント。
- 収蔵品かきりの地ツアー(平成23年度で終了)
 - 現地見学会により、博物館資料への理解を深める。
- 夏休み自由研究プロジェクト
 - ハブ博物館機能を活用して、県内の博物館等と連携し、夏休みに子ども向けの事業を実施する。
- 出前学習プログラム
 - 県外で学芸員が学習支援を行う。
- 体験プログラムの提供
 - 様々な体験を通して楽しく学習できる場を提供し、博物館に親しむを持ってもらう。
- 広報誌「かいじあひびび通信Ka ji」の発行

■令和6年度 県立博物館利用者状況



※()内の数値は平成17年度分から令和6年度分までの実績数値の総計である。

■開館年度(平成17年度)から令和6年度までの年度別統計

総利用者	館内利用者 (a + b + c)										館外利用者					ホームページ利用者					
	展示利用者 (a)		施設利用者 (b)		サービス利用者 (c)						県民企画事業 収 蔵 品 ゆ かり の 地 ツアー	博 学 連 携 出 前 展 覧 等 受 講 者	ハブ博物館 ネットワー ク 事 業								
	常設展示 (発券数)	企画展示 (発券数)	資料閲覧室 利 用 者	施設 施 察 者	生涯学習室 等 利 用 者	講座・ 講演会 利 用 者	特別閲覧・ 写真撮影等 利 用 者	イベント 参 加 者	通 信 簿 ツ ー ア ー	かいじあむ 検 定											
17年度	143,415	114,412	98,578	66,274	32,304	10,889	6,085	1,190	3,614	4,945	1,321	92	209	2,911	180	232	433	282	151	0	28,570
18年度	221,107	149,254	124,182	92,277	31,905	16,043	7,957	3,674	4,412	9,029	2,604	263	479	5,213	345	125	1,451	195	156	1,100	70,402
19年度	203,261	126,055	105,596	66,291	39,305	13,908	7,306	3,486	3,116	6,551	1,515	219	496	3,861	240	220	4,833	166	1,317	3,350	72,373
20年度	169,893	97,551	73,419	49,634	23,785	12,461	4,754	4,262	3,445	11,671	1,649	265	549	8,613	143	452	2,781	180	1,076	1,525	69,561
21年度	233,815	145,172	119,288	59,508	59,780	13,034	4,399	6,640	1,995	12,850	3,553	330	488	7,029	231	1,219	5,194	274	3,871	1,049	83,449
22年度	231,369	145,518	112,363	56,505	58,858	17,855	4,060	11,718	2,077	15,300	2,937	83	444	11,121	188	527	3,728	141	2,670	917	82,123
23年度	200,843	112,026	90,090	49,858	40,232	12,558	3,354	6,800	2,404	9,378	2,473	276	402	4,943	166	1,118	4,658	183	3,721	754	84,159
24年度	200,181	107,246	86,695	49,341	37,354	11,120	2,983	4,769	3,368	9,431	3,003	306	427	4,633	183	879	7,110	0	6,077	1,033	85,825
25年度	213,116	121,898	101,746	57,860	43,886	10,900	4,067	4,295	2,538	9,252	1,635	422	453	5,443	468	831	7,220	0	6,350	870	83,998
26年度	200,624	109,888	92,621	47,119	45,502	9,334	3,609	3,373	2,352	7,933	1,339	278	359	5,312	364	481	5,548	0	4,740	808	85,188
27年度	252,303	155,517	135,417	57,879	77,538	11,273	4,140	5,241	1,892	8,827	1,309	306	343	5,673	396	800	5,303	0	4,434	869	91,483
28年度	202,665	97,898	75,051	41,133	33,918	9,405	2,924	4,569	1,912	13,442	2,105	335	545	9,431	267	759	10,071	0	4,327	5,744	94,696
29年度	236,110	131,264	105,822	55,118	50,704	10,563	3,191	5,818	1,554	14,879	1,190	310	728	11,604	240	807	6,646	0	4,207	2,439	98,200
30年度	221,157	111,365	89,066	45,437	43,629	11,097	3,483	5,142	2,472	11,202	1,241	818	729	7,253	400	765	8,122	0	3,862	4,280	101,670
31・1年度	236,880	116,491	96,081	47,775	48,306	11,173	3,200	6,117	1,856	9,237	1,602	748	729	5,072	271	815	9,486	0	4,701	4,785	110,903
2年度	148,749	36,078	31,602	20,669	10,933	2,599	67	2,240	292	1,877	185	400	100	627	278	287	1,953	0	1,953	0	110,718
3年度	228,571	78,785	69,266	34,963	34,303	6,254	1,423	4,129	702	3,265	644	240	377	1,370	470	164	2,988	0	2,988	0	146,798
4年度	267,334	95,740	80,035	42,870	37,165	8,398	2,382	5,416	600	7,307	1,403	209	387	4,467	400	441	2,044	0	1,575	469	169,550
5年度	261,855	94,510	80,589	43,364	37,225	6,997	1,862	4,244	891	6,924	1,097	191	754	4,371	276	235	1,838	0	1,111	727	165,507
6年度	266,907	88,508	74,470	42,700	31,770	7,051	2,454	4,104	493	6,987	1,425	155	1,164	3,610	338	295	1,472	0	605	867	176,927
計	4,340,155	2,235,176	1,841,977	1,026,575	815,402	212,912	73,700	97,227	41,985	180,287	34,030	6,246	10,158	112,557	5,844	11,452	92,879	1,421	59,892	31,566	2,012,100

■令和6年度 県立博物館利用者状況(月別集計)

総利用者	館内利用者 (a + b + c)										館外利用者					ホームページ利用者					
	展示利用者 (a)		施設利用者 (b)		サービス利用者 (c)						県民企画事業 収 蔵 品 ゆ かり の 地 ツアー	博 学 連 携 出 前 展 覧 等 受 講 者	ハブ博物館 ネットワー ク 事 業								
	常設展示 (発券数)	企画展示 (発券数)	資料閲覧室 利 用 者	施設 施 察 者	生涯学習室 等 利 用 者	講座・ 講演会 利 用 者	特別閲覧・ 写真撮影等 利 用 者	イベント 参 加 者	通 信 簿 ツ ー ア ー	かいじあむ 検 定											
4月	20,336	7,563	6,348	3,173	3,175	790	214	555	21	425	171	10	103	141	0	0	2	0	2	0	12,771
5月	19,226	6,546	5,112	3,261	1,851	714	196	483	35	720	26	16	114	564	0	0	28	0	1	27	12,652
6月	14,649	2,896	2,341	2,341	0	273	139	97	37	282	71	13	95	103	0	0	0	0	0	0	11,753
7月	29,066	8,585	7,781	4,286	3,495	395	156	223	16	409	68	14	112	215	0	0	814	0	0	814	19,667
8月	38,736	15,797	13,207	6,511	6,696	1,266	276	943	47	1,324	115	9	141	1,059	0	0	0	0	0	0	22,939
9月	23,049	5,675	4,844	3,350	1,494	477	185	292	0	354	45	11	126	172	0	0	0	0	0	0	17,374
10月	26,788	11,088	10,137	5,056	5,081	630	233	359	38	321	55	18	141	107	0	0	107	0	107	0	15,593
11月	27,780	13,686	11,661	5,618	6,043	1,085	328	631	126	940	315	14	99	512	0	0	1	0	1	0	14,093
12月	8,536	1,649	959	959	0	260	81	32	147	430	0	6	29	57	338	0	53	0	53	0	6,834
1月	17,674	3,055	2,157	2,157	0	276	186	83	7	622	164	15	61	371	0	11	155	0	155	0	14,464
2月	15,706	2,933	1,984	1,984	0	282	123	152	7	667	206	14	45	118	0	284	255	0	255	0	12,518
3月	25,361	9,035	7,939	4,004	3,935	603	337	254	12	493	189	15	98	191	0	0	57	0	31	26	16,269
計	266,907	88,508	74,470	42,700	31,770	7,051	2,454	4,104	493	6,987	1,425	155	1,164	3,610	338	295	1,472	0	605	867	176,927

第2章 調査・研究

令和6年度における県立博物館の調査・研究は、外部資金である日本学術振興会科学研究費助成事業（科研費）によるものとして前年度より継続し5件が行われている（「遺跡出土動物の生態学的・形態学的分析に基づく新たな動物利用文化史観の創出」〔若手研究〕、「近世造仏聖の造像意識に関する基礎的研究」〔基盤研究C〕、「無形民俗文化財の活用及び教材化と『博・学・地域連携』の手法に関する実践的研究」〔基盤研究C〕、「戦国大名家臣の家伝文書に関する研究—甲斐武田氏の家臣を中心に」〔基盤研究C〕、「食糧生産力が社会体制に与えた影響の定量的評価：遺跡出土動物からのアプローチ」〔基盤研究C〕）。

共同調査・研究は「月岡芳年筆「甲府道祖神祭幕絵 太閤記 佐久間盛政羽柴秀吉を狙ふ」（山梨県立博物館蔵）に関する基礎的研究」（～令和6年度）が最終年度となり、「山梨県における酒造業（日本酒）についての研究（～令和7年度）」を継続中である。

各博物館職員がそれぞれの専門分野で行った個別調査・研究の成果については、『山梨県立博物館研究紀要』第19集のほか、関連する学術雑誌などで発表された。

(1) 外部資金による調査・研究

①科学研究費助成基金助成金

若手研究「遺跡出土動物の生態学的・形態学的分析に基づく新たな動物利用文化史観の創出」

（課題番号 19K13425）

■調査・研究の目的

本研究は、(a) 琉球列島で家畜の飼養が開始された地域と時代、(b) 飼料や給餌方法にみられる地域差、(c) 琉球列島内に家畜が伝播した経路、の三点を明らかにする。

このうち項目(a)は、野生種とされてきた出土資料の歯に残された微細な傷の立体形状を計測し、ヒトに飼養された個体の特徴がみられる資料を探索する。また項目(b)では、遺跡から出土した「ブタ」の歯の表面に残された磨耗痕を、現在の放牧個体と屋内飼育個体それぞれと比較し、各時代の動物飼育方式を明らかにする。さらに項目(c)では各遺跡から出土したイノシシ類の歯がもつ形態学的類似性と島間の交流を比較検討する。

■研究体制

研究代表者 山田英佑（学芸員）

■活動記録

- ・ 令和6年4月28日（日）
研究とりまとめ方針打ち合わせ（東京大学総合研究博物館）
- ・ 令和6年5月18日（土）
講演会参加「第四紀日本列島動物相の変遷」（草津商工会議所）
- ・ 令和6年8月17日（土）
講演会参加「人と自然の関係史：鳥類を例にして」（文京区教育センター）
- ・ 令和7年2月8日（土）
研究成果の討議（東京大学）

■活動内容と成果

(a) 食性推定の結果、先史時代において、琉球列島の一部でイノシシ属が飼養されたとしても、域内への波及は限定的だったことが示唆された。

(b) 17世紀以降、琉球列島各地でイノシシ属が飼養された痕跡が認められるが、地域差も顕著で、各島の環境収容力が制限要因となっていたことが考えられた。

(c) 出土資料と、現代資料との幾何学的形態解析の結果、琉球列島における動物利用文化は17世紀以前

に画期を迎え、海洋交易を通じて導入された家畜系統が在地の野生種を置換しながら展開していったことが示唆された。

②科学研究費助成基金助成金 基盤研究（C）「近世造仏聖の造像意識に関する基礎的研究」

（課題番号 21K00160）

■調査・研究の目的

甲斐出身の江戸時代後期の木食僧・木喰行道（五行、明満）は、現存作例が700体を超える、作仏聖としてよく知られる。木喰は諸尊のほかに自らの姿を写し取った「自身像」を多く制作しているが、その造形は仏の聖性の指標である「頭光」を表すとともに、後年は他の尊像とともに群像中に安置するに至った。

こうしたことから、木喰行道の「自身像」の制作背景を明らかにすることは、当時の造仏を専らとした作仏聖が信仰の対象である「仏」と自身との間にどのような関係性を構築していたかを明らかにすることにつながると思われる。本研究では、木喰行道の「自身像」の造形的特色の変遷に着目して、作仏聖が抱いていた「仏」と「自身」との関係性に関する意識について明らかにしていく事を目的とする。

■研究体制

研究代表者 近藤暁子（学芸課長）

■活動記録

- ・令和6年6月8日（土）
兵庫県猪名川町所在自身像の調査
- ・令和7年3月25日（火）
円空展（三井記念美術館）にて円空作自身像を視察
- ・通年
自身像に関する情報収集と情報整理

■活動内容と成果

猪名川町所在の自身像はいずれも晩年のもので、頭部背後に頭光を配する典型的な作例であった。時代差はあるものの、同じく作仏聖として著名な円空の自身像かと言われる作例と比較すると、その差は明らかと言える。

③科学研究費助成基金助成金 基盤研究（C）共同調査・研究

「無形民俗文化財の活用及び教材化と『博・学・地域連携』の手法に関する実践的研究」

（課題番号 21K01013）

■調査・研究の目的

博物館における無形民俗文化財の活用・教材化に対する取組みは、日常的な博物館活動のなかで、「地域連携」「博学連携」として実践されているが、その教材化や「博学連携」の手法についての議論を積極的に行ってこなかった。また、収集した無形民俗文化財に関する資料・情報の活用と公開に対する要請は高まっているが、この研究にも積極的ではなかった。本研究では、博物館活動において無形民俗文化財を取扱うための課題を把握し、資料・情報の活用と教材化の手法や効果の検討を通じて、「博・学・地域連携」のあり方を構築し、その連携における地域博物館の役割を考察する。

■研究体制

研究代表者 丸尾依子（学芸員）

■活動記録

- ・令和5年4月～令和6年2月
県内祭り・行事および奉納される民俗芸能に関する調査と伝承状況についての情報収集

- ・令和5年10月～令和6年2月
小学校や高等学校に対する県内民俗芸能等に関する教材提供や出前授業を実施。あわせて学校教育における無形民俗文化財の取り扱いに関する現状を確認した。
- ・令和6年1月11日(土)
小正月の芸能調査および学校向け教材試作についての打ち合わせを実施

■活動内容と成果

- ・活動のほとんどが調査と情報収集に留まっている。
- ・山梨県内の無形民俗文化財に関する資料は乏しく、児童・生徒が調べ学習をしたり、教員自身が教材研究をしたりすることが難しい。あわせて、県内の無形民俗文化財の情報も一般に開かれているとはいえない。参考文献や、現在伝承されている無形民俗文化財の情報の一覧表化を行い、教員自身が情報を得られるよう整えて公開することが望ましい。
- ・教材化の手法や効果の検討、伝承団体との連携についても取り組んでおり、教材化の際に使用する画像提供等の協力を関係者に依頼し、同意を得た。
- ・学校現場との連携および教員の意見を要する内容については、山梨県立博物館の教員経験者の職員に助言を求めながら進めている。

④科学研究費助成基金助成金 基盤研究(C)

「戦国大名家臣の家伝文書に関する研究—甲斐武田氏の家臣を中心に」

(課題番号 23K00861)

■調査・研究の目的

戦国大名研究のなかでも重要な位置を占める家臣団研究について、特に家臣の家に伝来した「家伝文書」に着目する。甲斐武田氏家臣の家伝文書を主な対象とし、史料の収集・分析を行う。それによって、家臣個々の基礎的情報を把握・蓄積して戦国大名家臣団の構造等を考察すること、大名滅亡後の動向から中近世移行期の武家社会の特質を考察することを目的とする。またこれらを通じて、戦国大名家臣団研究において家臣の家伝文書が有する意義を考察し、とくに系譜類の史料としての性格を明らかにすることを旨とする。

■研究体制

研究代表者 海老沼真治(学芸員)

研究分担者 中野賢治(学芸員)

■活動記録

- ・令和6年5月2日(木)
関係展示視察(埼玉県立歴史と民俗の博物館)
- ・令和6年5月16日(木)
資料調査・関係展示視察(静岡市歴史博物館ほか)
- ・令和6年6月2日(日)
成果発表「武田義信伝事香語を読む」(武田氏研究会)
- ・令和6年8月22日(木)
関係展示視察(長野県立歴史館)
- ・令和6年9月6日(金)
資料調査(京都大学総合博物館)
- ・令和6年9月20日(金)・12月8日(日)
資料調査(名古屋市蓬左文庫)
- ・令和6年10月17日(木)
資料調査(小野神社資料館)

- ・令和6年11月11日(月)
資料調査(早稲田大学図書館)
- ・令和6年11月13日(水)
資料調査(真田宝物館)
- ・令和6年12月4日(水)～5日(木)
資料調査・関係展示視察(米沢市上杉博物館、茨城県立歴史館、東京大学史料編纂所)
- ・令和6年12月18日(水)
資料調査(神長官守矢資料館)

■活動内容と成果

今年度は研究2年度目にあたり、資料調査を重点的に行い、成果の一部を開館20周年記念特別展「武田勝頼 日本に隠れなき弓取」において紹介することができた。一方で予定していた調査を実施できなかったところもあり、次年度以降の課題として残された。

⑤科学研究費補助金 基盤研究(C)

「食糧生産力が社会体制に与えた影響の定量的評価：遺跡出土動物からのアプローチ」

(課題番号23K00952)

■調査・研究の目的

動植物の家畜化・栽培化は人類文明に革新的・不可逆的なインパクトを与えた。一方で、社会体制の転換と新たな食糧需給体制の導入という2つのイベントが相互に関係しているのか検証することは、しばしば困難をとまう。本研究は、階層的社会が誕生した時期の遺跡から出土した「ヒトに飼養された動物個体」の割合を食糧生産力の定量的な指標とする新たなアプローチにより、この課題解決を目指す。

■研究体制

研究代表者 山田英佑(学芸員)

■活動記録

- ・令和6年6月17日(月)～21日(金)
放牧ブタ生育環境調査・資料収集(帯広畜産大学)
- ・令和6年10月9日(水)
研究成果の討議(東京大学総合研究博物館)
- ・令和7年1月13日(月)
イノシシ頭骨調査(国立科学博物館筑波研究施設)
- ・令和7年2月12日(水)
研究成果の討議(東京大学総合研究博物館)
- ・令和7年3月7日(金)
研究成果の討議(沖縄国際大学)

■活動内容と成果

当該年度は、沖縄本島北部および中部のグスク時代遺跡から出土したイノシシ属の歯牙資料を中心に、データの収集と分析を進めた。その結果、遺跡間で、出土資料群を構成する個体の来歴や、生前の食性が異なることが示唆された。特に、野生種と推定される個体が高い割合を示す遺跡が存在したことは、沖縄本島に家畜系統が導入された後も、狩猟採集様式が、当該地域における食肉資源の入手に重要な役割を果たし続けていたことを示唆している。

一方で、家畜系統と推定される個体が高い割合を示す遺跡もあり、食性復元の結果、ヒトの管理下にあった可能性が示唆された。これらのことは、沖縄本島において、ブタを維持管理する文化の受容に、地域差が存在した可能性を示唆している。これらの出土資料分析と並行して、分析結果の高精度な解釈を期する

ため、食性既知の現生集団による比較用の基礎データを強化した。前年度までに収集した野生種および豚舎飼育個体に加えて、屋外放牧個体を収集し、標本化、およびデータ化を行った。次年度は、以上の経緯によって蓄積したデータの分析と結果考察を最優先で行い、成果の公表と理論のアップグレードを目指す。

(2) 県費による調査・研究

①総合調査・研究「日韓における博物館資料の調査・記録・展示手法に関する比較研究」

■調査・研究の目的

当館は平成20年より大韓民国・国立清州博物館との学術研究交流協定を締結しており、令和4年12月からは5期目の3年間を迎えた。本研究では交流協定をより実りあるものとするために、当館学芸員の韓国への派遣と清州博物館研究員の招聘をおこなう。交流事業の目的は第一に各学芸員の調査研究テーマを新たな視点で進展させることである。第二に日韓両国の博物館資料の調査記録と展示手法に関する比較を通じて、双方の博物館活動を充実させることである。

■県立博物館担当職員

近藤暁子(学芸課長)、海老沼真治(学芸員)、ほか

■活動記録

- ・令和6年4月22日(月)～26日(金) 韓国・国立清州博物館研究員の招聘、共同調査
- ・令和6年10月29日(火)～11月1日(金) 県立博物館職員 韓国調査(国立清州博物館員との共同調査)
- ・令和6年12月10日(火)～13日(金) 韓国・国立清州博物館研究員の招聘、共同調査
- ・令和7年2月9日(日)～12日(水) 県立博物館職員 韓国調査(国立清州博物館員との共同調査)

■活動内容と成果

新型コロナウイルスのため、令和2～4年度は職員の相互派遣を実施しなかったが、令和5年度から両館の合意のもと、職員の相互派遣を中心とする学術交流事業を再開した。

清州博物館研究員の招聘調査では県内の博物館施設等とともに、国内の主要な博物館施設における展示手法の現地調査なども併せて実施した。当館職員による韓国調査では、国立清州博物館特別展示の視察や、周辺の博物館施設の現地調査を実施した。また令和7年度に開催を予定している清州博物館の特別展「富士山に登る、山梨」に向けた協議、資料調査等も実施し、4月には両館長による特別展開催に関わる了解書の取り交わしを行った。

②共同調査・研究「月岡芳年筆「甲府道祖神祭幕絵 太閤記 佐久間盛政羽柴秀吉を狙ふ」

(山梨県立博物館蔵)に関する基礎的研究

■県立博物館担当職員

松田美沙子(学芸員)

■活動記録

- ・令和6年度 芳年の幕絵関係の先行研究の調査と整理
- ・令和7年3月28日(金) 山梨県立博物館 調査・研究報告17『甲府道祖神祭幕絵 太閤記 佐久間盛政羽柴秀吉を狙ふ 修理報告書』刊行

■活動内容と成果

令和4年度から同5年度にかけておこなった同資料の修理に関する内容、及び令和5年度におこなった展覧会や研究会の成果をまとめ、修理報告書を刊行した。同報告書には、修理の概要及び修理より得られた知見についてまとめたほか、拙稿「芳年作例における「甲府道祖神祭幕絵」の位置付け」を所収した。



報告書

③共同調査・研究「山梨県における酒造業（日本酒）についての研究」

■県立博物館担当職員

小畑茂雄（学芸員）

■活動記録

- ・令和5年度 県内酒造業の文献資料の調査と整理
- ・令和6年度 県内酒造業の文献資料の調査と整理

■活動内容と成果

十一屋野口家資料をはじめ、県内酒造業の文献資料の調査および整理を進めた。今後は展示や報告などを視野に中間的な成果をまとめつつ、館外の資料の調査や研究に着手していきたい。

(3) 個別調査・研究

③調査・研究活動

年 月 日	内 容	担当職員
令和6年 4月4日(木)・5日(金)	山梨岡神社(笛吹市春日居町) 春季例大祭調査	丸尾 依子
令和6年 4月6日(土)	鈴宮諏訪神社(甲府市下鍛冶屋町) 祭礼準備作業調査	丸尾 依子
令和6年 4月7日(日)	甲府市小瀬町・下鍛冶屋町 天津司舞調査	丸尾 依子
令和6年 4月10日(水)	東京都個人所蔵資料の調査	海老沼真治 茶園 紘己
令和6年 4月26日(金)	甲府市個人宅 所蔵資料の調査	茶園 紘己 近藤 暁子
令和6年 4月27日(土)・28日(日)	金櫻神社(甲府市御岳町) 太々神楽調査	丸尾 依子
令和6年 4月30日(火)	ふじさんミュージアム(富士吉田市) 保管資料の調査	千原 鴻志
令和6年 5月8日(水)	山梨日日新聞社(甲府市) 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和6年 5月13日(月)	山梨日日新聞社(甲府市) 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和6年 5月16日(木)	京都府古美術商 所蔵資料の調査	松田美沙子
令和6年 5月24日(木)	国分寺(笛吹市) 所蔵資料の調査	茶園 紘己 石神 孝子
令和6年 5月30日(木)	富士吉田市個人宅 所蔵資料の調査	松田美沙子 茶園 紘己
令和6年 5月30日(木)	東京国立博物館 寄託資料の調査	近藤 暁子
令和6年 6月2日(日)	甲府市富士見個人宅 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和6年 6月8日(土)	兵庫県猪名川町内 木喰関連資料調査	近藤 暁子
令和6年 6月13日(木)	甲府市西下条町個人宅 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和6年 6月19日(水)	山梨市三ヶ所個人宅 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和6年 6月21日(金)	甲府市小瀬町個人宅 天津司舞調査	丸尾 依子
令和6年 6月24日(月)	甲州市塩山上粟生野 区有資料の調査	小畑 茂雄
令和6年 6月28日(金)	仁勝寺(甲府市) 天津司舞調査	丸尾 依子
令和6年 6月29日(土)	東京都小金井市個人宅 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和6年 7月31日(水)	国分寺(笛吹市) 所蔵資料の調査	茶園 紘己
令和6年 9月6日(金)	京都大学総合博物館 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和6年 9月10日(火)	笛吹市春日居郷土資料館 国史跡甲斐国分寺跡出土品資料調査	石神 孝子
令和6年 9月20日(金)	名古屋市蓬左文庫 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和6年 9月21日(土)	甲府市古閑町個人宅 所蔵資料の調査	丸尾 依子
令和6年 9月26日(木)	国立科学博物館筑波研究施設 所蔵資料の調査	茶園 紘己 丸尾 依子
令和6年 10月3日(木)	甲府市個人宅 所蔵資料の調査	茶園 紘己
令和6年 10月9日(水)	護国山 国分寺(笛吹市) 所蔵資料の調査	石神 孝子 茶園 紘己
令和6年 10月13日(日)	山梨県立考古博物館国史跡甲斐国分寺跡出土品の資料調査	石神 孝子
令和6年 10月14日(月)	甲府市個人宅 所蔵資料の調査	松田美沙子 茶園 紘己

令和6年 10月17日(木)	長野県小野神社 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和6年 10月21日(月)	富士モータースポーツミュージアム 所蔵資料の調査	茶園 紘己 丸尾 依子
令和6年 10月27日(日)	甲府市内天津司舞調査	丸尾 依子
令和6年 11月2日(土)	大阪府高槻市個人宅 所蔵資料の調査	小畑 茂雄
令和6年 11月4日(月・祝)	甲府市西下条町個人宅 所蔵資料の調査	近藤 暁子 小畑 茂雄
令和6年 11月6日(水)	トヨタ博物館 所蔵資料の調査	茶園 紘己 丸尾 依子
令和6年 11月11日(月)	早稲田大学図書館 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和6年 11月11日(月)	旧外川家住宅(富士吉田市) 保管資料の調査	千原 鴻志
令和6年 11月13日(水)	笛吹市個人宅 所蔵資料の調査	松田美沙子
令和6年 11月13日(水)	長野県真田宝物館 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和6年 11月17日(日)	法泉寺(甲府市) 所蔵資料の調査	海老沼真治 松田美沙子
令和6年 11月25日(月)	米倉区(笛吹市八代町) 所蔵資料の調査	丸尾 依子
令和6年 11月28日(木)	景德院(甲州市) 所蔵資料の調査	海老沼真治 松田美沙子
令和6年 11月29日(金)	国立歴史民俗博物館 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和6年 12月2日(月)	東京国立博物館 所蔵資料の調査	海老沼真治 松田美沙子
令和6年 12月4日(水)	米沢市上杉博物館 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和6年 12月5日(木)	茨城県立歴史館 所蔵資料の調査 東京大学史料編纂所 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和6年 12月5日(木)	個人宅(笛吹市御坂町) 所蔵資料の調査	丸尾 依子
令和6年 12月8日(日)	名古屋市蓬左文庫 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和6年 12月11日(水)	国分寺(笛吹市) 所蔵資料の調査	茶園 紘己 日比野純矢
令和6年 12月15日(日)	甲府市内天津司舞調査	丸尾 依子
令和6年 12月18日(水)	茅野市神長官守矢資料館 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和6年 12月23日(月)	浅川伯教・巧兄弟記念館(北杜市) 人物関係資料の調査	小畑 茂雄
令和7年 1月11日(土)	小正月行事(甲州市内・南アルプス市下市之瀬) 調査	丸尾 依子
令和7年 1月11日(土)	小正月行事(南アルプス市内) 調査	丸尾 依子
令和7年 1月14日(火)	小正月行事(南アルプス市内下市之瀬) 調査	丸尾 依子
令和7年 1月20日(月)	龍雲寺(身延町) 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和7年 1月22日(水)	岩窪甲文館(甲府市) 天津司舞資料の調査	千原 鴻志
令和7年 1月23日(木)	岩窪甲文館(甲府市) 天津司舞資料の調査	千原 鴻志
令和7年 1月27日(月)	本成寺(静岡県) 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和7年 1月29日(水)	常楽寺(笛吹市) 所蔵資料の調査	松田美沙子
令和7年 2月10日(月)	個人宅(身延町) 所蔵資料の調査	海老沼真治
令和7年 2月20日(木)	甲府市小瀬町 天津司舞調査	丸尾 依子
令和7年 2月23日(日)	岩窪甲文館(甲府市) 天津司舞資料の調査	千原 鴻志
令和7年 3月13日(木)	甲府市小瀬町 天津司舞調査	丸尾 依子
令和7年 3月26日(水)	竹居協議会(笛吹市八代町) 所蔵資料の調査	丸尾 依子

(4) 調査・研究成果の公表

①博物館主催シンポジウム・講演会における職員の発表

第Ⅱ編第5章(1)を参照

②博物館職員の調査・研究実績

■論文・調査報告など

氏名	名称	掲載誌名	学会(発行者)	発行年月日
石神 孝子	「新巻本村地内出土の陶磁器について」	山梨考古学論集IX	山梨県考古学協会	令和6年5月24日
石神 孝子	山梨県初の史蹟指定～甲斐国分寺跡の事例から～	『山梨県立博物館研究紀要』第19集	山梨県立博物館	令和7年3月28日
小畑 茂雄	山梨近代人物館10年のあゆみ	『山梨県立博物館研究紀要』第19集	山梨県立博物館	令和7年3月28日
丸尾 依子	「天津司舞」解説	『第25回地域伝統芸能まつり』(パンフレット)	地域伝統芸能まつり実行委員会 一般財団法人地域創造	令和7年3月2日
丸尾 依子	境を開く「幕絵」 —祭礼用具としての理解を試みる—	『山梨県立博物館研究紀要』第19集	山梨県立博物館	令和7年3月28日
丸尾 依子	地域とともに	『成城大学学芸員課程ニュースレター』Vol.09	成城大学学芸員課程委員会	令和7年3月31日
海老沼真治	「武田信虎」「武田信玄」「武田勝頼」「馬場信春」	平山優・花岡康隆編『戦国武将列伝4 甲信編』	戎光祥出版	令和6年8月10日
海老沼真治	武田氏にとっての川中島合戦 —弘治三年合戦に関わる史料から考える—	『描かれた川中島合戦～屏風・錦絵にみる戦の世界～』 展示図録	長野県立歴史館	令和6年10月12日
海老沼真治	《資料紹介》「印章展」出品資料の法量詳細	『山梨県立博物館研究紀要』第19集	山梨県立博物館	令和7年3月28日
中野 賢治	富士川水運における駿河・甲斐両国の河岸とその争論 —「富士川水運に関する基礎的研究」掲載史料の紹介と考察—	『山梨県立博物館研究紀要』第19集	山梨県立博物館	令和7年3月28日
松田美沙子	《資料紹介》中澤年章の扇面絵	『山梨県立博物館研究紀要』第19集	山梨県立博物館	令和7年3月28日
中野 賢治 海老沼真治 小畑 茂雄 金子 誠司 金子裕太郎 亀井 大輔 小林 可奈 高野 愛 千原 鴻志 茶園 紘己 半澤 直史 堀内 亨 宮澤富美恵 村松 菖蒲 渡邊みずか	《資料紹介》「寛政九年巳九月 会所日記」 (山梨県立博物館所蔵 十一屋野口家資料のうち)	『山梨県立博物館研究紀要』第19集	山梨県立博物館	令和7年3月28日
茶園 紘己	「牧野信成・保成」	小川雄・柴裕之『戦国武将列伝6 東海編』	戎光祥出版	令和6年6月3日

■講演・シンポジウムなど

氏名	名称	シンポジウム名・学会名	場所	開催年月日
石神 孝子	日本遺産の縄文土器をみる	昭和町歴史講座	昭和町押原公園管理棟	令和6年6月26日
石神 孝子	博物館の役割 I～地域と共に守る～	博物館を活用した授業づくり研修会	生涯学習室	令和6年8月19日
石神 孝子	わたしたちの山梨県立博物館	山梨県聴覚障害者協会講座	市川三郷町生涯学習センター	令和6年8月24日
近藤 暁子	甲斐の木喰仏について	猪名川木喰会設立25周年記念プレ講演会	猪名川町日生公民館大研修室	令和6年6月9日
近藤 暁子	日本遺産御嶽昇仙峡の信仰と美術	甲府歴史講座	遊亀公民館展示室	令和6年7月31日
小畑 茂雄	山梨県の歴史・文化	令和6年度 新任職員研修	山梨県職員研修所	令和6年5月9日
小畑 茂雄	渋沢栄一と山梨県	特別講演 新紙幣発行記念	山梨中央銀行研修センター	令和6年6月7日
小畑 茂雄	山梨の近代化と文化	山梨英和大学山梨学講座	山梨英和大学	令和6年6月17日
小畑 茂雄	やまなしはじめて人物伝	山梨近代人物館教育普及講座	山梨近代人物館	令和6年7月27日
小畑 茂雄	渋沢栄一と山梨県	山梨近代史の会月例研究会	山梨平和ミュージアム	令和6年10月26日
小畑 茂雄	地下鉄の父 早川徳次	御坂町郷土研究会	笛吹市御坂生涯学習館	令和6年12月22日
小畑 茂雄	近代人物館ギャラリートーク	山梨近代人物館PR事業	山梨近代人物館	令和7年1月24日 2月12日 3月30日
小畑 茂雄	渋沢栄一と山梨県	昭和町歴史講座	昭和町押原公園管理棟	令和7年2月19日
小畑 茂雄	人物史からみえる山梨—山梨近代人物館10年のあゆみ—	山梨近代人物館教育普及講座	山梨近代人物館	令和7年3月23日
丸尾 依子	一之瀬高橋の春駒～民俗芸能の中断と復活～	自由民主党総合政策研究所 研修会	生涯学習室	令和6年6月3日

丸尾 依子	博物館の役割～保存施設としての機能と取組～	博物館を活用した授業づくり研修会	生涯学習室	令和6年8月19日
丸尾 依子	常設展の楽しみ方～モノに注目する～	博物館を活用した授業づくり研修会	生涯学習室	令和6年8月19日
丸尾 依子	あらためて学ぶ道祖神	昭和町歴史講座	昭和町押原公園管理棟	令和6年9月25日
丸尾 依子	なつかしい山梨の昭和時代	神奈川・横浜山梨県人会	Socia21	令和6年11月10日
丸尾 依子	山梨県と北杜地域の神楽	伝統芸能研修会(明野町民俗芸能保存会)	北杜市明野総合会館	令和6年11月24日
丸尾 依子	山梨の道祖神① 祭りの華やきを味わう	山梨学講座	山梨県生涯学習推進センター	令和6年12月2日
丸尾 依子	養蚕から果樹へ 民間信仰の変容	山梨郷土研究会	帝京大学山梨文化財研究所	令和6年12月7日
丸尾 依子	山梨の道祖神② 信仰の歴史をたどる	山梨学講座	山梨県生涯学習推進センター	令和6年12月19日
海老沼真治	武田義信伝事香語を読む	武田氏研究会 第64回研究会 「武田義信研究の現状と課題」	帝京大学文化財研究所	令和6年6月2日
松田美沙子	どうぶつ百景～人々と動物の暮らしについて～	令和6年度山梨県文化協会連合会会員研修会	山梨県庁防災新館	令和6年7月26日
松田美沙子	広重の旅日記からみる制作背景 —甲府道祖神祭幕絵を中心に—	ハルカス大学連携講座	あべのハルカス	令和6年8月4日
松田美沙子	市川團十郎と甲府と絵画	甲府市歴史講座～甲府を学ぶ～	甲府市総合市民会館	令和6年8月30日
松田美沙子	山梨の歴史—絵画資料から見る山梨—	山梨ことぶき勸学院中北教室	北巨摩合同庁舎	令和6年9月20日
松田美沙子	描かれた山梨～浮世絵師たちは何を描いたのか～	昭和町歴史講座	昭和町押原公園管理棟	令和7年3月26日
千原 鴻志	100年前の富士山を旅する	昭和町歴史講座	昭和町押原公園管理棟	令和6年7月31日
茶園 紘己	穴山氏の歴史—戦国時代を中心に—	山梨ことぶき勸学院	中巨摩合同庁舎	令和6年7月19日
茶園 紘己	甲斐国分寺の歴史	昭和町歴史講座	昭和町押原公園管理棟	令和7年1月29日
茶園 紘己	甲斐国分寺の歴史(全)	笛吹市一宮町文化協会出前講座	笛吹市一宮町国分公民館	令和7年2月7日
茶園 紘己	今川家旧臣の武田家従属と「不暮先方」	武田氏研究会	生涯学習室	令和7年3月15日

■ 県立博物館館内研究会

報告者	内 容	開催年月日
海老沼真治	韓国国立清州博物館との学術交流と展示施設について	令和6年4月12日
日比野純矢	奈良大学博物館における生物環境調査—IPMの維持に向けての提言—	令和6年5月15日
千原 鴻志	木をみて森をみる—木材利用の歴史を考える—	令和6年6月13日
茶園 紘己	令和6年能登半島地震の文化財レスキュー活動	令和6年7月25日
日比野純矢	水損文書の応急処置について	令和6年11月27日
松田美沙子	「富嶽三十六景」の高精細画像を用いた展示の事例報告	令和7年1月31日

③ 刊行物

名 称	発行日	体裁
企画展「富士川水運の300年 物流と文化の大動脈」展示図録	令和6年3月16日	A4変形版、96頁
シンボル展「郷土史をのこした人々」リーフレット	令和6年5月25日	A4版、4頁
企画展「どうぶつ百景—江戸東京博物館コレクションより」展示図録	※	B5変形版、296頁
企画展「奈良大和路のみほとけ—令和古寺巡礼—」展示図録	※※	A4変形版、140頁
シンボル展「甲斐国分寺」リーフレット	令和6年12月21日	A4版、4頁
『山梨県立博物館研究紀要』第19集	令和7年3月28日	A4版、96頁

※ 「どうぶつ百景—江戸東京博物館コレクションより」は巡回展のため、令和6年4月26日刊行(監修:東京都江戸東京博物館、発行:NHKプロモーション)

※※ 「奈良大和路のみほとけ—令和古寺巡礼—」は巡回展のため、令和6年4月12日刊行(発行:山口県立美術館、MIHO MUSEUM、山梨県立博物館、TNCプロジェクト)

第3章 資料の収集・保管・活用

(1) 資料収集の方針

①資料収集の方針

山梨県立博物館における資料収集は、博物館の基本テーマである「山梨の自然と人」に関わるものを中心とする（山梨県立博物館の資料の収集及び資料・情報の活用に関する要綱）。具体的には、以下の性格を有する資料を収集の対象とする。

- ①絵画、彫刻、工芸品、書籍、典籍、古文書その他の有形の文化的所産で山梨県にとって歴史上または芸術上価値の高いもの並びに考古資料及びその他の学術上価値の高い歴史資料。
- ②衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能及びこれらに用いられる衣服、器具、その他の物件で県民の生活推移の理解のために欠くことのできないもの。
- ③言葉、音楽、民間伝承、工芸技術等の無形のもので山梨県の文化の理解に欠くことのできないもの。
- ④動物、植物及び地質鉱物で山梨県にとって前の項目と深い関わりのあるもの。

収集の対象とする資料のうち、その収集が困難なものについては、当該資料に係る模型、模造、模写、複製若しくは当該資料に関する図書、文献、調査資料その他必要な資料を収集することとしている。収集にあたっては、上記要綱のほか「山梨県立博物館の資料収集に関する要領」に従っている。

②資料・情報委員会

資料の収集の適否等について審議し、収集した資料、情報の活用について協議する「資料・情報委員会」を設置、開催している。

委員会は、8名の委員により構成されており、歴史、考古、民俗、美術工芸、情報工学等に関する高度な専門的知見を有する者の中から、山梨県立博物館長が選任している。

■資料・情報委員会委員名簿（五十音順、敬称略）

資料・情報委員会委員

氏名	職名	専門分野
新井勝紘	元専修大学教授	近現代史
黒田基樹	駿河台大学法学部長	中世史
小島孝夫	成城大学教授	民俗学
鈴木卓治	国立歴史民俗博物館教授	情報工学
鈴木麻里子	山梨県文化財保護審議会委員	美術史
内藤正人	慶應義塾大学教授	美術史
新津健	元山梨県埋蔵文化財センター所長	考古学
西村慎太郎	国文学研究資料館教授	近世史

■令和6年度の資料情報委員会開催状況

- ・令和6年8月29日（木）第38回委員会を開催
14件の収集候補資料を審議した。
- ・令和7年3月21日（金）第39回委員会を開催
10件の収集候補資料を審議した。

(2) 資料の収集

令和6年度に収集した資料は、次表の通りである。

■購入

	資料名	特徴	制作期	員数
1	ビクター楽譜 甲州音頭	臣民用「甲州音頭」のハーモニカ演奏用楽譜。	昭和4年(1929)	1枚
2	明治十九年九月二十二日 烟火献納一覧表	明治19年(1886)9月22日に行われた、東山梨東二代二郡連合第二繭絲共進会の花火の番付表。	明治19年(1886)	1枚
3	養蚕実習記念帖	大正11年(1922)に行われた、山梨県立農林学校の養蚕実習の記念写真アルバム。	大正11年(1922)	1冊
4	春蠶電照育の実験報告	育蚕技術のひとつである「電照育」について、その効果と実験結果を記載した報告書。	昭和4年(1929)	1冊
5	甲斐絹之葉	甲斐絹の由来や直前3か年の生産量を記載した葉。	昭和5年(1930) 以降	1枚
6	甲州西山旧温泉広告	西山温泉(早川町)の広告。4つの源泉の名称と温度、泉質、効能のほか、入浴方法の解説文が記されている。文末には県内各所からの里程と、盛夏と厳冬の入浴を推奨する附言が載せられている。	明治29年(1896)	1枚
7	新形三十六怪撰 武田勝千代 つきよ ろうり うつ の ず 月夜に老狸を撃乃図	浮世絵師、月岡芳年による揃い物の浮世絵である、「新形三十六怪撰」の1枚。武田勝千代(信玄の幼名)が、話しかけてきた木馬(正体は老狸)を切り付けたという逸話が絵画化されている。	明治22年(1889)	1点
8	八重垣姫 助高屋高助	明治時代を中心に活動した浮世絵師、歌川周重による役者絵。歌舞伎の演目である、『本朝廿四孝』に登場する八重垣姫を、四代目助高屋高助が演じる様子が描かれている。	明治14年(1881)	1点
9	武田信玄自筆書状 (4月14日付、春日弾正忠あて) ほか	武田信玄から春日虎綱へ発給された自筆書状。上杉輝虎の沼田での動向に関連した、武田信玄と信濃国・上野国の国衆の軍事行動について記されている。	戦国時代	1点
10	秋蠶と風穴	養蚕業の改良と発展に尽くした八田達也の話をまとめたもの。山梨蠶友会発行。	明治39年(1906)	1冊

■寄贈

	資料名	特徴	制作期	員数
1	岡本家資料	江戸時代には甲府八日町三丁目の商家・木曾屋を、近代には塩山町(甲州市)で製糸業を営んでいた岡本家に伝来した古文書等。	江戸～昭和時代	32点
2	古府中絵図・甲府城下町絵図	江戸時代末～明治頃に作成された古府中絵図と、柳沢氏時代の甲府城下町絵図。古府中絵図は武田氏家臣の屋敷地を詳しく記している点、甲府城下町絵図は藩士個々の屋敷地を詳しく記している点が特徴的である。	江戸～明治時代	2点
3	一宮修理亮家文書写	戦国大名武田氏の家臣一宮修理亮が受給した古文書の写。武田晴信書状、北条氏康書状、徳川家朱印状の3通の写が収録される。	寛政3年(1791) 原文書は戦国時代	1冊
4	小林氏収集資料	所蔵者の親戚である、小林氏が長年にわたり収集した富士山関連の資料。富士山北口からの登山案内図や錦絵、地図、写真などからなる。	江戸～ 昭和時代	約50点
5	川口家伝来版木資料	市川大門にあった小間物問屋、川口家に伝来したとされる版木資料一式。おもちゃ絵などの錦絵をはじめ、芝居番付、熨斗紙、菓子袋用の版木などが含まれる。	江戸～明治時代	143点
6	薬師如来坐像 木喰作	江戸時代の本県出身の作仏聖である木喰(行道、五行、明満)が制作した薬師如来像。背面に記された寛政13年(1801)11月7日の日付から、木喰が山梨に建立した四国堂のために制作された像であることがわかる。	寛政13年(1801)	1躯
7	長田家資料	甲府市西下条の長田家に伝わる絵画資料類。高麗風の阿弥陀如来坐像と銭選の巻子の写しと思しきもの、および狩野永淑の屏風からなる。	室町～ 江戸時代頃	3点

8	うまかんけいしりょう 馬関係資料	甲府市古閑町に在住し、馬を使って市川大門まで炭などの輸送を行った池谷家が所蔵した馬の荷鞍や、螺鈿を施した婚礼用の鞍など。	明治～ 昭和時代初期	15点
9	こうちけいしりょう 河内家資料	甲府に駐屯した歩兵第四十九聯隊の第4代連隊長河内信彦（こうちのぶひこ 1866-1942）の関連資料。退任時に連隊長である河内へ贈呈された写真アルバムをはじめ、古写真や文書、功勳に関する資料から構成される。	明治～昭和時代	40点
10	しゅういりょうこ 小医療箱 甲	日本海軍で使用された医療品の入った箱。南洋諸島のパラオに勤務した所蔵者の大叔父にあたる人物の所持品。箱の側面に戦闘機の機銃の弾痕がある。	昭和時代	1点

■寄託

	資料名	特徴	制作期	員数
1	とどろぶつぞうざんげつ 塑造仏像残欠	瑜伽寺所蔵の山梨県指定文化財「木造如来形坐像一軀、塑造仏像残欠一括」のうちの後者。塑像の断片と鉄芯、それらを納入していた収納箱（元禄3年〈1690〉銘）から成る。制作が奈良時代に遡る、当寺の歴史を考える上でも貴重なもの。	塑造・鉄芯： 奈良時代、 木箱： 元禄3年(1690)	約126点
2	ごおうこんげんきょうぞう 蔵王権現鏡像	山梨市にある金櫻神社（山口）の本殿内に安置される鏡像。金峰山の主尊である蔵王権現の姿を中央に表す。山梨県指定文化財。	室町時代 (15世紀)	1面
3	いしかわのししゅうしりょう 石川博氏収集資料	山梨の郷土史研究者であった故石川博氏が収集した資料群。武田氏などについて記された近世の和本や錦絵、近代になって出された山梨の風景写真や絵ハガキなどからなる。	江戸～昭和時代	約1000点

(3) 資料の整理・目録(データ)化

■歴史資料等の整理

収集した歴史資料等について、クリーニング、ナンバリング、目録作成（一覧表作成）、保管容器への収納、収蔵庫での保存を行っている。また、目録情報の総合情報システムへの登録や、ホームページ上での公開を随時進めている。

■収蔵資料のデジタル化

利用頻度が高い古文書資料のマイクロフィルムの、デジタル化を進めている。

■図書資料の整理

収集した図書・雑誌類は、随時、職員により分類整理し、資料閲覧室及び書庫に排架している。目録情報は総合情報システムへ登録し公開している。令和7年3月31日現在の登録件数は56,318点となっている。

(4) 資料の修復・管理

①資料の修復

■修復資料

- ・「富士図」、絹本著色、江戸時代、1幅 縦56.5cm 横117.0cm

■資料の内容

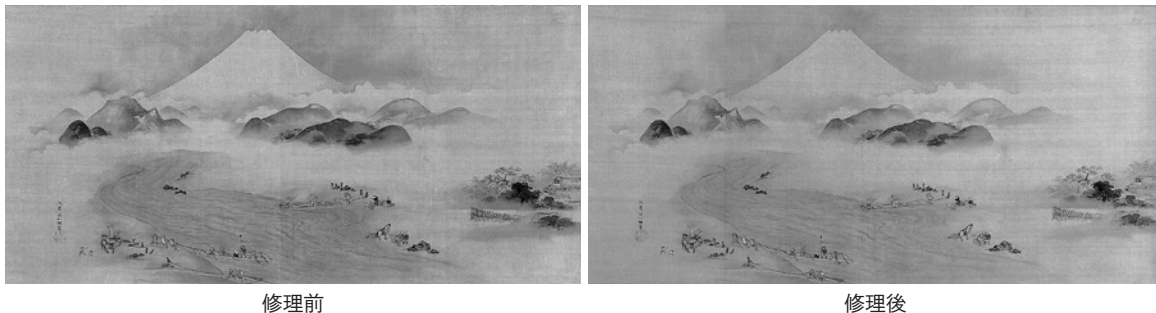
- ・都会的な風俗画を得意とした、英一蝶が富士山を描いた絵画資料。

■修復者

- ・株式会社 修護 東京都台東区上野公園13-14（文化財修理室〈東京文化財研究所内〉）

■修復の内容

- ・本紙の欠失や折損、経年による汚れや付着物、糊の付着力低下に伴う裏打紙や付廻の糊離れ、虫損、表紙裂の破損等が見られた。
- ・修理は解体のうえ、汚損の洗浄、絵の具の剥落止めなどを行い、本紙欠損部に補修紙を補填するなどした。さらに裏打ち紙を新調のうえ、折れ伏せを新たに施すなどして仕立て直しを行った。



②資料の保存環境管理

博物館では、資料を後世に伝えるために高いレベルで環境管理を行っている。これは、資料の物理的、化学的、生物的な劣化を防ぐためである。以下に、管理項目とその内容について示す。

■温湿度管理

山梨県立博物館では文化財の収蔵・展示のため、精度の高い温度・湿度管理を行っている。収蔵庫は24時間空調を行い、展示室については深夜電力による蓄熱時間を除く間（8時～22時）、空調を行っている。これらの管理は中央監視室にて監視し、毛髪式自記記録計及びデータロガーによる温度・湿度の計測を行っている。展示ケースについても、エアタイトケースと呼ばれるケースについては調湿剤を使用して湿度のコントロールを行うとともに、データロガーによる温度・湿度の計測を行っている。

■空気質管理

空気質については、化学吸着フィルターと呼ばれるフィルターを収蔵庫および展示室の空調設備に設置し、外気及び循環気に含まれる有害ガスの除去を行っている。

■照明

館内の照明のうち収蔵庫及び展示室内の照明には紫外線が極力発生しないものを用いている。特に紫外線が多く発生する蛍光灯は、美術・博物館用と呼ばれる紫外線吸収膜付の高演色形の蛍光灯を使用している。また、他の照明では各種ハロゲンランプを用いているほか、一部はLEDスポットライトを試験的に導入している。また、照度は資料の材質や状態に合わせて管理を行っており、浮世絵や染織品のような非常に脆弱なものは80ルクス以下、土器や金属器等は150ルクス程度の照明を行っている。

■生物被害管理

一時収蔵庫での燻蒸は、資料収集の関係上実施しなかった。資料個別に対する燻蒸については適宜燻蒸庫で二酸化炭素による殺虫を行い、目視で生物被害の状況確認をしている。

(5) 資料の活用

山梨県立博物館では、収集した貴重な資料を後世に残し、将来を見通した利用を保障することを資料取り扱いの基本と考えている。保存に十分配慮した上で、資料を公開し、県民や博物館利用者の学習や調査研究等に活用するため、資料情報の提供を行っている。

利用者の利便性を図るため、平成20年6月1日から開始した古文書等の即日閲覧は、令和6年度に18件40点、事前申請による閲覧は、22件129点であった。

資料撮影は、展示図録への掲載、調査研究などの目的で17件110点、資料画像の提供は、書籍等への掲載、テレビ番組での使用など91件136点であった。

また、県内外の博物館等での展示利用のために、7件21点の貸出を行った。

■令和6年度 歴史資料等利用状況

月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計
歴史資料等 即日閲覧	件数	3件	0件	0件	1件	1件	1件	3件	2件	2件	0件	2件	3件	18件
	点数	6点	0点	0点	9点	3点	2点	8点	3点	2点	0点	2点	5点	40点
歴史資料等閲覧	件数	0件	3件	3件	1件	0件	3件	3件	2件	0件	3件	2件	2件	22件
	点数	0点	9点	13点	23点	0点	4点	11点	22点	0点	18点	12点	17点	129点
歴史資料等撮影	件数	0件	2件	2件	1件	0件	2件	3件	2件	0件	2件	1件	2件	17件
	点数	0点	7点	10点	23点	0点	2点	11点	22点	0点	17点	1点	17点	110点
歴史資料等使用 (フィルム使用等)	件数	7件	11件	7件	11件	7件	3件	7件	8件	4件	9件	9件	8件	91件
	点数	9点	18点	9点	14点	8点	3点	10点	14点	7点	15点	12点	17点	136点
歴史資料等貸出	件数	0件	0件	1件	0件	1件	2件	2件	0件	0件	1件	0件	0件	7件
	点数	0点	0点	2点	0点	1点	5点	11点	0点	0点	2点	0点	0点	21点

第4章 展示

(1) 常設展示

令和6年度の常設展示は、年間6回の展示替えを行ない、資料の保存に対応しながら、展示期間ごとにテーマを設定して、来館者に親しみやすい展示内容にするとともに、来館者のリピートを促すよう図った。

■展示期間とテーマ

- ①令和6年2月14日(水)から令和6年4月15日(月)まで
展示テーマ「春の山梨は花ざかり」
- ②令和6年4月17日(水)から令和6年6月17日(月)まで
展示テーマ「ジャブジャブ?カラカラ?やまなしの水と人々」
- ③令和6年6月19日(水)から令和6年8月19日(月)まで
展示テーマ「歴史のなかの生きものたち」
- ④令和6年8月21日(水)から令和6年10月21日(月)まで
展示テーマ「資料でめぐる山梨の旅」
- ⑤令和6年10月23日(水)から令和6年12月9日(月)まで
展示テーマ「満腹!万福!やまなしの豊かな食文化」
- ⑥令和6年12月11日(水)から令和7年2月17日(月)まで
展示テーマ「招福!かいじあむのお正月」
- ⑦令和7年2月19日(水)から令和7年4月19日(月)まで
展示テーマ「山梨の春は、桃と桜と信玄公」

- ・時代については、複製品は原資料の製作年代を記した。
- ・所蔵者については、複製品は()内に原資料所蔵者を記した。
- ・指定については、●は国宝、◎は国指定重要文化財、○は県指定文化財、◇は市町村指定文化財とした。
- ・絵画・古文書等、脆弱な資料の展示期間が複数にわたる場合は、その都度頁替え、巻替などを行なっている。

【出品資料一覧】

資 料 名	時 代	所 蔵 者	指定	展示期間
自然の森の中で				
桂野遺跡渦巻文土器	縄文時代中期	笛吹市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
原町農業高校前遺跡出土縄文土器片、石器	縄文時代中期	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
土偶(山梨市宮ノ前(七日子)遺跡)	縄文時代中期	山梨県立博物館		①⑤⑥⑦
土偶(山梨市立石遺跡)	縄文時代中期	山梨県立博物館		①⑤⑥⑦
動物の装飾がついた縄文土器(安道寺遺跡)	縄文時代中期	山梨県立考古博物館	○	③
動物の装飾がついた縄文土器(上の平遺跡)	縄文時代中期	山梨県立考古博物館		③
動物の装飾がついた縄文土器(海道前C遺跡)	縄文時代中期	山梨県立考古博物館		③
深鉢形土器(上野コレクション)	縄文時代中期	山梨県立博物館		④
水煙文土器(甲ツ原遺跡)	縄文時代中期	山梨県立考古博物館		②
甲斐の誕生				
甲斐国分寺瓦(鬼瓦)	奈良時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤
甲斐国分寺瓦(軒丸瓦)	奈良時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
甲斐国分尼寺出土墨書土器	奈良時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
刻書土器「甲斐国山梨郡大野郷」(複製)	奈良~平安時代	山梨県立博物館(原資料 佐久市教育委員会)		①②③④⑤⑥⑦
刻書土器「甲斐国山梨郡表門」	平安時代	甲府市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
寺本廃寺 瓦・須恵器	白鳳時代	笛吹市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
天狗沢瓦窯跡 瓦・須恵器	白鳳時代	甲斐市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡①(複製)	奈良時代	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡②(複製)	奈良時代	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 馬司食糧伝票木簡③(複製)	奈良時代	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 習書・戯画木簡(複製)	奈良時代	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 山梨郡貢進物付札木簡①(複製)	天平宝字6年(762)	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)	原資料 ●	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 山梨郡貢進物付札木簡②(複製)	天平宝字6年(762)	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)	原資料 ●	①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 山梨郡養物銭荷札木簡(複製)	天平宝字8年(764)	山梨県立博物館(原資料 奈良文化財研究所)		①②③④⑤⑥⑦
東畑遺跡金銅仏	奈良時代	甲府市教育委員会	○	①②③④⑤
泥塔(権現堂遺跡)	中世	富士川町教育委員会	○	⑥⑦
甲斐国印(推定復元)	奈良時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
正倉院文書「甲斐国司解」(複製)	天平宝字5年(761)	山梨県立博物館(原資料 正倉院宝物)		①②③④⑤⑥⑦
甲斐の黒駒				
大塚古墳出土横柄板鋸留短甲(複製)	古墳時代	山梨県立博物館(原資料 市川三郷町教育委員会)	原資料 ○	①②③④⑤⑥⑦
狐原遺跡 焼印	平安時代	上野原市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
御崎古墳出土馬具	古墳時代	笛吹市教育委員会	○	①②③④⑤⑥⑦
塩部遺跡出土馬歯	古墳時代	山梨県立考古博物館		①②⑤⑥⑦
日本書紀 卷二十八	享和3年(1803)	個人		③④
伝豊富村 衝角付冑(複製)	古墳時代	山梨県立博物館(原資料 東京国立博物館)		①②③④⑤⑥⑦
伝豊富村 眉庇付冑(複製)	古墳時代	山梨県立博物館(原資料 東京国立博物館)		①②③④⑤⑥⑦
天神のこし古墳出土大刀、鉄鎌	古墳時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
寺の前古墳出土鉄鎌	古墳時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
天神のこし古墳出土金環	古墳時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
狐塚古墳出土馬具	古墳時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
寺の前三号墳出土柄頭	古墳時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
寺の前古墳出土馬具	古墳時代	笛吹市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
平城京出土木簡 通行証明木簡(過所木簡)(複製)	奈良時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
正倉院文書「駿河国正税帳」(複製)	天平10年(738)	山梨県立博物館(原資料 正倉院宝物)		①②③④⑤⑥⑦
水に取り組む				
石尊祭の藁束	平成14年(2002)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
測量器(複製)	江戸時代	山梨県立博物館(原資料 個人)		①②③④⑤⑥⑦
宮沢中村遺跡網代護岸	鎌倉時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
御幸祭川除の石	平成15年(2003)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
武田家朱印状(桑原家資料)(複製)	天正3年(1575)	個人	原資料 ○	①②③④⑤⑥⑦
釜無川氾濫の図(複製)	明治時代	長遠寺		①②③④⑤⑥⑦
木製人形(甲府市塩部遺跡出土)	平安時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
雨乞いの仏像	不明	清水寺		①②③④⑤⑥⑦
甲州都留郡内領来辰春堤川除定式御普請目論見	明和9年(1772)	個人		①
下条南割村絵図(千野家文書)	天保14年(1843)	山梨県立博物館		①
下条南割村堤防絵図(千野家文書)	弘化5年(1848)	山梨県立博物館		①
『甲斐国志』卷三十二(甲州文庫)	文化11年(1814)	山梨県立博物館		①②
穴山信君判物(三井家資料)	天正8年(1580)	個人(寄託)		②
有野村堤絵図(千野家文書)	江戸時代	山梨県立博物館		②
普請目論見鑑	江戸時代	山梨県立博物館		③
信玄堤絵図(保坂家文書)	文政7年(1824)	山梨県立博物館	◇	③
四方津村四ヶ村組合牛雨乞に付諸入用扣(甲州文庫)	天保10年(1839)	山梨県立博物館		③
川々渡船并橋銭表(甲州文庫)	明治5年(1872)	山梨県立博物館		④
笛吹川土橋渡船出入済口証文(甲州文庫)	宝暦12年(1762)	山梨県立博物館		④

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
石和渡船札(甲州文庫)	文久3年(1863)	山梨県立博物館		④
早川渡船お尋ねに付申上書(甲州文庫)	文政13年(1830)	山梨県立博物館		④
妙光院雨乞祈禱料神納覧(五味家文書)	江戸時代	山梨県立博物館		④⑤
富士川通もじり籠魚漁禁制廻文(頼生文庫)	文久2年(1862)	山梨県立博物館		⑤
用水路に水車屋建家に付差出一札(甲州文庫)	文化9年(1812)	山梨県立博物館		⑤
請取(米・麦・小麦の搗代)(渡邊家文書)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤
もじり籠に付波高島村相手の訴状(甲州文庫)	元文5年(1740)	山梨県立博物館		⑤
江戸幕府奉行人連署書状(保坂家文書)	江戸時代	個人(寄託)		⑥
酒造水引入のため不法新堰一件返答書(古屋家資料)	文化9年(1811)	山梨県立博物館		⑥
四か村堰御普請願書(竜王村文書その他)	文化2年(1804)	山梨県立博物館		⑥
雨乞之辨(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑥
武田家朱印状(保坂家文書)	永禄3年(1560)	個人(寄託)	○	⑦
武田家朱印状(保坂家文書)	永禄6年(1563)	個人(寄託)	○	⑦
武田家朱印状(保坂家文書)	天正9年(1581)	個人(寄託)	○	⑦
『甲斐国志』巻二八(甲州文庫)	文化11年(1814)	山梨県立博物館		⑦
戦国からのメッセージ				
勝山古記	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
筒粥神事の道具	平成17年(2005)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
勝山記写本(赤岡重樹旧蔵資料)	大正8年(1919)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
令和6年度筒粥占標(小室浅間神社)	令和6年(2024)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥
織田信長禁制(本庄家文書)	天正10年(1582)	山梨県立博物館		①
上杉景勝書状(市河家文書)	天正10年(1582)	山梨県立博物館	○	②
武田家朱印状(池谷家資料)	戦国時代	個人(寄託)		③
武田家朱印状(甲州文庫)	元亀2年(1571)	山梨県立博物館		④
徳川家郷中定書(池谷家資料)	天正17年(1589)	個人(寄託)		⑤
上杉景勝判物(市河家文書)	室町～江戸時代	山梨県立博物館	○	⑥
小山田信茂朱印状写(若尾資料)	天正5年(1577)	山梨県立博物館		⑦
令和7年度筒粥占標(小室浅間神社)	令和7年(2025)	山梨県立博物館		⑦
山に生きる				
林業の道具を象った小正月のツクリモノ	現代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲州金(一分金 甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
大鋸	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
枘・焼き鋸	明治時代以降	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
焼畑衣装(再現品)	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
柴山并里焼畑寄帳(甲州文庫)	宝永7年(1710)	山梨県立博物館		①
材木山召し上げ願につき御訴訟(甲州文庫)	延宝5年(1677)	山梨県立博物館		①
市川大門村御運上紙入札につき覚(甲州文庫)	延宝7年(1679)	山梨県立博物館		①
横手山水晶試堀妨害に付吟味願(甲州文庫)	天保15年(1844)	山梨県立博物館		①
並山日記 巻五(若尾資料)	嘉永3年(1850)	山梨県立博物館		②
材木川下げ関所通御証文願上書(檜峰神社武藤家文書)	元文3年(1738)	山梨県立博物館		②
川浦山伐出材木流出ニ付流木返し方欠込御訴訟書(川崎家文書)	安永9年(1780)	山梨県立博物館		②
徳川家康朱印状(田辺家資料)	文禄2年(1593)	山梨県立博物館	○	②
猪鹿防ぎにつき差出シ申請証文之事(甲州文庫)	安永9年(1780)	山梨県立博物館		③
差上申鉄炮証文之事(甲州文庫)	弘化3年(1846)	山梨県立博物館		③
『甲斐国志』巻之二国法部(甲州文庫)	文化11年(1814)	山梨県立博物館		③
楮三ッ俣他国出留済口証文写(甲州文庫)	文政2年(1819)	山梨県立博物館		③
松木筏下しにつき乍恐以書付奉願上候(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		④
山畑願につき江戸出府日記(古屋家資料)	安永4年(1775)	山梨県立博物館		④
武田家朱印状(田辺家資料)	永禄3年(1560)	山梨県立博物館	○	④
楮荷物繰送り差留訴状と済口証文(甲州文庫)	文化11年(1814)	山梨県立博物館		④⑤⑥⑦
下芦川村産物取調帳(太田家文書)	明治6年(1873)	山梨県立博物館		⑤

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
山畑売渡証文(甲州文庫)	万延元年(1860)	山梨県立博物館		⑤
覚(茶運上請取につき)(甲州文庫)	宝暦12年(1762)	山梨県立博物館		⑤
川合村年中煎茶呑高書上(甲州文庫)	江戸時代(18世紀か)	山梨県立博物館		⑤⑥
御請申材木之事(甲州文庫)	万治4年(1661)	山梨県立博物館		⑥
参詣人永代船渡しにつき補任状(甲州文庫)	正徳元年(1711)	山梨県立博物館		⑥
盗難糊入紙見聞につき口書(甲州文庫)	天和3年(1683)	山梨県立博物館		⑥
紙漉高帳差出遅延一件吟味勘弁願(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑥⑦
「甲州金図録」(『金銀図録 巻之三』、甲州文庫)	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館		⑦
甲州金摺物(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑦
新規紙漉稼難渋出入一件綴(甲州文庫)	文久2年(1862)	山梨県立博物館		⑦
山梨産紙沿革一斑(甲州文庫)	明治41年(1908)	山梨県立博物館		⑦
里にくらす				
馬ブラシ	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
草鞋	昭和時代か	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
馬の草鞋	平成17年(2005)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
煙草の箱	明治時代以降	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
『甲斐叢記』	嘉永元年(1848)	山梨県立博物館		①
ヒブセ(おやなぎ)	平成時代	山梨県立博物館		①
『おふどうタイムス』3月号	昭和3年(1928)	個人		①
鹿島様の刀	平成25年(2013)	山梨県立博物館		①
春日大宮若宮御祭禮図	江戸時代中期	個人		①
大和耕作絵抄	大正4年(1915) 原本は元禄年間	山梨県立博物館		①⑦
流し籠(上野晴朗氏収集資料)	昭和時代	山梨県立博物館		①⑦
立籠(上野晴朗氏収集資料)	明治～昭和時代	山梨県立博物館		①⑦
押絵籠(山梨県教育委員会収集資料)	明治～昭和時代	山梨県立博物館		①⑦
押絵籠(山梨県教育委員会収集資料)	明治～昭和時代	山梨県立博物館		①⑦
立籠(大木家資料)	江戸時代以降	山梨県立博物館		①⑦
初節句祝儀(市川家文書)	明治33年(1900)	山梨県立博物館		②
甲府買物独案内(甲州文庫)	嘉永7年(1854)	山梨県立博物館		②
裏見寒話 巻五(甲州文庫)	宝暦2年(1752)	山梨県立博物館		②
おかぶと(鯉の滝登り)	明治時代か	山梨県立博物館		②
関所通手形(甲州文庫)	慶応4年(1868)	山梨県立博物館		②
早魃の為稲植付不能に付進進(甲州文庫)	明治7年(1874) 以前	山梨県立博物館		②
小物成山へ水神勧請願一札(甲州文庫)	文化4年(1807)	山梨県立博物館		②
妙光院より雨乞祈禱に付書簡(五味家文書)	年代不詳	山梨県立博物館		②
おかぶと(信玄)	明治時代以降	山梨県立博物館		②③④
びんぶせ(小林コレクション)	昭和時代	山梨県立博物館		②③⑤
馬を描いた種紙袋	昭和時代	山梨県立博物館		③
金桜神社蚕倍盛鼠退散の札(関本家文書)	年代不詳	山梨県立博物館		③
蛇の絵馬(甲州文庫)	年代不詳	山梨県立博物館		③
蚕吉凶判断(篠原家文書)	明治29年(1896)	山梨県立博物館		③
河野家日記(竜王村文書その他)	天保7年(1836)	山梨県立博物館		③
明治26年養蚕日誌(鈴木家文書)	明治26年(1893)	山梨県立博物館		③
神犬神札	昭和時代	山梨県立博物館		③
狐の絵馬(甲州文庫)	年代不詳	山梨県立博物館		③
『裏見寒話』追加の巻	宝暦2年(1752)	山梨県立博物館		③
もじり(県教育委員会収集資料)	大正時代以降	山梨県立博物館		③
鑑堂観世音菩薩縁起(若尾資料)	大正5年(1916)	山梨県立博物館		③
馬の絵馬(甲州文庫)	年代不詳	山梨県立博物館		③
金草鞋十二編身延山道中記(甲州文庫)	文政2年(1819)	山梨県立博物館		④

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
往来手形(上野晴朗氏収集資料)	貞享5年(1688)	個人		④
富士山御胎内御札(大木家資料)	嘉永4年(1851)	山梨県立博物館		④
船津胎内守(大木家資料)	江戸時代か	山梨県立博物館		④
「北口本宮病葉」(大木家資料)	年代不詳	山梨県立博物館		④
風俗画報 第172号 甲府荒川夜釣の実況 甲斐国名産葡萄(甲州文庫)	明治31年(1898)	山梨県立博物館		④
キの神神札	平成	山梨県立博物館		④
峡中紀行(甲州文庫)	明治30年(1897) 原本は宝永3年(1706)	山梨県立博物館		④
葡萄郷の絵葉書(上野晴朗氏収集資料)	明治時代以降	山梨県立博物館		④⑤
ぶどう掛け紙	昭和時代	山梨県立博物館		④⑤
和漢三才図会(大木家資料)	明治時代以降	山梨県立博物館		④⑤
身延参詣甲州道中膝栗毛(甲州文庫)	安政4年(1857)	山梨県立博物館		④⑤
びんぶせ	大正時代以降	山梨県立博物館		⑤
おかぶと(桃太郎)	明治時代か	山梨県立博物館		⑤
婚礼盃之事(大木家資料)	江戸時代以降	山梨県立博物館		⑤
婚礼の盃(樋口家資料)	江戸時代以降	山梨県立博物館		⑤
食い初めの食器	平成24年(2012)	個人		⑤
出産見舞の控(大木家資料)	明治28年(1895)	山梨県立博物館		⑤
西保下村出産見舞受納帳(西保下村武藤家文書)	文久元年(1861)	山梨県立博物館		⑤
絵葉書大黒葡萄酒の光栄(葡萄酒会社関係資料一括)	大正11年(1922)	山梨県立博物館		⑤
初節句請納物控(市川家文書)	明治33年(1900)	山梨県立博物館		⑤
痘瘡見舞請納帳(大木家資料)	嘉永7年(1854)	山梨県立博物館		⑤
オカタブチ棒	昭和時代	山梨県立博物館		⑥
カドオトコ	昭和時代	山梨県立博物館		⑥
アボ・ヘボ	平成	山梨県立博物館		⑥
『山梨県案内』(甲州文庫)	明治36年(1903)	山梨県立博物館		⑥
『風俗画報』(頼生文庫)	明治24年(1891)	山梨県立博物館		⑥
ヒイチ	平成	山梨県立博物館		⑥
ハイボコサン	平成	山梨県立博物館		⑥
韓国扶餘出土 陽物形木簡(複製)	(原資料) 538～567年	山梨県立博物館 (原資料) 韓国国立扶余博物館		⑥
「道祖神祭礼再開願」(西保下村武藤家文書)	天保11年(1840)	山梨県立博物館		⑥
小正月のツクリモノ(鉄砲・刀・福鏡・オボコ)	平成	山梨県立博物館		⑥⑦
初節句献立(市川家資料)	明治時代	山梨県立博物館		⑦
初節句見舞受納帳(市川家資料)	明治20年(1887)	山梨県立博物館		⑦
初節句祝儀見舞受納帳(市川家資料)	安政5年(1858)	山梨県立博物館		⑦
もと初節句見舞受納帳(市川家資料)	明治24年(1891)	山梨県立博物館		⑦
城下町の賑わい				
甲府城跡稲荷曲輪出土家紋瓦	江戸時代(17世紀)	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
金箔鱧瓦(復元品)	(原資料) 文禄・慶長年間	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲府上水木樋	江戸時代	甲府市水道資料館		①②③④⑤⑥⑦
甲府城跡稲荷櫓出土輪宝	江戸時代(寛文年間)	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
甲府城跡人質曲輪出土桐文瓦	文禄・慶長年間	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
甲府城跡本丸出土花菱紋瓦	文禄・慶長年間	山梨県立考古博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
甲府城内指置候武具覚(甲州文庫)	享保9年(1724)	山梨県立博物館		①
稲荷曲輪御櫓御蔵御道具具数帳(甲州文庫)	享保12年(1727)	山梨県立博物館		①
甲府御城付(甲州文庫)	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館		①
甲城暦代記(甲州文庫)	文政11年(1828)	山梨県立博物館		①
甲府御城草薙請負帳(甲州文庫)	寛保3年(1743)	山梨県立博物館		①
御城内道具掛御用につき差出申一札之事(甲州文庫)	延享4年(1747)	山梨県立博物館		①
甲府城下諸色相場書(甲州文庫)	宝暦6年(1756)	山梨県立博物館		①

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
甲府御城上下府中惣町草高人足書上帳(頼生文庫)	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館		①
甲府上府中町々中連判定書(頼生文庫)	宝暦14年(1764)	山梨県立博物館		①
谷村御蔵田初詰替につき覚(甲州文庫)	寛延元年(1748)	山梨県立博物館		①
秋元氏御略系(甲州文庫)	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館		①
系図書扣帳(甲州文庫)	文政5年(1822)	山梨県立博物館		①
山水図	江戸～明治時代	山梨県立博物館		②
縮図	天保7年(1836)	山梨県立博物館		②
人物花鳥図	天保4年(1833)か	山梨県立博物館		②
山水画帖	江戸～明治時代	山梨県立博物館		②
甲府上水陣場堰筋御修復仕様帳(頼生文庫)	文化4年(1807)	山梨県立博物館		②
甲府上水陣場堰筋御修復仕様書(頼生文庫)	文化4年(1807)	山梨県立博物館		②
陣場堰普請諸用留(絵図面)	文化4年(1807)	山梨県立博物館		②
御尋に付甲府上水仕様申上書 (頼生文庫、享保17年御用留のうち)	享保17年(1732)	山梨県立博物館		②
懐宝甲府絵図(甲州文庫)	嘉永3年(1850)	山梨県立博物館		②
出火場持道具水手人足書上帳(甲州文庫)	文化10年(1813)	山梨県立博物館		②③(～8/16)
八日町火消人足並諸道具内訳帳(甲州文庫)	元治元年(1864)	山梨県立博物館		②③(～8/16)
火消人足御入用にて仰付方願書(甲州文庫)	寛保3年(1743)	山梨県立博物館		②③(～8/16)
甲府上府中組火消法被並纏図(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		②③(～8/16)
絵本宝能纏(複製版)	大正時代	山梨県立博物館		③
蚕養育伝書	文化13年(1816)	山梨県立博物館		③
蚕養秘録	天保8年(1837)	山梨県立博物館		③
蚕がひの学	天保12年(1841)	山梨県立博物館		③
甲府境町生類憐仰渡請書(頼生文庫)	貞享5年(1688)	山梨県立博物館		③
犬の子書上(甲州文庫)	貞享5年(1688)	山梨県立博物館		③
御巢鷹時分につき猫の注意請書(甲州文庫)	明暦4年(1658)	山梨県立博物館		③
馬毛付・年付・尺付改帳(甲州文庫)	貞享5年(1688)	山梨県立博物館		③
伊勢参宮の者帰着につき披露(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		④
道中安全・万事心付日記帳(関本家文書)	天保12年(1841)	山梨県立博物館		④
伊勢参宮道中日記(関本家文書)	文政7年(1824)	山梨県立博物館		④
伊勢参宮生れ年により吉凶の事(手塚家文書)	文化5年(1808)	山梨県立博物館		④
先触状(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		④
伊勢参宮道ノ記(大木家文書)	文政9年(1826)	山梨県立博物館		④
東海道・中山道行程早見表(甲州文庫)	文政13年(1830)	山梨県立博物館		④
納経帳(甲州文庫)	文政5年(1822)	山梨県立博物館		④
諸国道中商人鑑(甲州文庫)	文政10年(1827)	山梨県立博物館		④
甲州道中細見記(甲州文庫)	安政5年(1858)	山梨県立博物館		④
浪花講定宿帳(古文書雑帳(2))	安政2年(1855)	山梨県立博物館		④
鯰沢番所通手形申請書(甲州文庫)	貞享3年(1686)	山梨県立博物館		④
家出人帰住願書(甲州文庫)	文化3年(1806)	山梨県立博物館		④
亀屋座芝居番付(「升太の広告集」より)	文政7年(1824)	山梨県立博物館		⑤
菓子題箋「升てみら」	文政5年(1822)	個人(寄託)		⑤
菓子題箋「志の々め(東雲)」	天保12年(1841)	個人(寄託)		⑤
「新製親玉おこし」ちらし	江戸時代	個人(寄託)		⑤
松亭開業案内状(甲州文庫)	嘉永2年(1849)	山梨県立博物館		⑤
松亭の引札(大木家文書)	江戸時代か	山梨県立博物館		⑤
『山梨県甲府各家商業便覧』(甲州文庫)	明治18年(1885)	山梨県立博物館		⑤
乍憚口上(小田原屋引札)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤
『さかなつくし』	明治44年(1911)	山梨県立博物館		⑤
不審者宿取り仰渡に付差上一札(甲州文庫)	天和2年(1682)	山梨県立博物館		⑤
甲府町酒造石高調帳(甲州文庫)	宝暦5年(1755)	山梨県立博物館		⑤
清酒・賢飴・煮売商売につき乍恐書付を以奉願上候(甲州文庫)	寛政7年(1795)	山梨県立博物館		⑤

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
甲斐国三郡引渡目録(甲州文庫)	享保9年(1724)	山梨県立博物館		⑤
升太の広告集(甲州文庫)	江戸～明治時代	山梨県立博物館		⑥
甲府八日町正月初売之景 原画(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑥
(引札) 乍憚口上	江戸～明治時代	個人(寄託)		⑥
あつま道の記(甲州文庫)	安政4年(1857)	山梨県立博物館		⑥
道祖神祭礼の心得につき達(甲州文庫)	明治4年(1871)	山梨県立博物館		⑥
甲州道祖神話(甲州文庫)	江戸時代か	山梨県立博物館		⑥
道祖神祭礼御条目請印帳(甲州文庫)	天保8年(1837)	山梨県立博物館		⑥
道祖神祝儀並に諸入用永代帳(甲州文庫)	安永9～文政10年(1780～1827)	山梨県立博物館		⑥
大久保忠高書状(三枝家資料)	江戸時代(17世紀)	山梨県立博物館		⑥
春日竹亭書状(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑥
御年頭江戸出府入用割帳(甲州文庫)	寛文5年(1665)	山梨県立博物館		⑥
新年引札(関本家文書)	文久2年(1862)	山梨県立博物館		⑥
絵本英雄部類	弘化3年(1846)	山梨県立博物館		⑦
川中島両將軍記 上之巻	江戸時代	山梨県立博物館		⑦
絵本甲越軍記三編	文政8年(1825)	山梨県立博物館		⑦
絵本信玄一代記	江戸時代	山梨県立博物館		⑦
河中嶋(川中島)烈戦美談(甲州文庫)	安政6年(1859)	山梨県立博物館		⑦
機山公御廟玉垣略図(甲州文庫)	天保10年(1839)	山梨県立博物館		⑦
機山公御廟玉垣造営寄附金請取帳(甲州文庫)	天保11年(1840)	山梨県立博物館		⑦
武田晴信信玄像模本(甲州文庫)	明治5年(1872)	山梨県立博物館		⑦
大泉寺縁起(甲州文庫)	文政10年(1827)	山梨県立博物館		⑦
八日市場夜廻番帳写(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑦
口上覚(信玄公二百五十年遠忌につき、甲州文庫)	文化15年(1818)	山梨県立博物館		⑦
武田信虎肖像刷物(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑦
姿貌する景観				
大日本物産図会 甲斐国葡萄培養図(複製)	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
生糸(県繭糸検査事務所資料)	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
写真絵はがき類 温泉(甲州文庫)	明治時代以降	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
大日本物産図会 甲斐国白柿製之図(複製)	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲山峡水(甲州文庫)	明治39年(1906)	山梨県立博物館		①
甲府市を中心とせる甲斐大観(甲州文庫)	昭和4年(1929)	山梨県立博物館		①
観光の甲府 (「泉都甲府」、「葡萄郷」、「御嶽昇仙峡」、「武田神社と信玄公」)	昭和時代初期	個人		①②④⑤
御嶽昇仙峡(金子常光鳥瞰図 甲州文庫)	昭和2年(1927)	山梨県立博物館		②
参詣要覧 身延山図絵(甲州文庫)	大正8年(1919)	山梨県立博物館		②
富士登山と五湖めぐり(甲州文庫)	昭和4年(1929)	山梨県立博物館		②
西山梨郡湯村鷺の湯谷の湯馬の湯沿革及現在の状況(廣瀬家資料)	江戸時代	山梨県立博物館		③
甲府太田町公園全図(頼生文庫)	明治15年(1882)	山梨県立博物館		③
太田町公園絵葉書(上野晴朗氏収集資料(歴史資料))	年代不詳	山梨県立博物館		③
御嶽昇仙峡(金子常光鳥瞰図 甲州文庫)	昭和2年(1927)	山梨県立博物館		④
参詣要覧 身延山図絵(甲州文庫)	大正8年(1919)	山梨県立博物館		④
富士登山と五湖めぐり(甲州文庫)	昭和4年(1929)	山梨県立博物館		④
葡萄三説(葡萄酒会社関係資料一括)	明治23年(1890)	山梨県立博物館		⑤
葡萄苗木代金領収書(葡萄酒会社関係資料一括)	明治時代	山梨県立博物館		⑤
甲州葡萄掛紙貼付帳(甲州文庫)	—	山梨県立博物館		⑤
温泉郷の風光 吉田初三郎筆	昭和戦前期	個人		⑥
甲山峡水(甲州文庫)	明治39年(1906)	山梨県立博物館		⑥
甲斐廻手振(若尾資料)	不明(原本成立は嘉永年間)	山梨県立博物館		⑥
葡萄栽培法摘要(甲州文庫)	明治10年(1877)	山梨県立博物館		⑥

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
頂上ひとりあない(甲州文庫)	明治13年(1880)	山梨県立博物館		⑦
旅行の友 創刊号(甲州文庫)	昭和6年(1931)	山梨県立博物館		⑦
富士裾野めぐり 付富士川下り甲州御岳(甲州文庫)	大正14年(1925)	山梨県立博物館		⑦
信仰の足跡				
役行者像(複製)	平安～鎌倉時代(12世紀)	山梨県立博物館(原資料 円楽寺)	原資料 ○	①②③④⑤⑥⑦
富士山五合五勺経ヶ岳出土経巻(複製)	平安時代	山梨県立博物館(原資料 個人)		①②③④⑤⑥⑦
甲斐勝沼柏尾塚出土経筒(複製)	康和5年(1103)	山梨県立博物館(原資料 東京国立博物館)	原資料 ◎	①②③④⑤⑥⑦
愛染明王坐像(複製)	平安時代(12世紀)	山梨県立博物館(原資料 放光寺)	原資料 ◎	①②③④⑤⑥⑦
金峰山出土品(釘、古銭、鏡、薙鎌)	平安～明治時代	甲府市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
渡唐天神像 策彦周良賛	室町時代(16世紀)	南松院	○	①(2/14～3/11)
蘭石図 雪窓普明筆	元時代(14世紀)	山梨県立博物館		①(3/13～4/15)
富士山百景狂歌集(甲州文庫)	万延元年(1860)	山梨県立博物館		①⑥⑦
甲斐国金桜神社御嶽山晩春之図(甲州文庫)	江戸時代(18～19世紀)	山梨県立博物館		①⑦
甲斐国金桜神社御嶽山晩春之図(甲州文庫)	江戸時代(18～19世紀)	山梨県立博物館		②
不二日記<富士日記写本>(甲州文庫)	文化11年(1814)	山梨県立博物館		②
観音菩薩立像	鎌倉時代	山梨県立博物館		②③④⑤⑥
富士山牛玉	江戸時代(17世紀)	山梨県立博物館		③
蔵王権現立像	平安時代(12世紀)	山梨県立博物館	○	③④⑤⑥
隔搔録	文化13年(1816)	山梨県立博物館		④⑤
章駄天立像	南北朝時代	円光院		⑦
甲斐を駆ける武士たち				
関東下知状(複製)	応長元年(1311)	山梨県立博物館(原資料 大善寺)	原資料 ○	①②③④⑤⑥⑦
長寛勘文写本(複製)	江戸時代	山梨県立博物館(原資料 熊野神社)	原資料 ◇	①②③④⑤⑥⑦
銅製経筒および付属品(複製)	建久8年(1197)	山梨県立博物館(原資料 個人)	原資料 ○	①②③④⑤⑥⑦
諏訪神号旗(複製)	室町時代(16世紀)	山梨県立博物館(原資料 恵林寺)	原資料 ○	①②③④⑤⑥⑦
孫子の旗(複製)	室町時代(16世紀)	山梨県立博物館(原資料 恵林寺)	原資料 ○	①②③④⑤⑥⑦
武田晴信像(複製)	室町時代(16世紀)	山梨県立博物館(原資料 持明院)		①②③④⑤⑥⑦
小桜章威鎧 兜・大袖付(楯無鎧)復元品	平安～鎌倉時代	山梨県立博物館(原資料 菅田天神社)	原資料 ●	①②③④⑤⑥⑦
古府中絵図	江戸時代か	山梨県立博物館		①
武田晴信書状	戦国時代(16世紀)	個人		①
小笠原家故実伝書	天和2年(1682)	山梨県立博物館		①
岩窪信玄公墓石写	江戸時代か	山梨県立博物館		①
信玄公御屋形図	江戸時代	山梨県立博物館		②
武田晴信感状(三井家資料)	弘治3年(1557)	個人	◇	②
江尻城絵図(武田甲斐国領土出城見取図のうち)(頼性文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		②
甲陽軍鑑 巻一	江戸時代	山梨県立博物館		②③
七十一番職人歌合 上巻	江戸時代	山梨県立博物館		③
七十一番職人歌合 下巻	江戸時代	山梨県立博物館		③
穴山信君判物(南松院文書)	天正8年(1580)	南松院	○	③
武田家朱印状(市川新六郎あて)(市河家文書)	永禄11年(1568)	山梨県立博物館	○	④
川中島合戦図(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		④
信州川中島古跡順道手引草之図(甲州文庫)	江戸時代か	南松院		④
川中島の戦 附史蹟探訪案内(甲州文庫)	昭和5年(1930)	山梨県立博物館		④
武田晴信感状(三井家資料)	弘治3年(1557)	個人	◇	⑤
川中島合戦図	江戸時代	山梨県立博物館		⑤

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
甲越信戦録	天保7年(1836)	山梨県立博物館		⑤
穴山信君判物(南松院資料)	戦国時代	南松院	○	⑤
武田晴信条目(今沢家文書)	弘治3年(1557)	山梨県立博物館		⑥
祝いのお膳(式三献)	—	山梨県立博物館		⑥
武田晴信朝臣百首和歌(甲州文庫)	文政3年(1820)	山梨県立博物館		⑥
『甲陽軍鑑』巻十六「幕之事」(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑥
武田晴信書状(2月1日付、北条あて)	戦国時代	山梨県立博物館		⑦
甲州古府中古城之図	江戸時代	山梨県立博物館		⑦
一宮修理亮家文書写	寛政3年(1791)	山梨県立博物館		⑦
甲斐国志 巻百十九 附録部(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑦
川を彩る高瀬舟				
鯉沢河岸跡 ガラス瓶	明治~大正時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
足半草鞋	明治時代以降	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
鯉沢河岸跡出土遺物	江戸~明治時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
鯉沢河岸跡出土マグロ骨	江戸時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
鯉沢河岸跡出土泥面子	明治時代	山梨県立考古博物館		①②③④⑤⑥⑦
富士川舟運関係会社印鑑類	明治時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
道がつなぐ出会い				
新巻常滑大甕	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
青磁碗	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
染付皿	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
染付碗	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
瀬戸・美濃灰釉更	室町時代	個人	○	①②③④⑤⑥⑦
駒橋出土埋蔵銭	室町時代	個人		①②③④⑤⑥⑦
躰躰ヶ崎館跡出土陶磁器	室町時代	甲府市教育委員会		①②③④⑤⑥⑦
東原古瀬戸瓶	鎌倉時代	山梨県立博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
東原常滑大甕	鎌倉時代	山梨県立博物館	○	①②③④⑤⑥⑦
弘法大師像 木喰作	天明9年(1789)	山梨県立博物館		①②
渥美短頸壺	平安時代(12世紀)	個人	○	①②③④⑤
ガラス製食器(大木家資料)	昭和時代か	山梨県立博物館		①⑤
アイスクリーム製造機(大木家資料)	昭和時代初期	山梨県立博物館		①⑤
牛乳代領収書(大木家資料)	明治14・15年(1881・1882)	山梨県立博物館		①⑤
大皿(大木家資料)	年代不詳	山梨県立博物館		①⑤
ワイングラス(大木家資料)	江戸時代末期以降	山梨県立博物館		①⑤
「甘味葡萄酒」木樽(大木家資料)	大正~昭和時代初期か	山梨県立博物館		①⑤
抱き人形(大木家資料)	明治時代か	山梨県立博物館		①⑦
三月節供雛人形(大木家資料)	明治~昭和時代初期	山梨県立博物館		①⑦
五月節供人形(坂本家資料)	昭和17年(1942)	個人		②
今川義元判物(森家資料)	天文21年(1552)	個人		②
穴山信君判物(森家資料)	天正4年(1576)	個人		②
穴山信君朱印状(森家資料)	天正8年(1580)	個人		②
もじり	昭和時代	山梨県立博物館		②
馬の鞍4種	江戸~昭和時代	個人		③
萩原木食繁昌写本(古日記抄(若尾資料))	大正5年(1916)	山梨県立博物館		③
七福神図 木食白道作	江戸時代(18世紀)	山梨県立博物館		③
八木図 木喰作	文化2年(1805)	個人		③
恵比寿大黒天像 木食白道作	江戸時代(18~19世紀)	個人		③④⑤⑥⑦
富士山頂雷除御守他(大木家資料)	江戸~明治時代	山梨県立博物館		④
富士大山登山餞別日下恵(大木家資料)	天保14年(1843)	山梨県立博物館		④

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
富士講行着(大木家資料)	江戸時代	山梨県立博物館		④
富士山神札(大木家資料)	江戸時代	山梨県立博物館		④
千円札	令和6年(2024)	山梨県立博物館		④
富嶽三十六景 神奈川沖裏(複製品)	現代	山梨県立博物館		④
富士三十六景 相模七里か濱風波(歌川広重筆)	嘉永5年(1852)	山梨県立博物館		④(8/21～9/19)
富士三十六景 駿河薩々之海上(歌川広重筆)	安政5年(1858)	山梨県立博物館		④(9/20～10/21)
歳云録(若尾資料)	大正7年(1917) ※原資料は江戸時代	山梨県立博物館		⑤
甲府大地震之記(甲州文庫)	安政元年(1854)	山梨県立博物館		⑤
地震潰家取調帳(甲州文庫)	嘉永7年(1854)	山梨県立博物館		⑤
甲府大地震町々御救米割合帳(頼生文庫)	嘉永7年(1854)	山梨県立博物館		⑤
嘉永7年地震諸入用控(三井家文書)	嘉永7年(1854)	山梨県立博物館		⑤
地震諸事記(市川家資料)	嘉永7年(1854)	山梨県立博物館		⑤
甲府安政大地震の救済内訳書(頼生文庫)	安政元年(1854)	山梨県立博物館		⑤
安政見聞録 上・中・下(長谷川家文書)	安政3年(1856)	山梨県立博物館		⑤
江戸安政大地震震類焼場所地図(長谷川家文書)	安政3年(1856)	山梨県立博物館		⑤
四猿	慶応元年(1865)	山梨県立博物館		⑥
護国女太平記 卷之一～卷之五(関本家文書)	江戸時代	山梨県立博物館		⑥
唐詩選解 上(長谷川家文書)	寛政8年(1796)	山梨県立博物館		⑥
唐詩選解 下(長谷川家文書)	寛政8年(1796)	山梨県立博物館		⑥
防虫剤と専用送風機	現代	山梨県立博物館		⑥
温湿度データロガー	現代	山梨県立博物館		⑥
自記式温湿度計	現代	山梨県立博物館		⑥
調湿剤	現代	山梨県立博物館		⑥
渥美焼 壺(金地蔵遺跡)	平安時代(12世紀)	笛吹市教育委員会		⑥⑦
等々力村明細帳(甲州文庫)	江戸時代	山梨県立博物館		⑦
年貢皆済目録(甲州文庫)	天保9年(1838)	山梨県立博物館		⑦
甲州枅(甲州文庫)	年代不明	山梨県立博物館		⑦
甲州枅焼印(甲州文庫)	年代不明	山梨県立博物館		⑦
甲州金(福寺遺跡出土)	室町時代(16世紀)	山梨県立博物館		⑦
徳川家康朱印状(田辺家資料)	文禄2年(1593)	山梨県立博物館	○	⑦
江戸文化の往来				
源氏物語図色紙貼付屏風	文化11年(1814)	山梨県立博物館		①
成沢村絵図	文化3年(1806)	都留市	◇	①
山水押絵貼付屏風	江戸時代中後期	山梨県立博物館		②
養老滝図	江戸時代前期	山梨県立博物館		②
松間飛瀑図	江戸～明治時代	山梨県立博物館		②
高土観瀑図	近代	山梨県立博物館		②
大石村絵図	文化3年(1806)	都留市	◇	②
富嶽三十六景 神奈川沖浪裏(葛飾北斎筆)	文政13～天保4年 (1830～33)頃	山梨県立博物館		③(7/4～7/17)
富嶽三十六景 神奈川沖浪裏(複製品)	現代	山梨県立博物館		③(6/19～7/3、 7/8～8/19)
北斎漫画 四編・五編・七編(葛飾北斎筆)	江戸時代	山梨県立博物館		③
富嶽百景 初編・二編(葛飾北斎筆)	天保5～6年 (1834～35)	山梨県立博物館		③
富嶽三十六景 御厩川岸より兩國橋夕陽見(葛飾北斎筆)	文政13～天保4年 (1830～33)頃	山梨県立博物館		③(6/19～7/17)
富嶽三十六景 東海道江尻田子の浦略圖(葛飾北斎筆)	文政13～天保4年 (1830～33)頃	山梨県立博物館		③(6/19～7/17)
富嶽三十六景 武州玉川(葛飾北斎筆)	文政13～天保4年 (1830～33)頃	山梨県立博物館		③(7/18～8/19)
富嶽三十六景 隠田の水車(葛飾北斎筆)	文政13～天保4年 (1830～33)頃	山梨県立博物館		③(7/18～8/19)
小篠村絵図	文化3年(1806)	都留市	◇	③

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
鴻ノ台図屏風(大木家資料)(二代歌川広重筆)	江戸時代後期	山梨県立博物館		④
鴻ノ台図屏風 画稿(大木家資料)(二代歌川広重筆)	江戸時代後期	山梨県立博物館		④
諸国名所図会 甲斐身延路鯨澤不二川(二代歌川広重筆)	文久2年(1862)	山梨県立博物館		④(8/21～9/19)
諸国名所百景 甲州矢立杉(二代歌川広重筆)	安政6年(1859)	山梨県立博物館		④(9/20～10/21)
芦垣村絵図	文化3年(1806)	都留市	◇	④
葡萄図屏風(天龍道人筆)	江戸時代	個人(寄託)		⑤
葡萄図(天龍道人筆)	享和元年(1801)	山梨県立博物館		⑤
葡萄図(天龍道人筆)	江戸時代	山梨県立博物館		⑤
大柵村絵図	文化3年(1806)	都留市	◇	⑤
千円札	令和6年(2024)	山梨県立博物館		⑤⑥⑦
甲府道祖神祭幕絵 太閤記 佐久間盛政羽柴秀吉を狙ふ	元治元年(1864)頃	山梨県立博物館		⑥
塩瀬村絵図	文化3年(1806)	都留市	◇	⑥
大日本六十余州之内 甲斐 八重垣姫(三代歌川豊国筆)	天保14～弘化4年(1843～47)	山梨県立博物館		⑦(2/19～3/17)
役者絵 武田勝頼・八重垣姫(歌川国明筆)	明治28年(1895)	山梨県立博物館		⑦(2/19～3/17)
八重垣姫 助高屋高助(歌川周重筆)	明治14年(1881)	山梨県立博物館		⑦(3/19～4/21)
天正八年上州膳の城攻め(歌川芳虎筆)	元治元年(1864)	山梨県立博物館		⑦(2/19～3/17)
長篠合戦 山縣三郎兵衛討死之圖(月岡芳年筆)	慶応4年(1868)	山梨県立博物館		⑦(3/19～4/21)
武田廿四将肖像(北尾重政筆)	江戸時代	山梨県立博物館		⑦
甲州二十四将之肖像(歌川貞秀筆)	天保14～弘化4年(1843～47)	山梨県立博物館		⑦(2/19～3/17)
武田二十四将画像(歌川芳艶筆)	万延元年(1860)	山梨県立博物館		⑦(3/19～4/21)
武田二十四将画像(歌川芳員筆)	嘉永5年(1852)	山梨県立博物館		⑦(2/19～3/17)
武田二十四将図(初代鳥居清信筆)	江戸時代	山梨県立博物館		⑦(3/19～4/21)
上暮地村絵図	文化3年(1806)	都留市	◇	⑦
転換期に向き合う				
勝沼駅近藤勇驍勇之図(複製)	慶応4年(1868)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
近世侠客有名鏡(複製)	明治時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
天保騒動の一揆進行の絵図(複製)	江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
御御官軍御宿割控(甲州文庫)	慶応4年(1868)	山梨県立博物館		①②
王政復古に際し 諸触写(楡峰神社武藤家文書)	慶応3年(1867)	山梨県立博物館		①②
幕末甲斐国統治条目(頼生文庫)	慶応4年(1868)	山梨県立博物館		①②
板垣退助写真(大木家文書)	近代	山梨県立博物館		①②⑦
砲弾	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館		①②⑦
一蓮寺境内絵図(甲州文庫)	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館		③
大曲馬広告(甲州文庫)	明治時代(19世紀)	山梨県立博物館		③
諸鳥鳴合会案内(甲州文庫)	江戸時代か	山梨県立博物館		③
助郷人馬割当に付き廻状(長谷川家文書)	文久元年(1861)	山梨県立博物館		④
御下向人馬取調帳(長谷川家文書)	文久元年(1861)	山梨県立博物館		④
和宮御参向供奉行列図(甲州文庫)	文久元年(1861)	山梨県立博物館		④
和宮様御下向入用帳(甲州文庫)	文久元年(1861)	山梨県立博物館		④
牛肉大勉強販売広告(太田家文書)	明治32年(1899)	山梨県立博物館		⑤
滋養分肉舎規約(大木家資料)	明治22年(1889)	山梨県立博物館		⑤
『第14回全国料理飲食業同盟大会々記』(甲州文庫)	大正5年(1916)	山梨県立博物館		⑤
『増補日用西洋料理法』(大木家資料)	明治28年(1895)	山梨県立博物館		⑤
正月年礼之儀に付御達(篠原家文書)	明治初期	山梨県立博物館		⑥
甲府郵便取扱所御開御布達并規則(甲州文庫)	明治4年(1872)	山梨県立博物館		⑥
年賀状(大木家文書)	明治20年(1887)	山梨県立博物館		⑥
年賀状(大木家文書)	明治21年(1888)	山梨県立博物館		⑥
覚(柏尾の戦いにおける土佐藩兵の分捕品につき、太田家文書)	慶応4年(1868)	当館蔵		⑦
柏尾の戦(若尾資料)	大正6年(1917)写	当館蔵		⑦
巨富を動かす				

資料名	時代	所蔵者	指定	展示期間
甲府繁盛寿語呂久(甲州文庫)	明治36年(1903)	山梨県立博物館		①
鉄道運輸開業広告(甲州文庫)	明治22年(1889)	山梨県立博物館		①
蒸気車往復繁栄之図(甲州文庫)	明治22年(1889)	山梨県立博物館		①
風俗画報増刊 第337号 小金井名所図会 甲武鉄道(甲州文庫)	明治39年(1906)	山梨県立博物館		①
中央線開通祝賀関係資料(高室家資料)	明治36年(1903)	山梨県立博物館		①
山梨県実業家懇親会余興煙火番組(甲州文庫)	明治時代	山梨県立博物館		①
若尾逸平銅像ミニチュア	大正2年(1913)	山梨県立博物館		①②③④⑤
電気料金領収証(甲州文庫)	明治33・34年(1900・01)	山梨県立博物館		②
甲府電力株式会社株券(甲州文庫)	大正時代	山梨県立博物館		②
山梨県写真帖(大木家文書)	明治45年(1912)	山梨県立博物館		②
山梨県郷土資料第一輯 水力電気篇(甲州文庫)	昭和3年(1928)	山梨県立博物館		②
山梨電気博覧会 記念写真帳(大木家文書)	昭和3年(1928)	山梨県立博物館		②
甲府繁盛寿語呂久(甲州文庫)	明治35年(1902)	山梨県立博物館		②③④⑤
馬車広告(名取雅樹関係文書)	明治15年(1882)	山梨県立博物館		③
馬車開業広告(大木家文書)	明治17年(1884)	山梨県立博物館		③
山梨馬車鉄道株式会社創業総案内書(関本家文書)	明治30年(1897)	山梨県立博物館		③
鉄道馬車時間表(大木家文書)	明治33年(1900)	山梨県立博物館		③
都留馬車鉄道株式会社創立関係綴(甲州文庫)	明治31年(1898)	山梨県立博物館		③
東武鉄道関係資料	昭和時代	個人		④
ツーリスト(第17年 第12号)	昭和4年(1929)	個人		④
日光(東武鉄道修学旅行パンフレット)	昭和11年(1936)	個人		④
箕面電車回遊双六(パネル)	大正2年(1913)	原資料 池田文庫		④
新緑の旅(富士身延鉄道パンフレット)	昭和時代初期	個人		④
大英国の表裏	大正5年(1916)	個人		④
伝記 若尾逸平(若尾資料)	大正3年(1914)	山梨県立博物館		④⑤
過去六十年事蹟	明治40年(1907)	個人		④⑤
ビールの広告(甲州文庫)	明治7年(1874)	山梨県立博物館		⑤
甲武中央篠井線旅行案内(甲州文庫)	明治38年(1905)	山梨県立博物館		⑤
旅行の友 創刊号(甲州文庫)	昭和6年(1931)	山梨県立博物館		⑤
国鉄監修・交通公社の時刻表	昭和48年(1973)	個人		⑤
おもちゃ籠	大正4年(1915)	山梨県立博物館		⑥
おもちゃ籠 補遺(甲州文庫)	大正5年(1916)	山梨県立博物館		⑥
若尾家の年賀状(横浜若尾幾造から甲府若尾民造宛)(甲州文庫)	大正5年(1916)	山梨県立博物館		⑥
お年賀の御礼状(甲州文庫)	大正8年(1919)	山梨県立博物館		⑥
新年会の招待状(甲州文庫)	大正5年(1916)	個人		⑥
機山公社殿建設規則(甲州文庫)	明治14年(1881)	山梨県立博物館		⑦
武田神社奉建会趣意書(甲州文庫)	大正4年(1915)	山梨県立博物館		⑦
勘左衛門宛武田神社奉建会評議員委嘱状及同会の趣意書(関本家文書)	大正6年(1917)	山梨県立博物館		⑦
甲府市三十年史(甲州文庫)	大正7年(1918)	山梨県立博物館		⑦
武田神社写真帖(甲州文庫)	昭和13年(1938)	山梨県立博物館		⑦
共生する社会【地方病とのたたかい】				
スチブナール	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
地方病克服に向けて使用された実物道具類	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
地方病予防溝渠プレート	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
死体解剖御願(写し)	明治30年(1897)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
スチブナール(模造品)	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
地方病に関する手紙(飯田家資料)	江戸時代	個人		①②③④⑤⑥⑦
甲陽軍鑑 廿 終(甲州文庫)(パネル)	原資料 江戸時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦

資 料 名	時 代	所 蔵 者	指定	展示期間
翻訳断毒論 (パネル)	原資料 文化7年 (1810)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
俺は地方病博士だ	大正6年 (1917)	山梨県立博物館		①
共生する社会【明治40年の大水害】				
水害時に使用した舟	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
山梨県下ニ起レル山地ノ水害調査書 (甲州文庫)	明治41年 (1908)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
山梨県水害史 (甲州文庫)	大正2年 (1913)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
北海道移住民資料 (若尾資料)	明治35年 (1902)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
北海道移住者調 (若尾資料)	明治40年 (1907)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
山梨県水害団体移住写真	明治時代	北海道大学		①②③④⑤⑥⑦
共生する社会【山梨と戦争】				
E46集束焼夷弾 (模型)	—	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
警防団ヘルメット	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
警防団ビューグル	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
軍靴	昭和16年 (1941)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
甲府四十九連隊施設鬼瓦	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
支那事変いろはがるた	昭和時代	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦
米機の撒いたピラ (甲州文庫)	昭和20年 (1945)	山梨県立博物館		①②③④⑤⑥⑦

(2) 企画展・シンボル展

■開催企画展・シンボル展一覧

	展覧会名	会期
①企画展	i 富士川水運の300年—物流と文化の大動脈—	令和6年3月16日(土)から 5月6日(月)まで
	ii どうぶつ百景—江戸東京博物館コレクションより	令和6年7月13日(土)から 9月2日(月)まで
	iii 奈良大和路のみほとけ—令和古寺巡礼—	令和6年9月28日(土)から 11月25日(月)まで
	iv 武田勝頼—日本に隠れなき弓取	令和7年3月15日(土)から 5月6日(火)まで
②シンボル展	i 郷土史をのこした人々	令和6年5月25日(土)から 6月24日(月)まで
	ii 甲斐国分寺	令和6年12月21日(土)から 令和7年2月24日(月)まで

令和7年3月15日(土)から5月6日(火)まで実施した「武田勝頼 日本に隠れなき弓取」については、令和7年度年報にて詳述する。

①企画展

i 富士川水運の300年—物流と文化の大動脈—

【会 期】 令和6年3月16日(土)～5月6日(月)
会期52日間(開館46日間)

【主 催】 山梨県立博物館、山梨日日新聞社、山梨放送

【後 援】 富士川町教育委員会、身延町教育委員会、朝日新聞甲府総局、NHK甲府放送局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、テレビ山梨、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨中央銀行、読売新聞甲府支局

【協 力】 日本通運株式会社、山梨交通株式会社

【協 賛】 日本ネットワークサービス

【会 場】 企画展示室

【入場者数】 7,498人

【担 当】 学芸員 中野賢治、海老沼真治、企画交流課長 石神孝子

【概 要】

江戸・大阪への年貢米輸送を主な目的として、慶長年間に角倉了以によって開削された富士川水運(舟運)は、江戸時代を通じて、甲斐・信濃の人々の生活を支える物流の大動脈となった。明治維新により政治・社会が大きく変わるなかで、富士川水運はますます重要な物流ルートとなり、明治20年代には最盛期を迎え、人々の往来による文化の発展や、多様かつ大量の物資を内陸地域にもたらした。

本展は、富士川水運が物流の主要ルートとなる17世紀初頭から、終焉を迎える20世紀前半に至るまでのおよそ300年間の歩みについて、多様な資料から紹介する展覧会とした。

【関連イベント】

■講演会「文政四年の鰍沢大火が炙り出したもの—鰍沢河岸存亡をめぐる勘定奉行の御白州へ—」

- ・日時：4月28日(土) 13:30～15:00
- ・場所：生涯学習室
- ・講師：村石眞澄氏(富士河口湖町史編纂室長)

■かいじあむ講座(場所はいずれも生涯学習室)

第1回「富士川水運が運んだもの」

- ・日時：3月24日(日) 13:30～15:00
- ・講師：中野賢治(当館学芸員)



展覧会ちらし



展示風景

第2回「富士川水運と身延線」

- ・日時：3月30日(土) 13:30～15:00
- ・講師：小畑茂雄(当館学芸員)

■学芸員によるギャラリートーク

- ・日時：3月16日(土)、4月13日(土)、21日(日)、5月3日(金、祝) 14:00から60分程度
- ・場所：企画展示室

■鯉沢ウォーキング「富士川水運の町を歩こう」

- ・日時：4月20日(土) 10:00～12:00
- ・場所：富士川町鯉沢周辺
- ・共催：富士川町教育委員会

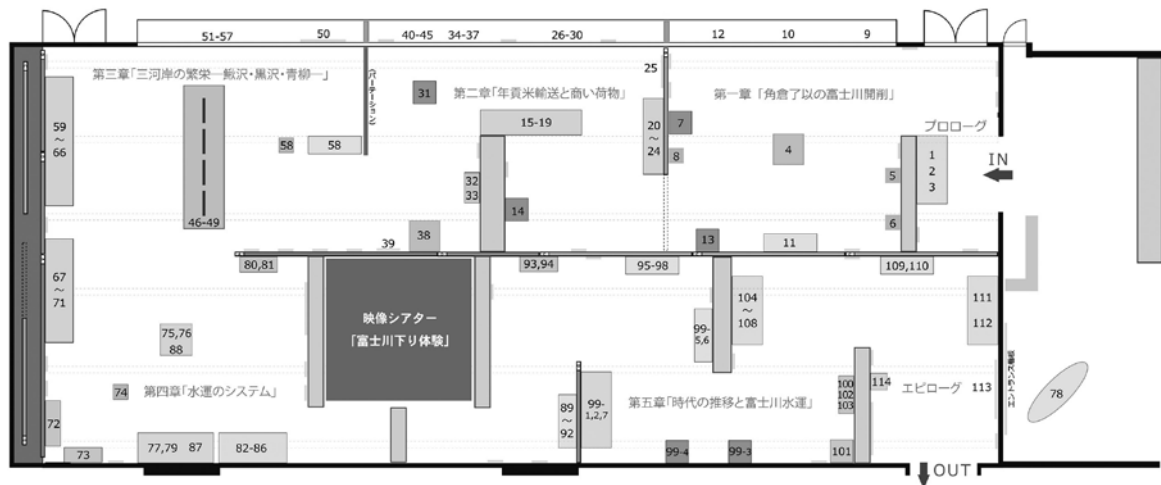
【出品資料一覧】

No.	資料名	員数	年代	所蔵者
プロローグ なぜ水運だったのかー江戸時代甲斐国の物流構造ー				
1	甲斐国絵図	1	文化9年(1812)	山梨県立博物館
2	甲州道中身延詣図巻 ※4/10より場面替え	1	文政6年(1823)	山梨県立博物館
3	鯉沢村検地帳・宗門人別帳箱(富士川町指定文化財)	1	江戸時代(17世紀)	富士川町教育委員会
第一章 角倉了以の富士川開削				
4	角倉了以像	1	江戸時代(17世紀)	大悲閣千光寺(京都市)
5	角倉了以位牌	1	江戸時代	大悲閣千光寺(京都市)
6	東照大権現位牌	1	江戸時代	大悲閣千光寺(京都市)
7	角倉了以像	1	江戸時代(17世紀)	瑞泉寺(京都市)
8	角倉了以位牌	1	江戸時代	瑞泉寺(京都市)
9	富士水碑拓本	1	近代(碑文は寛政9年(1797))	富士川町教育委員会
10	水行直仕形図絵(富士川町指定文化財)	1	文化14年(1817)	富士川町教育委員会
11	富士川絵図 ※4/10より場面替え	1	安政4～6年(1857～9)	個人(小河内照仁氏)
12	鯉沢河岸出土陶磁器	8	江戸時代(17～18世紀)	山梨県立考古博物館
13	通船定書(鯉沢村御用留)	1	大正5年(1916) (原本は慶長8年(1603))	山梨県立博物館
第二章 年貢米輸送と商い荷物				
14	「御用」旗	1	江戸時代	富士川町教育委員会
15	御廻米仕上帳	1	天明4年(1784)	山梨県立博物館
16	去午黒沢河岸御廻米仕上帳	1	弘化4年(1847)	山梨県立博物館
17	甲州御廻米河々請取渡方升廻シ仕方書	1	天明7年(1787)	山梨県立博物館
18	廻米船俵数・石高書上帳	6	安政2～3年(1855～6)	山梨県立博物館
19	御廻米河岸出期日につき廻状	1	江戸時代(19世紀)	山梨県立博物館
20	御米請払覚	1	江戸時代(18世紀)	山梨県立博物館
21	岩淵河岸仕方書	1	明和5年(1768)	山梨県立博物館
22	御廻米駿州岩淵河岸羅立諸色仕上帳	1	天明8年(1788)	山梨県立博物館
23	御廻米明細記録	1	天保3年(1832)	山梨県立博物館
24	岩淵・蒲原間船送り許可につき乍恐別紙書付を以奉願上候	1	宝暦7年(1757)	山梨県立博物館
25	浦方航路図	1	江戸時代	フェルケール博物館(静岡市)
26	清水湊絵図	1	安政6年(1859)	静岡市歴史博物館
27	駿州清水絵図	2	江戸時代	山梨県立博物館
28	駿州清水湊御廻米船福神丸絵図	1	江戸時代	山梨県立博物館
29	諸問屋申渡	1	宝暦3年(1753)	フェルケール博物館(静岡市)
30	上清水横丁瀬名川亭掛額版木	1	江戸時代(19世紀)	フェルケール博物館(静岡市)
31	富士川曳舟蒔絵枕	3	江戸時代	個人(石野友也氏)
32	東都浅草絵図	1	文久元年(1861)	個人
33	御廻米江戸蔵納内柙につき乍恐以書付奉願上候	1	寛政10年(1798)	山梨県立博物館

No.	資料名	員数	年代	所蔵者
34	三河岸出入御裁許写	1	明和6年(1769)	山梨県立博物館
35	甲府行荷物駄賃蔵敷名細帳	1	文久2年(1862)	山梨県立博物館
36	甲州行諸荷物小揚庭改帳	1	文久元年(1861)	山梨県立博物館
37	白米小売標準相場版木	1	明治時代か	山梨県立博物館
38	紀州蠟燭看板	1	江戸時代	個人
39	金星商店看板	1	明治時代か	富士川町教育委員会
40	甲州新操綿壳渡につき覚	1	江戸時代	フェルケール博物館(静岡市)
41	甲州行荷物運賃蔵敷改帳	1	文久元年(1861)	フェルケール博物館(静岡市)
42	塩問屋設置許可につき乍恐書付を以御願申上候	1	宝暦3年(1753)	山梨県立博物館
43	赤穂塩浜記録	1	嘉永6年(1853)	山梨県立博物館
44	入塩取扱会所記録	1	明治元～2年(1868～9)	山梨県立博物館
45	食塩商社規則書	1	明治4年(1871)	山梨県立博物館
第三章 三河岸の繁栄―鰍沢・黒沢・青柳―				
46	襖絵「富士川沿岸戸坂橋天神ヶ瀧ノ積雪」	1	明治時代か	富士川町教育委員会
47	襖絵「富士川沿岸楠浦舟付岩」	1	明治時代か	富士川町教育委員会
48	襖絵「甲斐富士川沿岸風景屏岩之昇帆」	1	明治時代か	富士川町教育委員会
49	襖絵「富士川沿岸岩水山高前寺」	1	明治時代か	富士川町教育委員会
50	峽鐵楼看板	1	明治時代か	富士川町教育委員会
51	山車模型	1	昭和時代	富士川町教育委員会
52	『諸国道中商人鑑』	1	文政10年(1827)	山梨県立博物館
53	御蔵台鹿絵図	1	江戸時代	個人
54	墨引鹿絵図	1	江戸時代	個人
55	諏訪高島藩廻米御用留(富士川町指定文化財)	3	①寛延元～宝暦11年(1748～61) ②宝暦11～天明4年(1761～84) ③弘化4～明治3年(1847～70)	個人
56	松本御米仕切帳(鰍沢村仕切帳)	1	寛保3～宝暦4年(1743～54)	山梨県立博物館
57	文政十一年六月 流水ニ付見分絵図	1	文政11年(1828)	個人
58	鰍沢河岸跡出土陶磁器	13	江戸時代(18世紀)	山梨県立考古博物館
59	黒沢番所通行手形	1	寛永18年(1641)	山梨県立博物館
60	御廻米黒沢河岸御蔵納帳	1	明和6年(1769)	山梨県立博物館
61	御廻米御用日記	1	天明7年(1787)	山梨県立博物館
62	廻米津出し黒沢河岸へ変更につき乍恐以書付奉願上候	1	文政4年(1821)	山梨県立博物館
63	黒沢河岸荷不足につき乍恐口上書を以奉願上候	1	江戸時代	山梨県立博物館
64	改正請負書之控	1	明治3年(1870)	山梨県立博物館
65	黒沢河岸元田安領御米蔵場所始末につき書付	1	明治4年(1871)	山梨県立博物館
66	材木等受け取りにつき覚	1	江戸時代	山梨県立博物館
67	青柳河岸出入返答書	1	明和2年(1765)	山梨県立博物館
68	御廻米川下げ運賃につき乍恐以書付奉願上候	1	寛政10年(1798)	山梨県立博物館
69	青柳河岸諸色入用帳	1	文化11年(1814)	山梨県立博物館
70	江戸御廻米・駿府御詰米川下げ運賃諸色入用請取証文	1	文化12年(1815)	山梨県立博物館
71	置銭一件済口関係書類綴	1	慶応3年(1867)	山梨県立博物館
第四章 水運のシステム				
72	船方借金証文	2	安政元～2年(1854～5)	山梨県立博物館
73	大豆荷無断売払一件吟味下げ願書	1	文化11年(1814)	山梨県立博物館
74	『金草鞋十二編 身延山道中之記』	2	文政2年(1819)	山梨県立博物館
75	甲州村々御廻米用船難船一件書上帳	1	嘉永3年(1850)	山梨県立博物館
76	当湊榭屋文吉船・沖船頭源五郎乗甲州御廻米積請正月十七日夜船中出火難事日記帳	1	万延2年(1861)	フェルケール博物館(静岡市)
77	高瀬舟模型	1	現代	富士川町教育委員会
78	高瀬舟模型	1	現代	身延町歴史民俗資料館
79	高瀬舟底板	2	明治時代か	富士川町教育委員会
80	船稼不法につき乍恐以書付奉願上候	1	天保3年(1832)	山梨県立博物館
81	船持百姓困窮につき乍恐書付を以奉願上候	1	宝暦9年(1759)	山梨県立博物館

No.	資料名	員数	年代	所蔵者
82	板曼荼羅	1	文政12年(1829)	富士川町教育委員会
83	板曼荼羅	1	明治6年(1873)	富士川町教育委員会
84	板曼荼羅	1	明治33年(1900)	富士川町教育委員会
85	板曼荼羅(身延町指定文化財)	1	享保10年(1725)	身延町歴史民俗資料館
86	板曼荼羅(身延町指定文化財)	1	享保4年(1719)	身延町歴史民俗資料館
87	箱枕	1	明治時代か	富士川町教育委員会
88	足半草履	1	明治時代か	富士川町教育委員会
第五章 時代の推移と富士川水運				
89	河原部村諸願書写	1	江戸時代	山梨県立博物館
90	河原部新河岸御願立箇条書	1	弘化3年(1846)	山梨県立博物館
91	河原部河岸歎願書	1	弘化3年(1846)	山梨県立博物館
92	河原部新規河岸取建故障歎願書	1	嘉永元年(1848)	山梨県立博物館
93	塩問屋再願留帳	1	宝暦2年(1752)	山梨県立博物館
94	売塩勝手売買差免につき触	1	明治2年(1869)	山梨県立博物館
95	乗船切符	2	明治29・大正2年(1896・1913)	富士川町教育委員会
96	富士川飛航艇時間及賃金表	1	大正14年(1925)	富士川町教育委員会
97	生海鼠鉄お尋ねにつき廻章	1	明治7年(1874)	山梨県立博物館
98	道中諸費用明細	1	明治時代	山梨県立博物館
99	鰍沢河岸跡出土遺物			山梨県立考古博物館
	1 磁器	20	近世～近代	
	2 陶器	9	近世～近代	
	3 陶器製和式便器	1	明治時代	
	4 銭貨	26	江戸～昭和時代	
	5 泥めんこ	12	近世～近代	
	6 生活用具	12	近世～近代	
	7 ガラスビン	14	近代	
100	運輸会社設立願	1	明治6年(1873)	山梨県立博物館
101	富士川水運積荷木札一括	1	明治時代	山梨県立博物館
102	青柳河岸運輸分会材木判取	1	明治8年(1875)	山梨県立博物館
103	食塩・諸荷物取調書	1	明治13年(1880)	山梨県立博物館
104	駿甲鉄道株式会社解散書類綴	1	明治31年(1898)	山梨県立博物館
105	小野金六書簡	1	明治45年(1912)	山梨県立博物館
106	富士裾野めぐり 付富士川下り甲州御岳	1	大正14年(1925)	山梨県立博物館
107	富士身延鉄道沿線名所図絵	1	昭和3年(1928)	山梨県立博物館
108	甲府駅発車時間表	1	昭和4年(1929)	山梨県立博物館
109	下り船をまつ	1	昭和43年(1968)	富士川町教育委員会
110	富士川の曳舟	1	昭和時代か	富士川町教育委員会
111	曳舟の図	1	昭和46年(1971)	富士川町教育委員会
112	鰍沢之町	1	昭和44年(1969)	富士川町教育委員会
エピソード 富士川水運が遺したもの				
113	村田一夫氏撮影写真	11	昭和時代	富士川町教育委員会
114	甲州富士川風景絵葉書	1	昭和時代	山梨県立博物館

【展示平面図】



ii どうぶつ百景—江戸東京博物館コレクションより

- 【会 期】令和6年7月13日(土)～9月2日(月)
会期日数51日間、展示日数45日間
- 【主 催】山梨県立博物館、公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都江戸東京博物館、山梨日日新聞社、山梨放送
- 【後 援】朝日新聞甲府総局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、テレビ山梨、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨中央銀行、読売新聞甲府支局

【制作協力】NHKプロモーション

【協 力】日本ネットワークサービス

【会 場】企画展示室

【入場者数】11,666人

【担 当】学芸員 松田美沙子、茶園紘己

【概 要】

「人々と生き物の暮らし」の歴史と文化について、東京都江戸東京博物館の所蔵コレクションを中心に紹介する展覧会として開催した。動物との暮らしを楽しむ人々が描かれた絵画や、生活用品のデザインに取り入れられた動物たちの姿を通じて、人と生き物の共生の素晴らしさと、その前提となる豊かな自然環境の大切さをお伝えできる展示とした。東京都江戸東京博物館の所蔵品に加え、山梨会場独自の展示資料も交えながら、山梨県立博物館の基本テーマ「山梨の自然と人」の関わりを改めて見つめ直す内容とし、幅広い年齢層にお楽しみいただいた。

【関連イベント】

■記念講演会(場所はいずれも生涯学習室)

「休園中の動物たちの様子と取り組み」

- ・日時：7月21日(日) 13:30～15:00
- ・講師：秋山多江氏(甲府市遊亀公園附属動物園園長)

「江戸東京博物館コレクションにみる動物とくらし」

- ・日時：8月25日(日) 13:30～15:00
- ・講師：小山周子氏(東京都江戸東京博物館学芸員)



展覧会ちらし



展示風景

■親子で楽しむ！深掘り動物ツアー！！

- ・日時：7月28日(日) ①10:00～11:00 ②14:00～15:00
- ・場所：企画展示室
- ・対象：小中学生とその保護者

■学芸員によるギャラリートーク

- ・日時：7月13日(土)、8月18日(日)、9月1日(日) 14:00から60分程度
- ・場所：企画展示室

【出品資料一覧】

前期：7月13日(土)～8月5日(月) 後期：8月7日(水)～9月2日(月)

所蔵先の記載のないものは全て東京都江戸東京博物館蔵

No.	作品名	員数	作者名など	制作年代	展示期間
プロローグ：外国人が見た日本人とどうぶつ					
1	『あさ』	1冊	ジョルジュ・ビゴー/画	1883(明治16)年	場面替え
2	Japan Day by Day, 1877, 1878-79, 1882-83, vol.1 (『日本その日その日』)	1冊	エドワード・S・モース/著	1917(大正6)年	場面替え
3	『オイレンブルク 東アジア遠征図録』第一巻	1枚		1864(元治元)年	前期
4	『オイレンブルク 東アジア遠征図録』第三巻	1枚		1866(慶応2)年	後期
5	イラストレイテッド・ロンドン・ニュース(1873年)	1枚		1873(明治6)年11月29日	前期
6	イラストレイテッド・ロンドン・ニュース(1861年)	1枚		1861(文久元)年8月17日	後期
7	幻燈原板 富士山(パネル)		ブランソン・デクー/作成 オーガスタ・A・ハイデン/彩色	昭和初期	
8	幻燈原板 農家の庭(パネル)		ブランソン・デクー/作成 オーガスタ・A・ハイデン/彩色	昭和初期	
第1章 江戸のどうぶつー「江戸図屏風」のどうぶつを探してみよう					
9	江戸図屏風(複製)(国立歴史民俗博物館蔵)	6曲1双		17世紀前半(原資料)	
第2章 飼育されたどうぶつ					
(1) 働くどうぶつ					
10	『江戸名所図会』一巻	1冊	齋藤長秋ほか/編 長谷川雪旦/画	1834(天保5)年	前期
11	『東都歳事記』巻之一	1冊	齋藤月岑/編 長谷川雪旦/画	1838(天保9)年	後期
12	正月大名規式行列図	1帖	小林清親/画	1880(明治13)年	場面替え
13	競馬御遊覧之図	3枚続	歌川国孝/画	1863(文久3)年	前期
14	東海道之内 藤之杜走馬	2枚続	歌川芳艶/画	1863(文久3)年	後期
15	流籠馬絵巻	1巻	狩野春貞信興/画	1815(文化12)年頃	場面替え
16	鞍掛木馬	1点		江戸時代	
17	朝鮮通信使行列図絵巻	1巻	小野等琳/画	1682(天和2)年	場面替え
18	『農業全書 一 農事総論』	1冊	宮崎安貞/著 貝原樂軒/補	1697(元禄10)年	場面替え
19	『成形図説 農事部』五	1冊	島津重豪/梓行 曾榮・白尾国柱/編	1804(文化元)年	前期
20	『成形図説 農事部』六	1冊	島津重豪/梓行 曾榮・白尾国柱/編	1804(文化元)年	後期
21	『江戸名所図会』三巻九冊	1冊	齋藤長秋ほか/編 長谷川雪旦/画	1834(天保5)年	場面替え
22	名所江戸百景 四ツ谷内藤新宿	1枚	歌川広重/画	1857(安政4)年	前期
23	江戸名所 麴町通ごふく店	1枚	歌川広重/画	1858(安政5)年	後期
24	捨馬禁止触書高札	1点	奉行(老中) 越前(領主)	1688(貞享5)年	
25	東都名所 駿河町之図	1枚	歌川広重/画	1843～47(天保14～弘化4)年	前期
26	深川佐賀町菓子船橋屋	3枚続	歌川国芳/画	1839～41(天保10～12)年	前期
27	名所江戸百景 高輪うしまち	1枚	歌川広重/画	1857(安政4)年4月	後期
28	東都本町式丁目之景	3枚続	歌川国輝/画	1847(弘化4)年頃	後期
29	東京日本橋風景	3枚続	歌川芳虎/画	1870(明治3)年	前期
30	東京繁栄車往來之図	3枚続	歌川芳虎/画	1870(明治3)年	後期
31	東京名所之内 銀座通煉瓦造鉄道馬車往復図	3枚続	歌川広重(三代)/画	1882(明治15)年	前期
32	鉄道馬車往復日本橋之真図	3枚続	歌川広重(三代)/画	1882(明治15)年	後期
(2) 家庭に飼われたどうぶつ					
33	千代田の大奥	1帖	楊洲周延/画	1894～96(明治27～29)年	場面替え

No.	作品名	員数	作者名など	制作年代	展示期間
34	御奥の弾初	3枚続	歌川国芳/画	1849～52(嘉永2～5)年頃	前期
35	花盛土農工商	3枚続	歌川国貞(二代)/画	1849(嘉永2)年頃	後期
36	当世好物八契	1枚	溪斎英泉/画	1823(文政6)年頃	前期
37	江戸名所百人美女の内 四ツ谷	1枚	歌川豊国(三代)・歌川国久/画	1858(安政5)年2月	後期
38	風俗三十二相 うるささう 寛政年間処女之風俗	1枚	月岡芳年/画	1888(明治21)年	前期
39	風俗三十二相 あったかさう 寛政年間町屋後家の風俗	1枚	月岡芳年/画	1888(明治21)年	後期
40	名所江戸百景 浅草田甫西の町詣	1枚	歌川広重/画	1857(安政4)年	後期
41	見立多以尽の内 とりけしたい	1枚	月岡芳年/画	1878(明治11)年	前期
42	当世名兎揃	1枚		1872～73(明治5～6)年	前期
43	全盛兎別品競 初編	2枚続		1873(明治6)年	後期
44	家兎競	1枚		1873(明治6)年	
45	鶉会之図屏風	2曲1隻		江戸後期	前期
46	鶏図	1幅	伝徳川綱吉/画	江戸中期	後期
47	練鵲図	1幅	徳川綱吉/画	江戸中期	後期
48	鶯鳴き台用 鳥籠と外箱	1点		1923(大正12)年7月15日	
49	『喚子鳥』巻之上	1冊	蘇生堂主人/著	1710(宝永7)年	前期
50	『百千鳥』	1冊	泉花堂三蝶/著	1799(寛政11)年	後期
51	『青楼美人合姿鏡』春夏	1冊	勝川春章・北尾重政/画	1776(安永5)年	場面替え
52	今様伊勢物がたり	3枚続	歌川国芳/画	1847～52(弘化4～嘉永5)年	前期
53	あつま 鶯	1枚	楊洲周延/画	1904(明治37)年	後期
54	あつま きん魚	1枚	楊洲周延/画	1904(明治37)年	後期
第3章 野生のどうぶつ					
(1) 野生どうぶつの記録					
55	千代田之御表	1帖	楊洲周延/画	1897(明治30)年	場面替え
56	鷹道具之巻	1巻	宮野唯之丞・吉武法命・大谷元吉/伝写	1778(安永7)年7月	場面替え
57	小金ヶ原御鹿狩之図	1巻	小島巖敬信/写	1849(嘉永2)年春	前期
58	画帖 小金原御鹿狩図并伊達陣羽織	1帖		江戸末期	後期
59	『武江産物志』	1冊	岩崎灌園/著	1824(文政7)年	場面替え
60	『絵本燕都の見図』下	1冊	森島中良/編 歌川豊国/画	1795(寛政7)年	前期
61	『江戸名所花暦』	1冊	岡山鳥/著 長谷川雪旦/画	1827(文政10)年	後期
62	名所江戸百景 王子装束の木大晦日の狐火	1枚	歌川広重/画	1857(安政4)年	前期
63	『江戸名所図会』五巻後編十五	1冊	齋藤長秋ほか/編 長谷川雪旦/画	1836(天保7)年	後期
64	『訓蒙図彙』畜獣・禽鳥	1冊	中村揚斎/編 源三郎/画	1666(寛文6)年	場面替え
65	『訓蒙図彙』龍魚・蟲介	1冊	中村揚斎/編 源三郎/画	1666(寛文6)年	場面替え
66	『大和本草』	1冊	貝原益軒/著	1709(宝永6)年	場面替え
67	『物類品隣』	1冊	平賀源内/編画	1763(宝暦13)年	場面替え
68	『水族写真』	1冊	奥倉辰行/著	1857(安政4)年	場面替え
(2) 四季の楽しみ					
69	四季遊観之内 弥生の汐干狩	3枚続	歌川豊国(三代)/画	1847～52(弘化4～嘉永5)年	前期
70	汐干狩弥生風景	3枚続	歌川豊国(三代)/画	1855(安政2)年	後期
71	十二月の内 卯月 初時鳥	3枚続	歌川豊国(三代)/画	1854(嘉永7)年	前期
72	卯の花月	3枚続	歌川豊国(三代)/画	嘉永期	後期
73	東都名所 道灌山中聞之図	1枚	歌川広重/画 宿屋飯盛/撰	1839～42(天保10～13)年	前期
74	蚊帳を吊る母子	1枚	鈴木春信/画	明和末期	後期
75	『画本虫撰』上・下巻	2冊	喜多川歌麿/画	1787(天明7)年	場面替え
76	団扇絵 当国三ツの狩 ほとるかり	1枚	歌川国芳/画	1847～48(弘化4～嘉永元)年	前期
77	今様源氏紫緒蛸遊び	3枚続	豊原国周/画	1861(文久元)年	後期
78	名所江戸百景 箕輪金杉三河しま	1枚	歌川広重/画	1857(安政4)年	前期
79	名所江戸百景 深川洲崎十万坪	1枚	歌川広重/画	1857(安政4)年	後期
80	東風俗 福つくし 福ねずみ	1枚	楊洲周延/画	1890(明治23)年	前期
81	見立十二支 子 伝通院大黒天	1枚	楊洲周延/画	1894(明治27)年	後期
82	風流東姿十二支 巳	1枚	歌川豊国(二代)/画	天保期	前期

No.	作品名	員数	作者名など	制作年代	展示期間
83	楽屋十二支 申与次郎	1枚	歌川国貞(二代)/画	1860(万延元)年	前期
84	風流東姿十二支 戌	1枚	歌川豊国(二代)/画	文政末期	後期
85	楽屋十二支 辰 雪姫	1枚	歌川国貞(二代)/画	1860(万延元)年	後期
86	元和元年より万延元年迄十二支図入略年表	1枚		19世紀	
第4章 見られるどうぶつ―見世物から動物園へ					
87	しか茶屋	3枚続	歌川豊国/画	1792～1793(寛政4～5)年頃	前期
88	『象志』	1冊	智善院/撰	1729(享保14)年	後期
89	からくり鳥籠	1点	田中久重/製作	1858(安政5)年	
90	中天竺新渡舶来大象之図	2枚続	了古/画	1863(文久3)年	前期
91	天竺馬爾加国の出生大象の図	1枚	歌川芳盛/画	1863(文久3)年	後期
92	駱駝之図	1枚	歌川国安/画 山東京山/撰	1821(文政4)年	前期
93	『駱駝考』	1冊	堤它山/著	1824(文政7)年	後期
94	猛虎之図	1枚	歌川芳富/画	1860(万延元)年	前期
95	麴町福寿院於虎之図	1枚	仮名垣魯文/撰 歌川国麿/画	1861(文久元)年	前期
96	紅毛舶来猛虎之演義	1枚	仮名垣魯文/記 歌川芳豊/画	1860(万延元)年	後期
97	虎の見世物 辻ビラ	1枚	落合芳幾/画	1861(文久元)年頃	後期
98	Croue Soulie 仏蘭西大曲馬	3枚続	歌川芳春/画	1871(明治4)年	前期
99	招魂社境内フランス大曲馬図	3枚続	歌川広重(三代)/画	1871(明治4)年	前期
100	浅草寺境内ニテ フランス大曲馬	3枚続	歌川広重(三代)/画	1871(明治4)年	後期
101	壘国ウツジアー大曲馬	3枚続	梅堂小国政/画	1888(明治21)年	後期
102	上野不忍競馬ノ図	3枚続	楊洲周延/画	明治前期	前期
103	上野乃満花不忍競馬之図	3枚続	小林幾英/画	1889(明治22)年	後期
104	昭和大東京百図絵版画完制判 第四十八景 春の動物園	1枚	小泉癸巳男/画・版	1934(昭和9)年	前期
105	東京回顧図会 上野動物園	1枚	恩地孝四郎/画	1945(昭和20)年	後期
第5章 デザインの中のどうぶつ					
(1) きもの・装身具・身の回りの品々					
106	緋繪子地腰替松竹梅鶴亀文様染縫絞振袖	1領		江戸後期	前期
107	水浅葱縮緬地浜松に桜燕模様染縫絞振袖	1領		江戸後期	後期
108	夜着 孔雀模様	1領		明治時代	前期
109	白羅紗葵紋付陣羽織	1領		江戸末期	後期
110	鶯縮緬地御所解文様備前蝶紋付小袖	1領		江戸後期	後期
111	刺子長半纏 龍虎図	1枚	歌川芳貞/銘	江戸末期	前期
112	型紙 波に千鳥	1点		明治時代	
113	型紙 虫かご	1点		明治～昭和時代	
114	型紙 くもの巣	1点		明治～昭和時代	
115	型紙 茄子に雀	1点		江戸後期～明治時代	
116	型紙 竹に洋傘	1点		明治時代	
117	木台月に時鳥泊り 船蒔絵櫛	1点		明治時代	前期
118	黒漆塗稲穂文様金蒔絵櫛・筥	1揃	小原春翠/蒔絵	1924(大正13)年	前期
119	銀鼈甲歯差込吉祥図飾櫛・筥	1揃		明治時代	前期
120	黒鼈甲台雲竜文櫛	1点		江戸末期	前期
121	木台松鶴蒔絵櫛	1点		19世紀	後期
122	鼈甲台貝金銀象嵌群蝶櫛	1点		19世紀	後期
123	木台花丸散蒔絵櫛	1点		19世紀	後期
124	鼈甲群蝶彫櫛	1点		19世紀	後期
125	銀鍍金俵に鼠飾簪	1点		明治時代	前期
126	銀供餅に鼠丸に片喰紋飾簪	1点		江戸～明治時代	前期
127	銀珊瑚飾梅鶯鈴付びらびら簪	1点		19世紀	前期
128	鼈甲蝶紅葉飾耳搔簪	1点		19世紀	前期
129	銀燕藤花簪	1点		19世紀	前期
130	銀鶉鳥籠小花飾簪	1点		19世紀	前期
131	銀蝶珊瑚入花びらびら簪	1点		19世紀	後期

No.	作品名	員数	作者名など	制作年代	展示期間
132	銀雲鶴彫平打簪	1点		19世紀	後期
133	銀錨に燕滝彫琴柱足簪簪	1点		19世紀	後期
134	銀撥耳蓑亀彫簪	1点		19世紀	後期
135	銀足彫刻付象牙月に雁簪	1点		19世紀	後期
136	真鍮宝尽簪	1点		19世紀	後期
137	棧留革腰差したばこ入れ・煙管	1組		明治時代	前期
138	金唐革腰差したばこ入れ・煙管	1組		明治時代	前期
139	刺繍藤に猿図懐中たばこ入れ	1組		江戸時代	表面・裏面替え
140	木綿相良繡松に桐文腰差したばこ入れ	1組		明治時代	前期
141	甲州印伝唐草染革腰差したばこ入れ	1点		明治時代	前期
142	ペルシア更紗花文一つ提げたばこ入れ	1点	文晁留具/作	19世紀	前期
143	金唐革花文一つ提げたばこ入れ	1点		明治時代	後期
144	棧留革腰差したばこ入れ・煙管	1組		明治時代	後期
145	松鶴文緞子一つ提げたばこ入れ	1点		19世紀	後期
146	棧留革腰差したばこ入れ・煙管	1組		明治時代	後期
147	古渡インド更紗唐草文腰差したばこ入れ	1点		明治時代	後期
148	爪菖蒲革腰差したばこ入れ	1点		19世紀	後期
149	群馬蒔絵印籠	1合		江戸後期	前期
150	鸚鵡蒔絵印籠	1合		江戸後期～明治前期	前期
151	昆虫蒔絵螺鈿印籠 付足軽木彫根付	1合		江戸後期	前期
152	鶏竹蒔絵印籠	1合		明治時代	前期
153	蜘蛛巣蒔絵印籠	1合		19世紀	前期
154	波に千鳥蒔絵印籠 付千鳥型象牙根付	1合		19世紀	前期
155	雉芙蓉蒔絵螺鈿印籠	1合		江戸後期	後期
156	亀蒔絵印籠	1合		江戸後期	後期
157	松蟬蒔絵印籠	1合		江戸後期	後期
158	梅鷹蒔絵印籠	1合		江戸後期	後期
159	龍虎蒔絵彫印籠	1合		江戸後期	後期
160	兎竹木賊蒔絵印籠	1合		江戸後期	後期
161	増上寺台徳院様御霊屋々内装飾指示原図	1冊		寛永期	場面替え
162	竹雌雄鶏図袱紗	1枚		江戸後期	前期
163	綿天鷲絨地掛袱紗	1枚		19世紀	後期
164	隅田川焼向付(都鳥)	2点		明治時代	
165	菓子用木型 招き猫(特大・大・中・小)	4点		昭和中期	
166	鼠短檠	1揃		江戸時代	
167	小田原提灯	1点		江戸後期～明治前期	
168	蛙燭台	1点		江戸後期	
169	鶴亀燭台	1点		19世紀	
170	蟬燭台	1点		19世紀	
171	獅子燭台	1点		19世紀	
172	猫の蚊遣り	1点		昭和前期	
173	赤羅紗小犬文守袋	1点		江戸～明治時代	
174	つまみ細工金魚形守袋	1点		江戸～大正時代	
175	疱瘡絵 みみづく	1枚	歌川国芳/画	1812～60(文化9～万延元)年	前期
176	疱瘡絵 兎	1枚	歌川国芳/画	1812～60(文化9～万延元)年	前期
177	疱瘡絵 鯛車	1枚	歌川芳虎/画	江戸末期～明治時代	後期
178	疱瘡絵 玩具尽	1枚		江戸後期	後期
179	新板虫尽し	1枚	歌川芳盛/画	1853～57(嘉永6～安政4)年	前期
180	しん板けものづくし	1枚		1863(文久3)年	前期
181	しん板ねこづくし	1枚	歌川国利/画	江戸末～明治後期	後期
182	しんはんとりづくし	1枚		江戸後期～明治時代	後期
(2) 人形・おもちゃ					

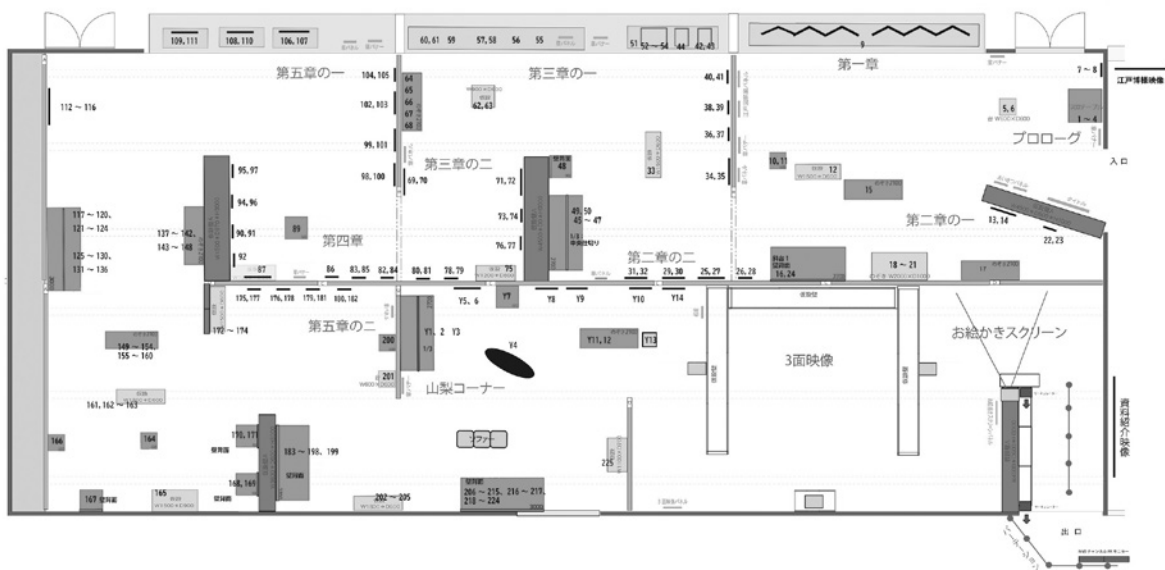
第Ⅱ編 事業・諸活動

No.	作品名	員数	作者名など	制作年代	展示期間
183	今戸土人形 子持猫	1点	金沢(尾張屋) 春吉/作	大正時代～昭和初期	
184	今戸土人形 てっぼう狐	1点	金沢(尾張屋) 春吉/作	大正時代～昭和初期	
185	今戸土人形 月見うさぎ	1点	金沢(尾張屋) 春吉/作	大正時代～昭和初期	
186	今戸土人形 もちつきうさぎ	1点	金沢(尾張屋) 春吉/作	大正時代～昭和初期	
187	今戸土人形 虎(大)	1点	金沢(尾張屋) 春吉/作	大正時代～昭和初期	
188	今戸土人形 客寄狸	1点	金沢(尾張屋) 春吉/作	大正時代～昭和初期	
189	今戸土人形 秋田犬	1点	金沢(尾張屋) 春吉/作	大正時代～昭和初期	
190	今戸土人形 うま	1点	金沢(尾張屋) 春吉/作	大正時代～昭和初期	
191	今戸土人形 子持狐	1点	金沢(尾張屋) 春吉/作	大正時代～昭和初期	
192	今戸土人形 とら(中)	1点	金沢(尾張屋) 春吉/作	大正時代～昭和初期	
193	今戸土人形 大黒天	1点	金沢(尾張屋) 春吉/作	大正時代～昭和初期	
194	今戸土人形 招猫	1点	金沢(尾張屋) 春吉/作	大正時代～昭和初期	
195	今戸土人形 犬	1点	金沢(尾張屋) 春吉/作	大正時代～昭和初期	
196	今戸土人形 丸べ猫	1点	金沢(尾張屋) 春吉/作	大正時代～昭和初期	
197	今戸土人形 口入稲荷	1点	金沢(尾張屋) 春吉/作	大正時代～昭和初期	
198	今戸土人形 徳利狸	1点	金沢(尾張屋) 春吉/作	大正時代～昭和初期	
199	犬張子	1点		昭和時代	
200	郷土玩具 浅草 ずぼんぼ	1点		昭和中期	
201	ミニチュア玩具 とんだりはねたり 猿・蛙・虎・うさぎ・ねずみ	5点		昭和中期	
202	縮緬細工 ひよこ 雄鶏 雌鶏	4点		明治時代	
203	縮緬細工 鯛	1点	熊谷豊子/作	大正時代	
204	縮緬細工 金魚	1点		明治～大正時代	
205	縮緬細工 たこ	1点		明治～大正時代	
206	セルロイド玩具 犬	1点		20世紀	
207	セルロイド玩具 カサ付アヒルの乳母車	1点		20世紀	
208	セルロイド玩具 ガラガラアヒル	1点		20世紀	
209	セルロイド玩具 アヒル	1点		20世紀	
210	セルロイド玩具 犬	1点		20世紀	
211	セルロイド玩具 ロバ	1点		20世紀	
212	セルロイド玩具 ライオン	1点		20世紀	
213	セルロイド玩具 ラクダ	1点		20世紀	
214	セルロイド玩具 犬	1点		20世紀	
215	セルロイド玩具 犬	1点		20世紀	
216	木製玩具 猫	2点		昭和時代	
217	木製玩具 黒猫	1点		20世紀	
218	ブリキ玩具 猫	1点		昭和時代	
219	ブリキ玩具 金魚	1点		20世紀	
220	ブリキ玩具 てんとう虫	4点		20世紀	
221	ブリキ玩具 蟬	1点		20世紀	
222	ブリキ玩具 蟬	1点		20世紀	
223	ブリキ玩具 飛びバッタ	1点		20世紀	
224	ブリキ玩具 鱈	1点		20世紀	
225	黒塗桐鳳凰文様金銀時絵員合道具(複製)	1式		江戸末期(原資料)	

番外編 どうぶつギャラリー-山梨編 おかいこさんと黒駒-歴史の中のどうぶつたち						
No.	作品名	員数	作者名など	制作年代	所蔵先	展示期間
Y-1	黒駒太子像(富士曼荼羅図)	1点		室町時代	山梨県立博物館	前期
Y-2	聖徳太子黒駒登岳図	1幅		室町時代	山梨県立博物館	後期
Y-3	塩部遺跡出土 馬歯	12点		古墳時代	山梨県立考古博物館	
Y-4	武田氏館跡出土馬復元模型	1体		現代	山梨県立博物館	
Y-5	川中嶋勘助勇戦ノ図	3枚続	歌川芳綱/画	1852(嘉永5)年	山梨県立博物館	前期
Y-6	甲越大合戦之図	3枚続	歌川芳員/画	1857(安政4)年	山梨県立博物館	後期

No.	作品名	員数	作者名など	制作年代	所蔵先	展示期間
Y-7	馬市図	1幅	高久隆古/画	1848(嘉永元)年	山梨県立博物館	
Y-8	厩(パネル)	1点	内田宏/撮影	1958(昭和33)年	山梨県立博物館	
Y-9	一服(パネル)	1点	内田宏/撮影	1967(昭和42)年	山梨県立博物館	
Y-10	繭かき(パネル)	1点	内田宏/撮影	1956(昭和31)年	山梨県立博物館	
Y-11	山梨県養蚕紙張幕商標	1点		昭和初期頃	山梨県立博物館	
Y-12	桑爪	1点		昭和時代	山梨県立博物館	
Y-13	お猫さんのお札	1枚		2004(平成16)年	山梨県立博物館	
Y-14	温かくって眠くなる(パネル)	1点	内田宏/撮影	1966(昭和41)年	山梨県立博物館	

【展示平面図】



iii 奈良大和路のみほとけー令和古寺巡礼ー

【会 期】令和6年9月28日(土)～11月25日(月)

会期日数59日間、開館日数51日間

【主 催】山梨県立博物館、UTYテレビ山梨

【後 援】奈良県、朝日新聞甲府総局、NHK甲府放送局、エフエム甲府、エフエム富士、産経新聞甲府支局、テレビ朝日甲府支局、日本ネットワークサービス、毎日新聞甲府支局、山梨新報社、山梨中央銀行、山梨日日新聞社・山梨放送、読売新聞甲府支局

【協 力】なら歴史芸術文化村、入江泰吉記念奈良市写真美術館、山梨交通株式会社

【企画協力】TNCプロジェクト

【会 場】企画展示室

【入場者数】12,676人

【担 当】学芸課長 近藤暁子、学芸員 千原鴻志

【概 要】

哲学の研究者として著名な和辻哲郎(1889～1960)が著した『古寺巡礼』は、大正8年(1919)の刊行以来多くの人に読み継がれてきた。和辻の他にも、亀井勝一郎、志賀直哉など、奈良大和路は多くの文士の心を捉え、今もわたしたちを惹きつけてやまない。本展では、奈良大和路に伝えられた仏像や仏画、仏具などを、写真家・入江泰吉による写真や、文士たちの言葉とともに紹介し、素朴でほのぼのとした風情



展覧会ちらし

を漂わせながらも、悠久の歴史や物語を秘めたその魅力を、あますところなく紹介する。普段目にするこ
とのない日本を代表する仏像を間近で観覧し、博物館で「古寺巡礼」を体験するとともに、県内の仏教美
術の素晴らしさを改めて認識する機会を提供することを目的として開催した。

【関連イベント】

■ 記念講演会

「奈良大和路のみほとけ」

- ・ 日時：11月2日（土） 13:30～15:00
- ・ 会場：生涯学習室
- ・ 講師：関根俊一氏（本展監修、帝塚山大学客員教授）

「薬師寺に伝えられた玄奘三蔵の教え」

- ・ 日時：11月9日（土） 13:30～15:00
- ・ 会場：生涯学習室
- ・ 講師：大谷徹奘師（薬師寺執事長）

■ あそぼう！まなぼう！寺子屋広場ひろば

「琵琶を弾く「飛天」の飛び出すカードを作ろう」

- ・ 日時：9月29日（日） 11:00から30分程度
- ・ 会場：かいじあむ寺子屋

「写仏をしてみよう」

- ・ 日時：10月6日（日） 11:00から30分程度
- ・ 会場：かいじあむ寺子屋

「蓮の花を作ろう」

- ・ 日時：10月13日（日） 11:00から30分程度
- ・ 会場：かいじあむ寺子屋

「お線香を使って匂い袋を作ろう」

- ・ 日時：10月20日（日） 11:00から30分程度
- ・ 会場：かいじあむ寺子屋

「みほとけとおそろいのアクセサリを作ろう」

- ・ 日時：11月10日（日） 11:00から30分程度
- ・ 会場：かいじあむ寺子屋

「仏像のカード合わせゲームにチャレンジ」

- ・ 日時：11月24日（日） 11:00から30分程度
- ・ 会場：かいじあむ寺子屋

■ ギャラリートーク

- ・ 日時：9月28日（土）、10月19日（土）、27日（日）、11月16日（土）、23日（土・祝）
15:00から60分程度
- ・ 会場：企画展示室



展示風景

【出品資料一覧】

入江泰吉記念奈良市写真美術館 所蔵作品は作品No.無し。

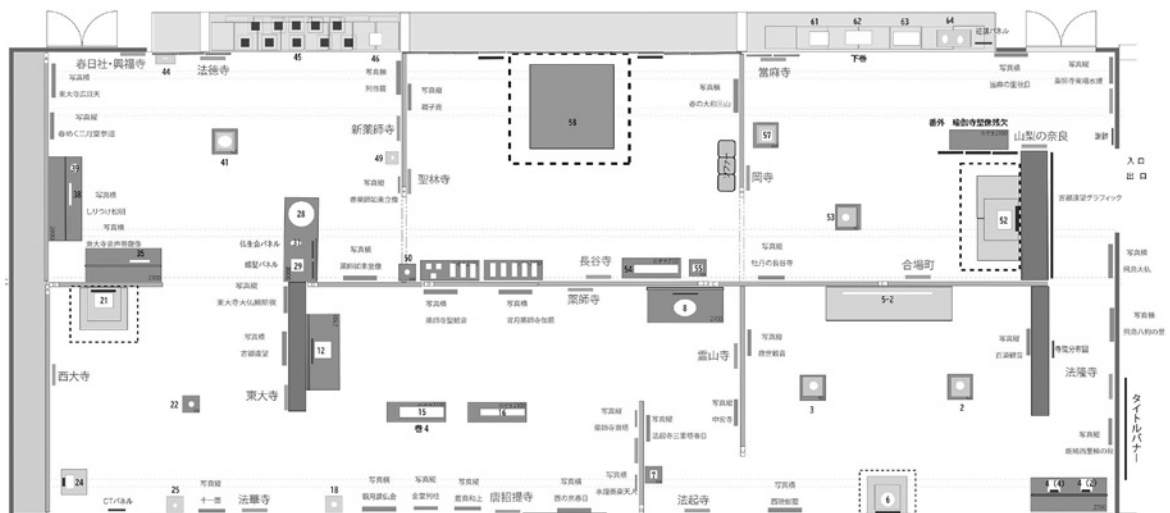
前期：9月28日(土)～10月28日(月)、後期：10月30日(水)～11月25日(月)

指定：●=国宝 ○=重要文化財 ◎=重要美術品 ◆=奈良県指定文化財 ◇=山梨県指定文化財 □=奈良市指定文化財

No.	指定	作品名	作者名/伝来	時代	所蔵者	展示期間	
						前期	後期
2	◎	普賢菩薩立像(法隆寺六観音のうち)		飛鳥時代(7世紀)	法隆寺	○	○
3	◎	観音菩薩立像		飛鳥時代(7世紀)	法隆寺	○	○
4	●	金堂天蓋付属 飛天・鳳凰		飛鳥時代(7世紀)	法隆寺	○	○
5		金堂外陣旧壁画模写 第6号壁	入江 波光 入江西一郎 吉田 友一 川面 稜一 林司 馬 多田 敬一	現代(20世紀) [原資料：飛鳥～奈良時代 7-8世紀]	法隆寺	○	
		金堂外陣旧壁画模写 第10号壁	荒井 寛方 中庭 煥華 森田 沙夷 座間 素賢 上垣 候鳥	現代(20世紀) [原資料：飛鳥～奈良時代 7-8世紀]	法隆寺		○
6		十一面観音菩薩立像	法隆寺伝来	平安時代(10世紀)	個人	○	○
7		聖徳太子立像(南無仏太子)		鎌倉時代(14世紀)	法起寺	○	○
8		行基菩薩坐像		江戸時代(17世紀)	靈山寺	○	○
12	◎	地藏菩薩立像	善円	鎌倉時代 延応2年(1240)	薬師寺	○	○
14		唯識曼荼羅		室町時代(16世紀)	薬師寺	○	
15	□	薬師寺縁起絵巻	明吾古碁	江戸時代 享保元年(1716)	薬師寺	巻3	巻4
16		大般若経(永恩具経) 卷第二百十		奈良時代(8世紀)	薬師寺	○	○
18		天部形立像(伝帝釈天)		平安時代(9-10世紀)	唐招提寺	○	○
21		阿弥陀如来坐像		鎌倉時代(13世紀)	西大寺	○	○
22		十一面観音菩薩立像	西大寺伝来	鎌倉時代(13世紀)	個人	○	○
24	◆	文殊菩薩騎獅像		鎌倉時代(13世紀)	法華寺	○	○
25		花入	法華寺伝来	鎌倉時代 正中2年(1325)	MIHO MUSEUM	○	○
26		南都図屏風		江戸時代(17世紀)	奈良大学博物館	○	
28		誕生釈迦立像及び灌仏盤 模造		昭和9年 [原品：奈良時代(8世紀)]	東大寺	○	○
29		大仏螺髪		江戸時代(17世紀)	東大寺	○	○
31	○	伎楽面(迦楼羅)		奈良時代(8世紀)	MIHO MUSEUM	○	○
35		東大寺曼荼羅		室町時代(16世紀)	奈良国立博物館		○
38		二月堂香水杓	東大寺伝来	鎌倉時代 寛元5年(1247)	MIHO MUSEUM	○	○
39	○	菜桶	東大寺伝来	鎌倉時代 徳治2年(1307)	細見美術館	○	○
41	◎	地藏菩薩立像	快慶	鎌倉時代(13世紀)	東大寺	○	○
43		春日鹿曼荼羅		南北朝時代(14世紀)	個人		○
44		春日社寺曼荼羅		南北朝時代(14世紀)	個人	○	
45		菩薩立像(興福寺千体仏)		平安時代(12世紀)	法徳寺	○	○
46		文殊菩薩坐像		鎌倉時代(13世紀)	法徳寺	○	○
49		仏手(香薬師像右手)		飛鳥時代(7世紀)	新薬師寺	○	○
50	◎	地藏菩薩立像	新薬師寺伝来か	鎌倉時代(13世紀)	MIHO MUSEUM	○	○
52	◆	薬師如来坐像		平安時代(10-11世紀)	天理市合場町	○	○
53	◎	十一面観音菩薩立像		鎌倉時代(13世紀)	長谷寺	○	○
54		長谷寺縁起 中巻		江戸時代(17-18世紀)	長谷寺	○	○
55		如意輪観音菩薩坐像		鎌倉時代(13世紀)	長谷寺	○	○
56	◎	天人文碑		飛鳥時代(7世紀)	岡寺	○	○
57	◎	菩薩半跏像(伝如意輪観音菩薩)		奈良時代(8世紀)	岡寺	○	
58		聖林寺 十一面観音菩薩立像 模刻	朱若麟	令和2年(2020) [原像：奈良時代(8世紀)]	朱若麟	○	○
61		中将姫坐像		江戸時代(17世紀)	當麻寺 奥院	○	○
62		當麻曼陀羅縁起 模本		江戸時代(18世紀)	當麻寺 奥院	上巻	下巻
63		称讃浄土仏撰受経		奈良時代(8世紀)	當麻寺 西南院	○	○
64	◆	菩薩面(来迎会所用面)		室町時代(15-16世紀)	當麻寺	○	○
特別出品	◇	塑造仏像残欠		奈良時代(8世紀)	瑜伽寺	○	○
		飛鳥大仏	入江泰吉	撮影：1976年9月	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○
		飛鳥八釣の里	入江泰吉	撮影：1979年10月	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○
		斑鳩西里柿の秋	入江泰吉	撮影：1968年頃	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○
		法隆寺百済観音像	入江泰吉	撮影：1987年9月	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○

No.	指定	作品名	作者名/伝来	時代	所蔵者	展示期間	
						前期	後期
		法隆寺夢殿 救世観音立像	入江泰吉	撮影：1987年9月	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○
		法隆寺西院大伽藍	入江泰吉	撮影：1985年4月	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○
		中宮寺菩薩半跏像	入江泰吉	撮影：1970-77年	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○
		法起寺三重塔春日	入江泰吉	撮影：1965年頃	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○
		宵月薬師寺伽藍	入江泰吉	撮影：1982年頃	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○
		薬師寺東塔	入江泰吉	撮影：1950年代	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○
		水煙奏楽天人	入江泰吉	撮影：1968年頃	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○
		薬師寺聖観音像	入江泰吉	撮影：1979年6月	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○
		西の京春日	入江泰吉	撮影：1969年頃	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○
		唐招提寺鑑真和上像	入江泰吉	撮影：1968年頃	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○
		唐招提寺金堂列柱	入江泰吉	撮影：1985年7月	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○
		唐招提寺観月讃仏会	入江泰吉	撮影：1972年9月	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○
		法華寺十一面観音像	入江泰吉	撮影：1964年頃	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○
		古都遠望	入江泰吉	撮影：1957年頃	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○
		東大寺大仏殿除夜	入江泰吉	撮影：1985年12月	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○
		東大寺お水取りしりつけ松明	入江泰吉	撮影：1980年頃	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○
		東大寺音声菩薩像	入江泰吉	撮影：1940年代後半	入江泰吉記念 奈良市写真美術館		○
		春めく二月堂裏参道	入江泰吉	撮影：1979年4月	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○
		東大寺広目天立像	入江泰吉	撮影：1976年頃	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○
		興福寺阿修羅像	入江泰吉	撮影：1965年頃	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○
		新薬師寺 香薬師如来立像	工藤利三郎	撮影：1908年以前	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○
		新薬師寺 薬師如来坐像	入江泰吉	撮影：1976年12月	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○
		親子鹿	入江泰吉	撮影：1975年5月	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○
		春の大和三山	入江泰吉	撮影：1968年頃	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○
		牡丹の長谷寺	入江泰吉	撮影：1979年4月	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○
		当麻の里 秋日	入江泰吉	撮影：1973年頃	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○
		薬師寺東塔水煙	入江泰吉	撮影：1966年頃	入江泰吉記念 奈良市写真美術館	○	○

【展示平面図（後期）】



②シンボル展

i 郷土史をのこした人々

【会 期】令和6年5月25日(土)～6月24日(月)

会期日数31日間、展示日数27日間

【主 催】山梨県立博物館

【会 場】企画展示室

【入場者数】2,506人

【担 当】学芸員 小畑茂雄、丸尾依子

【概 要】

「甲斐国志」や「甲州文庫」の収集など、わたしたちの地域のなかでおこなわれた近世から近代にかけての修史事業や資料収集活動のほか、山梨の文化的な特徴を記録した地誌などを紹介し、私たちに郷土史を見つめるための遺産や情報をのこした人々に焦点を当てた展覧会として実施。

展示の終章においては、山梨郷土研究会の設立など山梨の郷土史界隈に大きな足跡を残し、当館が所蔵する甲府道祖神祭幕絵に早くから着目し、その紹介や保存にも努めていた野口二郎といった現代の人物についても紹介した。



展覧会ちらし

【関連イベント】

■かいじあむ講座 「功刀亀内と甲州文庫」

・日時：6月9日(日) 13:30～15:00

・会場：生涯学習室

・講師：小畑茂雄(当館学芸員)

■学芸員によるギャラリートーク

・日時：5月25日(土)、6月23日(日) 15:00から30分程度

・会場：企画展示室

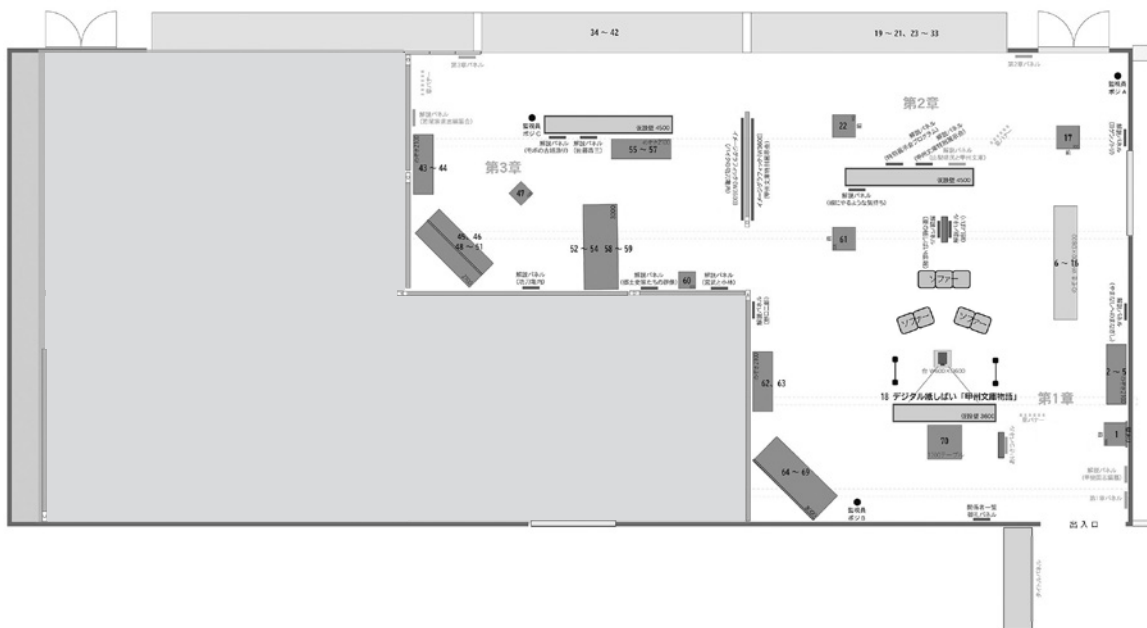
【出品資料一覧】

No.	資料名	所蔵者	資料群	和暦	西暦
第1章 山梨を書きのこす					
1	甲斐国志	山梨県立博物館	甲州文庫	明治15年	1882年
2	甲斐国志案文	山梨県立博物館	頼生文庫	文化元年	1804年
3	甲斐国志編集資料書上重要覚書	山梨県立博物館	甲州文庫	文化3年	1806年
4	甲斐国志草稿	山梨県立博物館	高室家資料	江戸時代	-
5	甲斐国志古文書	山梨県立博物館	赤岡重樹旧蔵資料	江戸時代	-
6	甲国聞書	山梨県立博物館	赤岡重樹旧蔵資料	万治3年	1660年
7	風流使者記	山梨県立博物館	甲州文庫	江戸時代	-
8	ひとりね 乾・坤	山梨県立博物館	甲州文庫	江戸時代	-
9	甲州断書写断簡	山梨県立博物館	上野晴朗氏収集資料	江戸時代	-
10	裏見寒話	山梨県立博物館	頼生文庫	宝暦2年	1752年
11	甲斐叢記(前輯)	山梨県立博物館	長谷川家文書	嘉永4年	1851年
12	甲斐廻手振	山梨県立博物館	赤岡重樹旧蔵資料	嘉永3年	1850年
		山梨県立博物館	若尾資料	嘉永3年	1850年
13	並山日記(序及び目録、1～10)	山梨県立博物館	若尾資料	嘉永3年	1850年
14	峡中沿革史	山梨県立博物館	甲州文庫	明治21年	1888年
15	甲斐の落葉	個人蔵	-	昭和50年	1975年
16	甲州見聞記	山梨県立博物館	甲州文庫	大正元年	1912年
17	暴瀉病流行日記	山梨県立博物館	頼生文庫	安政5年	1858年

No.	資料名	所蔵者	資料群	和暦	西暦
第2章 山梨の文化をのこす					
18	デジタル紙芝居「甲州文庫物語」	山梨県立博物館	-	令和6年	2024年
19	富くじ雛・木札・興行関係資料	山梨県立博物館	甲州文庫	江戸時代	-
	富くじ木札(箱入り)	山梨県立博物館	甲州文庫	江戸時代	-
	富くじ雛	山梨県立博物館	甲州文庫	江戸時代	-
	富突き興行関係資料(市川御陣場富突案内ほか)	山梨県立博物館	甲州文庫	文政12年	1929年
20	岩代国蚕種	山梨県立博物館	甲州文庫	明治時代	-
21	おかぶと木型	山梨県立博物館	甲州文庫	近代	-
22	甲州栴	山梨県立博物館	甲州文庫	江戸時代	-
23	水晶眼鏡	山梨県立博物館	甲州文庫	明治13年	1880年
24	鑑札類	山梨県立博物館	甲州文庫	江戸～明治時代	-
	九一色諸商売役免許鑑札	山梨県立博物館	甲州文庫	-	-
	甲府上水鑑札	山梨県立博物館	甲州文庫	-	-
	獵師鉄砲(鉄砲)鑑札	山梨県立博物館	甲州文庫	慶応2年	1866年
	穀仲間鑑札	山梨県立博物館	甲州文庫	明治6年	1873年
	水車稼鑑札	山梨県立博物館	甲州文庫	明治3年	1870年
	城内鉄砲師(鉄砲師)鑑札	山梨県立博物館	甲州文庫	-	-
	非常取締北組鑑札	山梨県立博物館	甲州文庫	-	-
25	野売免許朱印状	山梨県立博物館	甲州文庫	天文10年	1541年
26	高芙蓉印譜	山梨県立博物館	甲州文庫	江戸時代	-
27	疫病退散に付差紙	山梨県立博物館	甲州文庫	安政5年	1858年
28	甲府買物独案内	山梨県立博物館	甲州文庫	明治5年	1872年
29	ビール開業広告	山梨県立博物館	甲州文庫	明治7年	1874年
30	生糸商標	山梨県立博物館	甲州文庫	近代	-
31	峡中広告集	山梨県立博物館	甲州文庫	江戸～明治時代	-
32	長沢組マッチ商標集	山梨県立博物館	甲州文庫	近代	-
33	上下府中町触	山梨県立博物館	甲州文庫	寛文5～明治5年	1665～1872年
34	座光寺南屏書跡	山梨県立博物館	甲州文庫	江戸時代	-
35	富田武陵書跡(武陵書蹟 百寿之図)	山梨県立博物館	甲州文庫	江戸時代	-
36	乙骨耐軒書跡(耐軒書蹟 七律)	山梨県立博物館	甲州文庫	弘化2年	1845年
37	加藤竹亭書跡(竹亭書蹟 王維詩)	山梨県立博物館	甲州文庫	江戸時代	-
38	若尾逸平書跡	山梨県立博物館	甲州文庫	明治33年	1900年
39	野口小蘋「梅花図」	山梨県立博物館	甲州文庫	近代	-
40	夔神	山梨県立博物館	甲州文庫	享和2年	1802年
41	甲斐国金峰山金櫻神社御嶽山晚春之図	山梨県立博物館	甲州文庫	-	-
42	勸業製糸場七言絶句	山梨県立博物館	甲州文庫	明治10年	1877年
第3章 郷土史をのこした人々					
43	山梨県志編纂会趣旨他	山梨県立博物館	大木家文書	大正4年	1915年
44	山梨県志資料目録(第一輯)	山梨県立博物館	甲州文庫	大正13年	1924年
	山梨県志資料目録	山梨県立博物館	若尾資料	大正13年	1924年
45	甲州文庫扁額	山梨県立博物館	甲州文庫	昭和5年	1930年
46	功刀亀内肖像写真	山梨県立博物館	甲州文庫	昭和時代	-
47	甲州文庫標札	南アルプス市立図書館	-	昭和19年	1944年
48	喜寿録	山梨県立博物館	甲州文庫	昭和6年	1931年
49	甲州文庫記	山梨県立博物館	甲州文庫	大正14年	1925年
50	甲州文庫図書目録題辭叙文	山梨県立博物館	甲州文庫	昭和3年	1928年
51	甲州文庫図書目録	山梨県立博物館	甲州文庫	昭和18年	1943年
52	甲斐国西部郷名尽	山梨県立博物館	甲州文庫	昭和2年	1927年
53	甲州文庫関係記事集帖	山梨県立博物館	甲州文庫	昭和時代	-
54	甲州人材論 第2編	山梨県立博物館	甲州文庫	昭和5年	1930年
55	浮世絵界 第2巻第1号	山梨県立博物館	大木家文書	昭和12年	1937年
56	「甲州文庫を語る」放送記録	山梨県立博物館	甲州文庫	昭和25年	1950年
	甲州文庫を語る	山梨県立博物館	甲州文庫	昭和26年	1951年
57	写真貼込帖 2	山梨県立博物館	甲州文庫	明治～大正時代	-
58	赤岡重樹関係資料				

No.	資料名	所蔵者	資料群	和暦	西暦
58	甲斐国古社史考	山梨県立博物館	甲州文庫	昭和11年	1936年
	研究資料・新聞切抜・写真・絵葉書類	山梨県立博物館	赤岡重樹旧蔵資料	昭和時代	—
	甲斐史研究資料控	山梨県立博物館	赤岡重樹旧蔵資料	昭和時代	—
59	萩原頼平関係資料				
	萩原頼平著「耳のせんたく」	山梨県立博物館	甲州文庫	昭和11年	1936年
	地歴の甲斐 第1巻	山梨県立博物館	甲州文庫	昭和10年	1935年
	甲斐史料集成原稿集	山梨県立博物館	頼生文庫	昭和元年	1926年
60	小説 練絲痕(公私月報第47号付録)	山梨県立博物館	甲州文庫	昭和9年	1934年
61	甲州文庫移管関係綴	山梨県立博物館	甲州文庫	昭和26年	1951年
62	小田内通久書簡	天津司の舞保存会	—	昭和11年	1936年
63	甲州夏草道中記	個人	—	昭和36年	1961年
64	夏草道中切手	山梨文化会館	—	昭和時代	—
65	功刀亀内差出野口二郎宛書簡	山梨文化会館	—	昭和26年	1951年
66	甲州文庫県内移管に関するお願い	山梨文化会館	—	昭和26年	1951年
67	野口二郎山梨百科事典執筆原稿	山梨文化会館	—	昭和40年代	—
68	遠藤金太郎差出野口二郎宛はがき	山梨文化会館	—	昭和32年	1957年
69	遠藤金太郎差出野口二郎宛書簡	山梨文化会館	—	昭和32年	1957年
70	野口二郎「後代に伝える」原稿	山梨文化会館	—	昭和33年	1958年

【展示平面図】



ii 甲斐国分寺

【会 期】令和6年12月21日(土)～令和7年2月24日(月)

会期日数66日間、開館日数50日間

【主 催】山梨県立博物館

【会 場】企画展示室

【入場者数】4,440人

【担 当】学芸員 茶園紘己、企画交流課長 石神孝子

【概 要】

国分寺は、聖武天皇の命により全国に創建され、甲斐国では現在の笛吹市一宮町に建てられた。その後、

鎌倉期に焼失、そして戦国期には再興され、大正11年(1922)に国史跡の指定を受けて現在に至っている。特に近年、甲斐国分寺跡の発掘調査が進み、創建時の姿やその後の地域との関わりについて、新たな知見が得られている。本展では、最新の発掘調査成果を踏まえた国分寺の創建時の姿とともに、創建から現代までの国分寺と地域の関係の移り変わりについて紹介した。

【関連イベント】

■講演会

「国分寺建立と人々」

- ・日時：1月26日(日) 13:30～15:00
- ・会場：生涯学習室
- ・講師：末木健氏(山梨県考古学協会名誉会長)

■かいじあむ講座

「国分寺が山梨の宝になった日」

- ・日時：1月19日(日) 13:30～15:00
- ・会場：生涯学習室
- ・講師：石神孝子(当館企画交流課長)

「中世以降の甲斐国分寺」

- ・日時：2月16日(日) 13:30～15:00
- ・会場：生涯学習室
- ・講師：茶園紘己(当館学芸員)

■古文書講座

「国分寺」

- ・日時：2月22日(土) 13:30～15:00
- ・会場：生涯学習室
- ・講師：茶園紘己(当館学芸員)

■あそぼう！まなぼう！寺子屋広場ひろば

「折り紙で国分寺七重塔を作ろう」

- ・日時：12月22日(日) 11:00から30分程度
- ・会場：かいじあむ寺子屋

「甲斐国分寺の鬼瓦プラバンストラップを作ろう」

- ・日時：2月9日(日) 11:00から30分程度
- ・会場：かいじあむ寺子屋

「蓮華もよのの軒丸瓦の首かざりを作ろう」

- ・日時：2月16日(日) 11:00から30分程度
- ・会場：かいじあむ寺子屋

■ギャラリートーク

- ・日時：12月21日(土)、1月25日(土) 15:00から30分程度
- ・会場：企画展示室

■甲斐国分寺めぐり

- ・日時：1月18日(土)、2月15日(土) 13:30～15:00
- ・場所：史跡甲斐国分寺跡
- ・共催：笛吹市教育委員会



展覧会ちらし



展示風景

■国分寺シンポジウム

- ・日時：2月1日(土) 13:30～16:30
- ・会場：生涯学習室
- ・共催：笛吹市教育委員会

■シンボル展 甲斐国分寺展 ゆかりの地ツアー

- ・日時：2月9日(日)
 - 第1部：9:30～12:30(現地ツアー)
 - 第2部：15:30～16:00(ギャラリートーク)
- ・場所：史跡甲斐国分寺跡(第1部)、企画展示室(第2部)

※NPOによる外部委託事業(第II編 第8章参照)

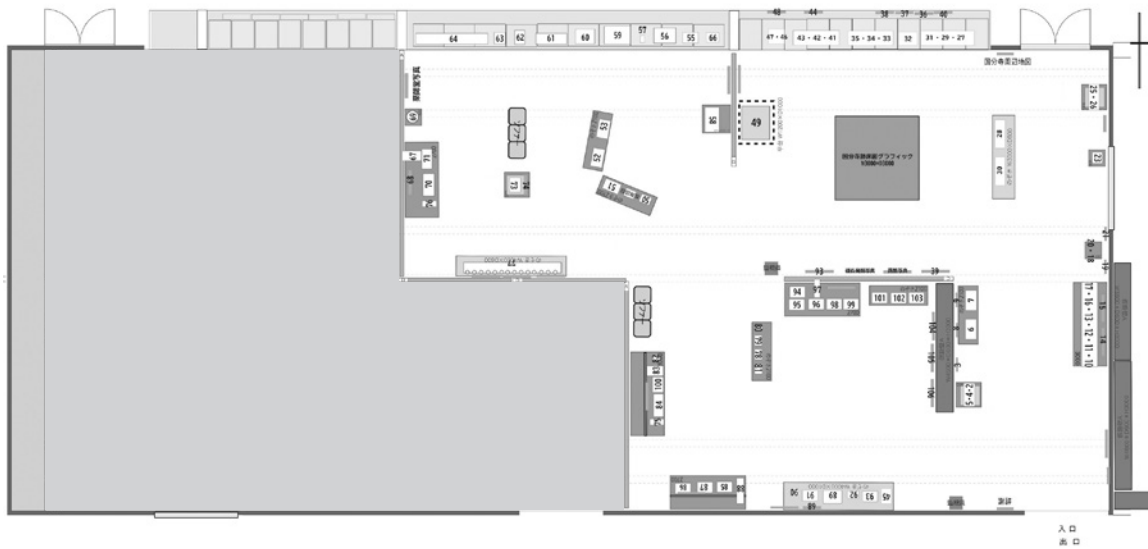
【出品資料一覧】

No.	資料名	年代	形態	点数	所蔵	指定	遺跡
プロローグ 古代甲斐における仏教の萌芽							
1	銅椀	古墳時代後期	金銅	1	山梨県立考古博物館	県	稲荷塚古墳
2	銅椀	古墳時代終末期	金銅	1	笛吹市教育委員会		狐塚古墳
3	銅椀	古墳時代終末期	金銅	1	笛吹市教育委員会		寺の前古墳
4	天狗沢瓦窯跡写真		パネル	1	甲斐市教育委員会		天狗沢瓦窯跡
5	軒丸瓦	飛鳥時代後期	瓦	5	甲斐市教育委員会	県	天狗沢瓦窯跡
6	丸瓦	飛鳥時代後期	瓦	2	甲斐市教育委員会	県	天狗沢瓦窯跡
7	平瓦	飛鳥時代後期	瓦	2	甲斐市教育委員会	県	天狗沢瓦窯跡
8	寺本廃寺復元イラストパネル		パネル	1	笛吹市教育委員会		寺本廃寺
9	軒丸瓦	飛鳥時代後期	瓦	6	笛吹市教育委員会		寺本廃寺
10	軒平瓦	飛鳥時代後期	瓦	6	笛吹市教育委員会		寺本廃寺
11	丸瓦	飛鳥時代後期	瓦	2	笛吹市教育委員会		寺本廃寺
12	平瓦	飛鳥時代後期	瓦	1	笛吹市教育委員会		寺本廃寺
13	螺髪	飛鳥時代後期	土製	4	笛吹市教育委員会		寺本廃寺
14	塑像片	飛鳥時代後期	土製	8	笛吹市教育委員会		寺本廃寺
15	墨書土器「講院」	飛鳥時代後期	土器	1	笛吹市教育委員会		寺本廃寺
16	文字瓦	飛鳥時代後期	瓦	1	笛吹市教育委員会		寺本廃寺
17	小金銅仏	飛鳥時代後期～奈良時代	金銅仏	1	甲府市教育委員会	県	東畑遺跡
18	小金銅仏	平安時代	金銅仏	2	甲斐市教育委員会	県	松ノ尾遺跡
19	小金銅仏	平安時代	金銅仏	1	甲斐市教育委員会		村統遺跡
第1章 甲斐国分寺の創建							
20	軒丸瓦	奈良時代	瓦	5	護国山国分寺		甲斐国分寺跡
21	軒平瓦	奈良時代	瓦	4	護国山国分寺		甲斐国分寺跡
22	丸瓦	奈良時代	瓦	2	護国山国分寺		甲斐国分寺跡
23	宝物 開山御持水昌大数珠(伝基所持)	不明	数珠	1	護国山国分寺		
24	鬼瓦	奈良時代	瓦	3	笛吹市教育委員会		史跡甲斐国分寺跡
25	史跡甲斐国分寺跡全体図		パネル	1			史跡甲斐国分寺跡
26	甲斐国分寺史跡指定地 発掘全容		床グラ	1	笛吹市教育委員会		史跡甲斐国分寺跡
27	軒丸瓦	奈良時代	瓦	16	笛吹市教育委員会		史跡甲斐国分寺跡
28	軒平瓦	奈良時代	瓦	1	山梨県立考古博物館		史跡甲斐国分寺跡
29	軒平瓦	奈良時代	瓦	6	笛吹市教育委員会		史跡甲斐国分寺跡
30	丸瓦	奈良時代	瓦	1	笛吹市教育委員会		史跡甲斐国分寺跡
31	平瓦	奈良時代	瓦	1	笛吹市教育委員会		史跡甲斐国分寺跡
32	軒丸瓦	奈良時代	瓦	4	甲府市教育委員会		上土器遺跡
33	軒平瓦	奈良時代	瓦	2	甲府市教育委員会		上土器遺跡
34	丸瓦	奈良時代	瓦	2	甲府市教育委員会		上土器遺跡
35	埴	奈良時代	土製品	4	笛吹市教育委員会		史跡甲斐国分寺跡
36	埴	奈良時代	土製品	1	甲府市教育委員会		上土器遺跡
37	泥塔	平安時代末	土製品	4	笛吹市教育委員会		史跡甲斐国分寺跡
38	墨書土器	平安時代	土器	8	笛吹市教育委員会		史跡甲斐国分寺跡

No.	資料名	年代	形態	点数	所蔵	指定	遺跡
39	灯明皿	平安時代	土器	1	笛吹市教育委員会		史跡甲斐国分尼寺跡
40	墨書土器	平安時代	土器	9	笛吹市教育委員会		史跡甲斐国分尼寺跡
41	墨書土器	平安時代	土器	5	笛吹市教育委員会		金山遺跡
42	史跡甲斐国分寺跡瓦葺き屋根復元模型		模型	1	山梨県立考古博物館		
43	甲斐甲斐国分寺・国分尼寺跡位置図		パネル	1			
44	史跡甲斐国分寺跡 (南から奥秩父山系雁坂口を望む)		パネル	1	笛吹市教育委員会		
45	講堂跡		パネル	1	笛吹市教育委員会		
46	回廊跡		パネル	1	笛吹市教育委員会		
47	史跡甲斐国分尼寺跡(金堂・講堂)		パネル	1	笛吹市教育委員会		
48	七重塔跡の礎石のようす		パネル	1	笛吹市教育委員会		
49	石製露盤のようす		パネル	1			
50	国分寺七重塔礎石(出典:水上文淵『史跡名勝天然記念物一』大正12年(1923)頃)		パネル	1	笛吹市教育委員会		
第2章 甲斐国分寺の再興と薬師信仰							
51	東鏡	寛永3年(1626)	和本	1	山梨県立博物館		
52	『塩山抜隊和尚語録』下	慶安4年(1651)	和本	1	山梨県立博物館		
53	河村信貞寄進状	長享3年(1489)	状	1	広厳院	県	
54	武田勝頼判物	天正4年(1576)	状	1	護国山国分寺		
55	武田家朱印状	天正4年(1576)	状	1	護国山国分寺		
56	国分村・金川原村境村絵図	江戸時代	舗	1	国分区有文書		
57	『甲斐国志』巻七十六 仏寺部	文化11年(1814)	冊	1	山梨県立博物館		
58	取調書	明治28年(1895)	綴	1	護国山国分寺		
59	徳川家奉行人連署状	慶長8年(1603)	状	1	護国山国分寺		
60	徳川家奉行人連署禁制	慶長8年(1603)	木札	1	護国山国分寺		
61	表札(葵紋・御朱印)	江戸時代	木札	1	護国山国分寺		
62	徳川吉宗御朱印写	享保3年(1718)	状	1	護国山国分寺		
63	御朱印田畑并持高控帳	享和元年(1801)	綴	1	護国山国分寺		
64	紺紙金泥大般若経	享保12年(1727)	軸	1	護国山国分寺		
65	下馬札	年代不明	木札	1	護国山国分寺		
66	下馬札につき入置書類一切なきの書付	嘉永3年(1850)	状	1	護国山国分寺		
67	差上申済口証文之事	文政5年(1822)	状	1	護国山国分寺		
68	薬師堂	明暦2年(1656)	パネル	1	護国山国分寺		
69	月待結集罽口	万治2年(1659)	罽口	1	護国山国分寺	市	
70	薬師如来開帳札	年代不詳	木札	1	護国山国分寺		
71	薬師如来開帳につき府内八日町札之辻建札願	文化9年(1812)	状	1	護国山国分寺		
72	薬師如来および厨子	年代不明	パネル	2	護国山国分寺		
73	薬師如来開帳願	年代不明	状	1	護国山国分寺		
74	御札「奉命薬師瑠璃光如来」	年代不明	状	1	護国山国分寺		
75	薬師経石當写真	文政10年(1827)	パネル	1	護国山国分寺		
76	薬師経石発掘状況写真		パネル	1	護国山国分寺		史跡甲斐国分寺跡
77	一字一石経(薬師経)	文政10年(1827)	石	58	護国山国分寺		史跡甲斐国分寺跡
78	『薬師瑠璃光如来本願功德経』	年代不明	帖	1	山梨県立博物館		
第3章 史蹟甲斐国分寺址への道のり							
79	表札(甲州国分寺)	年代不明	木札	1	護国山国分寺		
80	『由緒書』	慶応4年(1868)	冊	1	護国山国分寺		
81	『御朱印写八通』	江戸時代	冊	1	護国山国分寺		
82	表札(菊紋・国分寺)	明治時代以降	木札	1	護国山国分寺		
83	勅願文(聖武天皇陛下御製文)	明治45年(1912)	卷子	1	護国山国分寺		
84	下馬札	明治45年(1912)	木札	1	護国山国分寺		
85	版木「奉開扉本尊薬師如来十二神将 宝牌」	明治45年(1912)	版木	1	護国山国分寺		
86	『記録』	明治時代以降	冊	1	護国山国分寺		
87	『山梨県史蹟名勝記念物保存設備費募集帳』	大正10年(1921)	綴	1	護国山国分寺		
88	史蹟保存費補助願	大正10年(1921)	綴	1	護国山国分寺		
89	「史蹟保存工事費寄付者名簿」	大正時代頃	木札	1	護国山国分寺		
90	御認定請願	大正11年(1922)	綴	1	護国山国分寺		
91	史蹟名勝天然記念物標識文集	大正時代以降	冊	1	山梨県立博物館		

No.	資料名	年代	形態	点数	所蔵	指定	遺跡
92	三時回向文	年代不明	帖	1	護国山国分寺		
93	宮内省御由緒寺 内務省史蹟指定	大正時代頃	木札	1	護国山国分寺		
94	金銀出入帳	明治18～昭和5年 (1885～1930)	冊	1	護国山国分寺		
95	引継目録	昭和3年(1928)	綴	1	護国山国分寺		
96	水上文淵『史蹟名勝天然物一』	大正12年(1923)頃	冊	1	山梨県立博物館		
97	水上文淵『史蹟名勝天然物二』	大正12年(1923)頃	冊	1	山梨県立博物館		
エピソード 国史跡としての今							
98	史蹟指定記念建造物修理費補助申請	昭和5年(1930)	綴	1	護国山国分寺		
99	懇願書	昭和5年(1930)頃	冊	1	護国山国分寺		
100	木札「史蹟国分寺保存会」	大正時代以降	木札	1	護国山国分寺		
101	昭和十三年度より国分寺記録控簿	昭和13～17年 (1938～1942)	冊	1	護国山国分寺		
102	『会議録』	昭和19～22年 (1944～1947)	冊	1	護国山国分寺		
103	甲斐国護国山国分禅寺梵鐘之序並銘 原稿	昭和24年(1949)	綴	1	護国山国分寺		
104	聖武天皇千二百年御忌に際して全国々分寺連盟の結成を提唱す	昭和30年(1955)	状	1	護国山国分寺		

【展示平面図】



(3) 展覧会関係刊行物

	名 称	発刊日	体裁
1	企画展「富士川水運の300年 物流と文化の大動脈」展示図録	令和6年3月16日	A4変形版、96頁
2	シンボル展「郷土史をのこした人々」リーフレット	令和6年5月25日	A4版、4頁
3	企画展「どうぶつ百景—江戸東京博物館コレクションより」展示図録	※	B5変形版、296頁
4	企画展「奈良大和路のみほとけ—令和古寺巡礼—」展示図録	※※	A4変形版、140頁
5	シンボル展「甲斐国分寺」リーフレット	令和6年12月21日	A4版、4頁

※ 「どうぶつ百景—江戸東京博物館コレクションより」は巡回展のため、令和6年4月26日刊行（監修：東京都江戸東京博物館、発行：NHKプロモーション）

※※「奈良大和路のみほとけ—令和古寺巡礼—」は巡回展のため、令和6年4月12日刊行（発行：山口県立美術館、MIHO MUSEUM、山梨県立博物館、TNCプロジェクト）



1



2



5

第5章 企画交流事業

(1) 生涯学習サービス事業

① 講演会・講座・シンポジウム等

■ 講演会

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者(人)
令和6年4月28日	村石 真澄氏(富士河口湖町史編纂室長)	文政四年の鰥沢大火が炙り出したもの	県立博物館	106人
令和6年7月21日	秋山 多江氏 (甲府市遊亀公園附属動物園 園長・獣医師)	休園中の動物たちの様子と取り組み	県立博物館	39人
令和6年8月2日	亀井 大輔氏(株式会社山梨中央銀行)	貨幣の変遷と新紙幣に描かれた人物	県立博物館	66人
令和6年8月25日	小山 周子氏(東京都江戸東京博物館学芸員)	江戸東京博物館コレクションに見る動物との暮らし	県立博物館	40人
令和6年11月2日	関根 俊一氏(本展監修、帝塚山大学客員教授)	奈良大和路のみほとけ	県立博物館	84人
令和6年11月9日	大谷 徹英師(薬師寺執事長)	薬師寺に伝えられた玄奘三蔵の教え	県立博物館	186人
令和7年1月26日	末木 健氏(山梨県考古学協会名誉会長)	甲斐国分寺建立と人々	県立博物館	86人
令和7年3月23日	笹本 正治氏(長野県立歴史館特別館長)	温泉から出て裁判をした勝頼	県立博物館	158人

■ 館長トーク

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者(人)
令和6年5月25日	守屋 正彦(当館館長)	古代 古代の日本美術と山梨	県立博物館	26人
令和6年7月27日	守屋 正彦(当館館長)	中世1 浄土教の美術	県立博物館	29人
令和6年9月28日	守屋 正彦(当館館長)	中世2 禅の美術	県立博物館	45人
令和6年11月23日	守屋 正彦(当館館長)	中世3 戦国・天下人の美術	県立博物館	45人
令和7年1月25日	守屋 正彦(当館館長)	近世1 狩野派	県立博物館	27人
令和7年3月22日	守屋 正彦(当館館長)	近世2 江戸後期の美術	県立博物館	31人

■ 古文書講座

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者(人)
令和6年4月27日	海老沼真治(当館学芸員)	川と水	県立博物館	65人
令和6年6月22日	小畑 茂雄(当館学芸員)	近代の手紙	県立博物館	52人
令和6年8月24日	茶園 紘己(当館学芸員)	どうぶつ	県立博物館	46人
令和6年10月26日	海老沼真治(当館学芸員)	武田	県立博物館	45人
令和7年2月22日	茶園 紘己(当館学芸員)	国分寺	県立博物館	62人

■ 古文書相談日

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者(人)
令和6年5月19日	—	「古文書相談日」	県立博物館	6人
令和6年7月21日	—	「古文書相談日」	県立博物館	7人
令和6年9月15日	—	「古文書相談日」	県立博物館	2人
令和6年11月17日	—	「古文書相談日」	県立博物館	4人
令和7年1月19日	—	「古文書相談日」	県立博物館	1人
令和7年3月16日	—	「古文書相談日」	県立博物館	7人

■ かいじあむ講座

開催年月日	講演者	タイトル	開催場所	参加者(人)
令和6年6月9日	小畑 茂雄(当館学芸員)	功刀亀内と甲州文庫	県立博物館	10人
令和7年1月19日	石神 孝子(当館企画交流課長)	国分寺が山梨の宝になった日	県立博物館	51人
令和7年2月16日	茶園 紘己(当館学芸員)	中世以降の甲斐国分寺	県立博物館	44人

講演会・講座等参加者数合計

1,370人

②体験プログラム

開催年月日	内 容	開催場所	参加者(人)
令和6年4月20日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	12人
令和6年5月18日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	10人
令和6年6月15日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	10人
令和6年7月20日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	7人
令和6年8月17日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	7人
令和6年9月21日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	5人
令和6年10月19日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	6人
令和6年11月16日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	11人
令和6年12月21日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	9人
令和7年1月18日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	10人
令和7年2月15日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	8人
令和7年3月15日	「ボランティアによるお庭の見どころガイド」	県立博物館庭	4人
令和6年4月7日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば オリジナル紙芝居「潮水伝説～天津司舞のはじまり～」	県立博物館	13人
令和6年4月14日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば オリジナル紙芝居「武田信玄～風の如く、火の如く～」	県立博物館	18人
令和6年4月21日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「けん玉で遊ぼう」	県立博物館	2人
令和6年4月28日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「角倉了以のプランストラップを作ろう」	県立博物館	9人
令和6年5月12日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「おさんぽ瓶を作ってみよう」	県立博物館	9人
令和6年5月19日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「『甲斐名所寿古六』を楽しもう」	県立博物館	15人
令和6年5月26日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば オリジナル紙芝居「甲州文庫物語～変わり者の功刀亀内～」	県立博物館	17人
令和6年6月2日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「『功刀亀内と甲州文庫』の豆本を作ろう」	県立博物館	16人
令和6年6月9日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「ジャブジャブ?カラカラ?かいじあむクイズツアー」	県立博物館	6人
令和6年6月16日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「功刀亀内のとびだすカードを作ろう」	県立博物館	4人
令和6年6月23日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「富士山の成り立ちBOOKを作ろう」	県立博物館	23人
令和6年6月30日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「おかいこさんの絹のお話し」	県立博物館	14人
令和6年7月7日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「七夕人形を作ろう」	県立博物館	11人
令和6年7月14日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「包んでみよう」	県立博物館	15人
令和6年7月21日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「馬のモビールを作ろう」	県立博物館	30人
令和6年7月28日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 紙芝居「まねきねこのたま」「たのきゅう」「おさるさん」	県立博物館	31人
令和6年8月4日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「どうぶつにちなんだうちわを作ろう」	県立博物館	23人
令和6年8月11日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「トラの『ずはんば』を作ろう」	県立博物館	28人
令和6年8月18日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「ねこのパズルを作ろう」	県立博物館	30人
令和6年8月25日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 紙芝居「きつねのつかい」「てんとうむしのテム」「ねずみちょうじや」	県立博物館	40人
令和6年9月1日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば オリジナル紙芝居「天下の雨敬～雨宮敬次郎物語～」	県立博物館	23人
令和6年9月8日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「あやとりで遊ぼう」	県立博物館	17人
令和6年9月15日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 紙芝居「つきみだんごとまほうのぼうし」	県立博物館	20人
令和6年9月22日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「甲斐国 旅案内」	県立博物館	13人
令和6年9月29日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「琵琶を弾く『飛天』の飛び出すカードを作ろう」	県立博物館	23人
令和6年10月6日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「写仏をしてみよう」	県立博物館	17人
令和6年10月13日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「蓮の花を作ろう」	県立博物館	13人
令和6年10月20日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「お線香を使って匂い袋を作ろう」	県立博物館	17人
令和6年10月27日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「軍配を作ってみよう」	県立博物館	15人
令和6年11月3日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば オリジナル紙芝居「武田信玄～風の如く火の如く～」	県立博物館	24人
令和6年11月10日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「みほとけとおそろいのアクセサリを作ろう」	県立博物館	16人
令和6年11月17日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「折り紙でモミジとイチョウを作ろう」	県立博物館	11人
令和6年11月24日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「仏像のカード合わせゲームにチャレンジ」	県立博物館	8人
令和6年12月1日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば オリジナル紙芝居「若尾逸平物語～逸平と幾造～」	県立博物館	11人
令和6年12月8日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「冬の紋切り『雪の結晶』を作ろう」	県立博物館	13人
令和6年12月15日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば オリジナル紙芝居「甲斐国志物語～森嶋弥十郎編～」	県立博物館	7人
令和6年12月22日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「折り紙で国分寺七重塔を作ろう」	県立博物館	6人
令和7年1月5日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 紙芝居「なぜ、かがみもちをかざるの?」	県立博物館	25人
令和7年1月12日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「こまを回して遊ぼう」	県立博物館	27人
令和7年1月19日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「『幕絵』のとび出すカードを作ろう」	県立博物館	8人
令和7年1月26日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 紙芝居「八ヶ岳と富士山」	県立博物館	23人
令和7年2月2日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 紙芝居「なぜ、せつぶんに豆をまくの?」	県立博物館	14人
令和7年2月9日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「甲斐国分寺の鬼瓦プランストラップを作ろう」	県立博物館	20人
令和7年2月16日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 「蓮華もようの軒丸瓦の首かざりを作ろう」	県立博物館	15人
令和7年2月23日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば 紙芝居「なぜ、おひなさまをかざるの?」	県立博物館	15人

令和7年3月9日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば「山梨に春を告げる花と鳥を作ろう」	県立博物館	9人
令和7年3月16日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば「武田勝頼の朱印状を作ってみよう」	県立博物館	37人
令和7年3月23日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば「小椋韋威鎧(楯無鎧)を作ろう」	県立博物館	25人
令和7年3月30日	あそぼう!まなぼう!寺子屋ひろば オリジナル紙芝居「武田信虎物語」	県立博物館	31人
令和6年4月13日	かいじあむ子ども工房「足半ぞうりを作ろう」	県立博物館	6人
令和6年5月11日	かいじあむ子ども工房「ペーゴマを回そう!」	県立博物館	14人
令和6年6月8日	かいじあむ子ども工房「浮世絵を摺ってみよう」	県立博物館	14人
令和6年7月13日	かいじあむ子ども工房「綿で羊を作ろう」	県立博物館	22人
令和6年8月10日	かいじあむ子ども工房「とんだりはねたりを作ろう」	県立博物館	10人
令和6年9月14日	かいじあむ子ども工房「藍の生葉染め」	県立博物館	20人
令和6年10月12日	かいじあむ子ども工房「粘土で仏像を作ろう」	県立博物館	5人
令和6年11月9日	かいじあむ子ども工房「ころ柿を作ろう」	県立博物館	32人
令和7年1月11日	かいじあむ子ども工房「小正月のまゆ玉団子をつくろう」	県立博物館	7人
令和7年2月8日	かいじあむ子ども工房「まゆ玉クラフトでおひなさまを作ろう」	県立博物館	4人
令和7年3月8日	かいじあむ子ども工房「紙すきをしよう」	県立博物館	13人
令和6年8月11日	小江戸甲府の夏祭り「まゆ玉で動物を作ろう」	舞鶴城公園	64人
令和6年5月4日	かいじあむ子どもまつり	県立博物館	247人
令和6年5月5日	かいじあむ子どもまつり	県立博物館	217人
令和6年8月14日	かいじあむの夏まつり	県立博物館	418人
令和6年8月15日	かいじあむの夏まつり	県立博物館	429人
令和6年11月20日	かいじあむの秋まつり	県立博物館	343人
令和7年1月2日	かいじあむのお正月	県立博物館	117人
令和7年1月3日	かいじあむのお正月	県立博物館	104人
令和6年4月20日	鯉沢ウォーキング「富士川水運の町を歩こう」	富士川町	24人
令和6年6月13日	古文書整理体験教室	県立博物館	8人
令和6年12月12日	古文書整理体験教室	県立博物館	9人

体験プログラム参加者数合計

3,084人

③その他

展示交流員が常設展示の見どころを案内する「常設展スルーガイド」を毎週土曜日に実施した。

(2) 博学連携

①かいじあむティーチャーズクラブ

i 状況

現在2,948名の会員である。20年の積み重ねにより会員数は多い。多くの会員を有しているが、新規加入者は少ない。新規加入者を募るためには博物館は教材の宝庫という魅力を発信した上で、ティーチャーズクラブという制度を周知する必要がある。

令和5年度からティーチャーズクラブ会員として博物館を観覧した場合は、指導略案の提出を依頼している。令和5年度は数名の提出だったが、令和6年度は昨年度よりも多くの指導略案の提出があった。今後は指導略案の内容を検討し、博物館から授業の提案や博物館と学校が共同して研究授業を実施することも考えられる。さらに、研究授業の様子や指導案を県内の教職員に広く提案できるような仕組みをつくっていきたい。

ii 会員数(令和7年3月31日現在)

校 種	会員数(人)
小学校	1,296
中学校	581
高等学校・特別支援学校	967
教育庁	61
総合教育センター	36
教育事務所等	7
合 計	2,948

iii 教員視察人数(ティーチャーズクラブ以外の視察も含む)

令和6年度 教員視察人数

(令和7年3月31日現在)

1 ティーチャーズクラブ視察人数

月別	常設展	企画展	月計	企画展・シンボル展名称
4月	2	12	14	企画展『富士川水運の300年』
5月	6	7	13	企画展『富士川水運の300年』 シンボル展『郷土史をのこした人々』
6月	2	0	2	シンボル展『郷土史をのこした人々』
7月	5	9	14	企画展『どうぶつ百景』
8月	4	15	19	企画展『どうぶつ百景』
9月	1	3	4	企画展『どうぶつ百景』 企画展『奈良大和路のみほとけ-令和古寺巡礼-』
10月	0	6	6	企画展『奈良大和路のみほとけ-令和古寺巡礼-』
11月	1	8	9	企画展『奈良大和路のみほとけ-令和古寺巡礼-』
12月	1	0	1	シンボル展『甲斐国分寺』
1月	7	0	7	シンボル展『甲斐国分寺』
2月	5	0	5	シンボル展『甲斐国分寺』
3月	1	8	9	特別展『武田勝頼 日本に隠れなき弓取』
合計	35	68	103	①

※5・6・12・1・2月の常設展人数は、シンボル展入場者も含む

2 教育センター視察人数

月別	常設展	企画展	月計	企画展・シンボル展名称
4月	1	3	4	企画展『富士川水運の300年』
5月	5	3	8	企画展『富士川水運の300年』 シンボル展『郷土史をのこした人々』
6月	0	0	0	シンボル展『郷土史をのこした人々』
7月	2	5	7	企画展『どうぶつ百景』
8月	15	12	27	企画展『どうぶつ百景』
9月	0	0	0	企画展『どうぶつ百景』 企画展『奈良大和路のみほとけ-令和古寺巡礼-』
10月	0	1	1	企画展『奈良大和路のみほとけ-令和古寺巡礼-』
11月	0	1	1	企画展『奈良大和路のみほとけ-令和古寺巡礼-』
12月	0	0	0	シンボル展『甲斐国分寺』
1月	0	0	0	シンボル展『甲斐国分寺』
2月	1	0	1	シンボル展『甲斐国分寺』
3月	0	0	0	特別展『武田勝頼 日本に隠れなき弓取』
合計	24	25	49	②

※5・6・12・1・2月の常設展人数は、シンボル展入場者も含む

3 校外学習の下見人数

月別	常設展	企画展	月計	企画展・シンボル展名称
4月	26	7	33	企画展『富士川水運の300年』
5月	12	0	12	企画展『富士川水運の300年』 シンボル展『郷土史をのこした人々』
6月	2	0	2	シンボル展『郷土史をのこした人々』
7月	17	8	25	企画展『どうぶつ百景』

月別	常設展	企画展	月計	企画展・シンボル展名称
8月	36	7	43	企画展『どうぶつ百景』
9月	3	0	3	企画展『どうぶつ百景』 企画展『奈良大和路のみほとけ-令和古寺巡礼-』
10月	1	1	2	企画展『奈良大和路のみほとけ-令和古寺巡礼-』
11月	2	0	2	企画展『奈良大和路のみほとけ-令和古寺巡礼-』
12月	2	0	2	シンボル展『甲斐国分寺』
1月	4	0	4	シンボル展『甲斐国分寺』
2月	1	0	1	シンボル展『甲斐国分寺』
3月	0	0	0	特別展『武田勝頼 日本に隠れなき弓取』
合計	106	23	129	③

※5・6・12・1・2月の常設展人数は、シンボル展入場者も含む

4 教員の研修

実施日	名 称	常設展	合 計
令和6年8月19日(月)	博物館を活用した授業づくり研修会	15	15

④

①+②+③+④	296
---------	-----

②授業の一環としての博物館利用

No.	来館日	学校名	人数(人)		No.	来館日	学校名	人数(人)	
			児童・生徒	引率				児童・生徒	引率
1	4月6日(土)	清泉女子大学	85	11	29	6月26日(水)	富沢小学校	15	2
2	4月25日(木)	南部中学校	11	1	30	6月28日(金)	石田小学校	50	5
3	4月30日(火)	増穂小学校	55	4	31	7月1日(月)	甲府東中学校	2	2
4	5月1日(水)	鰐沢中学校	15	4	32	7月8日(月)	日川高校	19	3
5	5月9日(木)	谷村第一小学校	47	3	33	7月19日(金)	山梨学院小学校	31	2
6	5月9日(木)	都留第一中学校	67	7	34	7月22日(月)	駿台甲府小学校	19	1
7	5月10日(金)	御勅使中学校	21	1	35	7月31日(水)	森のようちえんにっこにこ	8	3
8	5月10日(金)	敷島中学校	10	1	36	9月4日(水)	菱山小学校	10	2
9	5月10日(金)	高根中学校	3		37	9月5日(木)	笛吹高校	28	2
10	5月10日(金)	田富中学校	4		38	9月6日(金)	相川小学校	54	5
11	5月10日(金)	須玉中学校	2	2	39	9月9日(月)	甲府東小学校	53	4
12	5月10日(金)	市川南中学校	8	7	40	9月18日(水)	新紺屋小学校	24	4
13	5月11日(土)	成城大学	8		41	9月20日(金)	北新小学校	24	3
14	5月15日(水)	若草中学校	22	2	42	9月25日(水)	朝日小学校	24	2
15	5月15日(水)	櫛形中学校	8		43	10月2日(水)	教育支援センター陽だまり教室	10	5
16	5月15日(水)	押原中学校	35	2	44	10月3日(木)	下吉田第一小学校	30	4
17	5月16日(木)	加納岩小学校	53	4	45	10月4日(金)	鳴沢小学校	23	3
18	5月16日(木)	八田中学校	6		46	10月4日(金)	八王子市立由井中学校	10	5
19	5月17日(金)	白州中学校	12	4	47	10月9日(水)	羽黒小学校	56	6
20	5月17日(金)	小菅中学校		1	48	10月10日(木)	甘利小学校	51	4
21	5月30日(木)	甲西中学校	93	9	49	10月21日(月)	竜王西小学校	50	4
22	6月5日(水)	富士河口湖高校	160	10	50	10月24日(木)	増穂小学校	73	7
23	6月6日(木)	禾生第二小学校	39	4	51	10月25日(金)	奥野田小学校	32	5
24	6月6日(木)	山梨学院高校	41	4	52	10月31日(木)	葦崎小学校	44	4
25	6月7日(金)	下山小学校	10	2	53	11月1日(金)	駿台中学校	12	
26	6月12日(水)	玉諸小学校	105	7	54	11月1日(金)	葦崎北東小学校	59	4
27	6月14日(金)	早川南小学校	17	10	55	11月1日(金)	大国小学校	58	5
28	6月19日(水)	後屋敷小学校	44	6	56	11月11日(月)	笛吹市教育支援センターステラ	10	5

No.	来館日	学校名	人数(人)		No.	来館日	学校名	人数(人)	
			児童・生徒	引率				児童・生徒	引率
57	11月14日(木)	上野小学校	26	3	63	1月9日(木)	上野原西中学校美術部	14	3
58	11月14日(木)	善誘館小学校	33	4	64	1月31日(金)	白根源小学校特別支援学級	8	3
59	11月15日(金)	貢川小学校	66	5	65	2月20日(木)	身延小学校	23	3
60	12月5日(木)	押原中学校	12	7	66	3月6日(木)	石和南小学校	29	3
61	12月11日(水)	あけぼの支援学校	2	2	小計			2,139	233
62	12月13日(金)	長坂小学校	66	4	総計				2,372

③出前授業

■実施一覧

	実施日	主催	内容	担当職員	人数(人)
1	令和6年10月16日(水)	山梨市立加納岩小学校	かわる道具と暮らし	石神 孝子・丸尾 依子・熊谷 悠哉	62
2	令和6年10月28日(月)	甲斐市立竜王東小学校	昔から今へと続くまちづくり	茶園 紘己	45
3	令和6年12月12日(木)	甲府市立千塚小学校	かわる道具と暮らし	石神 孝子・丸尾 依子・熊谷 悠哉	53
4	令和7年1月17日(金)	甲府市立大里小学校	わたしたちの市の歩み・かわる道具と暮らし	石神 孝子・丸尾 依子・熊谷 悠哉	81
5	令和7年1月27日(月)	駿台甲府小学校	市のうつりかわり・道具と暮らしのうつりかわり	丸尾 依子・千原 鴻志・熊谷 悠哉	74
6	令和7年2月5日(水)	市川三郷町立市川小学校	ほり進めて刷り重ねて 版に表す	石神 孝子・丸尾 依子・松田 美沙子・熊谷 悠哉	52
7	令和7年2月10日(月)	甲府市立玉諸小学校	かわる道具と暮らし	石神 孝子・丸尾 依子・熊谷 悠哉	126
8	令和7年2月13日(木)	甲府市立羽黒小学校	かわる道具と暮らし・ふるさと羽黒の今昔	丸尾 依子・千原 鴻志・熊谷 悠哉	67
9	令和7年2月19日(水)	笛吹市立御坂東小学校	かわる道具と暮らし	石神 孝子・丸尾 依子・熊谷 悠哉	9
10	令和7年3月6日(木)	笛吹市立石和南小学校	かわる道具と暮らし	石神 孝子・丸尾 依子・熊谷 悠哉	30

出前授業利用合計人数 599人

④教育センター・その他の団体との連携

■実施一覧

	実施日	主催	会場	内容	担当職員	人数(人)
1	令和6年8月19日(月)	山梨県総合教育センター 山梨県立博物館 共催	山梨県立博物館	博物館を活用した授業づくり研修会	熊谷 悠哉	15
2	令和6年10月11日(金)	山梨県総合教育センター	山梨県総合教育センター	初任者研修 博学連携研修会	熊谷 悠哉	56

⑤職場体験

■実施一覧

	実施日	学校名	学年	人数(人)
1	令和6年5月16日(木)～5月17日(金)	小菅村立小菅中学校	2	1
2	令和6年7月22日(月)	甲府市立東小学校	2	2
3	令和6年7月24日(水)	笛吹市立御坂中学校	2	5
4	令和6年7月25日(木)～7月26日(金)	山梨県立山梨高等学校	2	1
合計			4校	9名

⑥「山梨の未来を描こう」募集

■『山梨の未来を描こう』応募数

校種	学校数(校)	人数(人)
小学校	25	102
中学校	3	54
合計	28校	156人

⑦貸出教材(ミュージアム・キット等)

	貸出期間	貸出機関	教材名	学年	教科等
1	令和6年4月15日(月)～4月22日(月)	上野原市立上野原西小学校	修学旅行事前学習資料	6学年	総合的な学習の時間・社会科
2	令和6年4月15日(月)～4月22日(月)	甲府市立里垣小学校	修学旅行事前学習資料	6学年	総合的な学習の時間・社会科
3	令和6年4月17日(月)～4月24日(月)	甲府市立玉諸小学校	修学旅行事前学習資料	6学年	総合的な学習の時間・社会科
4	令和6年4月21日(日)～5月9日(木)	大月市立鳥沢小学校	旅姿キット	6学年	総合的な学習の時間
5	令和6年4月24日(水)～5月1日(水)	甲府市立北西中学校	火縄銃	2学年	社会科
6	令和6年5月1日(水)～5月8日(水)	笛吹市立石和東小学校	修学旅行事前学習資料	6学年	総合的な学習の時間・社会科
7	令和6年5月18日(土)～5月25日(土)	山梨県立かえて支援学校	戦国時代キット	中学部1学年	生活単元学習
8	令和6年9月16日(月)～9月26日(木)	山梨県立富士見支援学校	戦国時代キット 江戸時代キット 旅姿キット	小学部6学年	社会科
9	令和6年9月28日(土)～10月12日(土)	南アルプス市立八田中学校	木簡セット かいじあむ歴史かみしばい(木簡)	1学年	社会科
10	令和6年11月4日(月)～11月9日(土)	笛吹市立八代小学校	石臼	3学年	国語科
11	令和7年2月10日(月)～2月13日(木)	山梨大学教育学部付属特別支援学校	石臼	小学部5・6学年	生活単元学習
12	令和7年3月15日(土)～3月22日(土)	甲斐市立竜王西小学校	修学旅行事前学習資料	5学年	総合的な学習の時間・社会科
小計(小・中学校)					9
小計(高等学校・特別支援学校)					3
小計(その他)					0
総計					12

⑧大学教育との連携

i 学芸員実習

【期 間】令和6年8月9日(金)から同年8月17日(土)まで(計8日間)

【受け入れ人数】11人(男6人、女5人)

【実習生所属大学】

- ・山梨大学、青山学院大学、立教大学、都留文科大学、身延山大学、帝京大学、大阪芸術大学
桜美林大学、筑波大学、明星大学、城西国際大学

【主な実習内容】

- ・県立博物館の概要や使命、設置目的、役割などについての概説と施設見学
- ・学芸員が行う調査・研究、展示、資料保存など各業務についての分野別講義及び実習
- ・企画交流事業について講義及び実習
- ・展示実務実習
- ・県立博物館職員との意見交換

ii 大学非常勤講師の受託

担当職員	大学名(科目)	期 間
近藤 暁子	中央大学(日本美術史、博物館実習)	令和6年4月1日(月)～令和6年9月19日(木)
小畑 茂雄	山梨大学(博物館概論・博物館展示論)	令和6年10月1日(火)～令和7年3月31日(月)
丸尾 依子	成城大学(博物館実習(民俗学)) 大正大学(民俗学概論)	令和6年4月1日(月)～令和7年3月31日(月) 令和6年9月1日(日)～令和7年2月28日(金)
海老沼真治	身延山大学(博物館情報・メディア論、博物館経営論)	令和6年4月1日(月)～令和7年3月31日(月)
松田美沙子	慶應義塾大学(博物館実習)	令和6年10月1日(火)～令和7年3月31日(月)
中野 賢治	山梨県立大学(日本の歴史) 都留文科大学(博物館資料論)	令和6年4月1日(月)～令和6年9月30日(月) 令和6年10月1日(火)～令和7年3月31日(月)

(3) 博物館同士のネットワーク

①ミュージアム甲斐・ネットワーク

i ミュージアム甲斐・ネットワーク会議

■令和6年度総会

日時：令和6年5月23日(木)

場所：生涯学習室

内容：令和6年度夏休み自由研究プロジェクトについて

■博物館を活用した夏休み自由研究プロジェクト

【合同プレゼンテーション】

日時：令和6年7月15日(月・祝) 午後1時30分～4時30分

場所：アイメッセ山梨

参加者数：814名

参加館数：18館

【ミニブック配布】

配布及びホームページでのダウンロード期間：令和6年7月15日(月・祝)～8月31日(土)

参加館数：45館

配布場所：各館、合同プレゼン会場

【動画配信】

配信期間：令和6年7月15日(月・祝)～8月31日(土)

参加館数：8館

【自由研究なんでも質問箱】

質問受付期間：令和6年7月15日(月・祝)～8月23日(金)

質問数：2件

■令和6年度講習会

日時：令和7年3月6日(木)

場所：生涯学習室

内容：博物館・文化財に対する災害への対応

講師・報告者：西山隆氏(山梨県防災局防災対策専門監)

長谷川哲也氏(甲斐市教育委員会主査)

茶園紘己(当館学芸員)

(4) 広報

年3回の「かいじあむ通信 Kai(交い)」の発行や、企画展・シンボル展のチラシ・ポスター、山梨県広報誌より「ふれあい」、県政テレビ放送、県政ラジオ放送、SNS等の各種媒体を用いて広報に努めた。

■かいじあむ通信 Kai(交い)一覧

誌名	発行年月日
かいじあむ通信 Kai(交い) 夏休み特別号	令和6年6月21日
かいじあむ通信 Kai(交い) 第60号	令和6年8月23日
かいじあむ通信 Kai(交い) 第61号	令和7年2月14日

第6章 施設の整備・管理

(1) 安全快適な施設づくり

県立博物館では、山梨の歴史や文化について、人々が快適に学ぶ環境を整えるために、安全かつ快適な施設・整備の管理に努めている。

■防災訓練等非常時における対応訓練の実施

県立博物館では、来館者の安全を守るための避難誘導や初期消火等を円滑に進めることを目的に、職員を対象に訓練を実施している。

・防災訓練

回数	開催日	内容
第1回	令和6年9月13日(金)	<ul style="list-style-type: none"> ・火災を想定した常設展示室からの総合防災訓練 ・大規模な地震を想定した総合避難訓練 ・避難経路・消防設備等の確認

(2) 施設開放

県立博物館は開かれた博物館を目指し、施設の一部を一般に開放している。その利用状況は次のとおりである。

年月	生涯学習室		交流室	
	利用人数(人)	利用金額(円)	利用人数(人)	利用金額(円)
令和6年4月	0	0	21	480
5月	22	2,400	13	1,800
6月	20	8,000	17	1,320
7月	12	1,320	4	480
8月	29	1,410	18	1,200
9月	0	0	0	0
10月	0	0	38	1,800
11月	118	11,200	8	720
12月	132	11,200	15	960
令和7年1月	0	0	7	360
2月	0	0	7	360
3月	0	0	12	960
計	333	35,530	160	10,440

※利用人数は「利用月」、利用金額は「収入手続を行った月」で集計している。

※令和7年1月から3月までの間、排煙口工事のため生涯学習室の利用制限を実施。

第7章 情報の発信と公開

(1) 資料閲覧室の利用状況

資料閲覧室は、博物館展示をとおして利用者が持った歴史等に対する探求心や日常の学習意欲に応えるための資料・情報を提供するとともに、研究者、学芸員等の調査研究に必要な文献を的確に収集・整備し、その研究活動を支援する役割を担う。

■利用時間

- ・ 9:00から17:00
書庫内資料の請求、複写申込は16:30まで
即日閲覧資料の請求は、15:00まで
- ・ 入室は無料

■資料検索

- ・ 資料閲覧室内の利用者端末(2台)により収蔵資料、図書・雑誌等の書誌情報の検索が可能となっている。フリーワード検索では、資料名、作者名、発行者名などの一部からも検索ができる。
- ・ ホームページの収蔵資料案内からも同様に検索が行える。

■資料閲覧

- ・ 図書、雑誌は来館者が自由に閲覧できる。室内には各分野の辞典類、主な歴史分野の図書、逐次刊行物、『山梨県史』や県内市町村史誌類など郷土研究に関する資料等、約3,300冊が配架されている。書庫内の図書資料も職員に請求することにより、閲覧が可能である。
- ・ 収蔵資料のうち、県立図書館から移管した古文書・古記録等の一部は即日閲覧可能である。
- ・ 「甲州文庫」の画像データや古文書のマイクロフィルムは資料閲覧室内の端末で即日閲覧できる。
- ・ 即日閲覧対象外の原資料については、「歴史資料等閲覧申請書」により事前に申し込み、職員の立会いのもと所定の日時・場所で閲覧できる。

■資料撮影

- ・ 原資料についての撮影は、「歴史資料等撮影申請書」により事前に申し込み、許可された場合は、「歴史資料等撮影決定通知書」に従い、職員の立会いのもと所定の日時・場所で行う。

■レファレンスサービス

- ・ 質問や調査事項に応じて、参考資料や文献を紹介し、利用者の調査・研究活動の援助を行っている。専門的な質問については、必要に応じて学芸員が調査・研究の成果に基づき回答している。

■コピーサービス(有料)

- ・ 著作権法に基づき、博物館所蔵の図書・雑誌等の活字資料、「甲州文庫」等のデジタル化・マイクロ化資料の複写サービスを行っている。

■展示関連図書紹介

- ・ 当館で開催する企画展・シンボル展への関心や理解を更に深めてもらうために、期間中資料閲覧室内に関連図書の紹介コーナーを設けている。

■キッズライブラリー

- ・ 山梨発見エリア内のキッズライブラリーには、小・中学生向けの歴史関係や自然観察の図書、幼児のための絵本などを揃えている。

■ビデオライブラリー

- ・ 山梨発見エリア内のビデオブース(2台)では、歴史・文化財に関するビデオ・DVDなどを視聴することができる。

■令和6年度資料閲覧室利用状況

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	累計	
入室者	214人	196人	139人	156人	276人	185人	233人	328人	81人	186人	123人	337人	2,454人	
ビデオ利用	48件	56件	42件	60件	77件	67件	44件	36件	3件	12件	1件	35件	481件	
レファレンス	レファレンス	14件	15件	13件	23件	27件	21件	27件	16件	11件	19件	10件	17件	213件
	利用相談	26件	18件	18件	13件	13件	13件	31件	20件	9件	15件	15件	17件	208件
	小計	40件	33件	31件	36件	40件	34件	58件	36件	20件	34件	25件	34件	421件
複写	件数	15件	19件	22件	9件	24件	23件	39件	23件	6件	14件	19件	22件	235件
	電子式	45枚	112枚	127枚	60枚	123枚	913枚	279枚	128枚	88枚	335枚	86枚	441枚	2,737枚
	マイクロ、デジタル	341枚	40枚	2326枚	22枚	297枚	66枚	2018枚	62枚	66枚	439枚	104枚	1298枚	7,079枚
	小計	386枚	152枚	2453枚	82枚	420枚	979枚	2297枚	190枚	154枚	774枚	190枚	1739枚	9,816枚
キッズライブラリー利用	320人	295人	204人	451人	866人	383人	347人	389人	112人	230人	187人	446人	4,230人	



展示関連図書紹介「シンボル展 甲斐国分寺」

期間：令和6年12月21日(土)～令和7年2月24日(月)

(2) 博物館総合情報システム

山梨県立博物館は、山梨の歴史や文化・産業など広範な分野にわたる膨大な資料情報を一元的に管理し、効率的な博物館運営を行うため、博物館総合情報システムを導入している。このシステムの活用によって広く館内外に情報発信を行い、県民の山梨の歴史に関する興味を喚起し、多くの人に親しまれる「開かれた博物館」が実現することを目的としている。平成29年度にシステムの入替を行い、令和6年度に更新した。このシステムは、以下の3つのシステムから構成される。

■データベースシステム

博物館資料の管理システムとして、収蔵資料・図書資料等に関する各種情報を一元的に管理、検索、閲覧するためのシステムである。資料の目録情報、受入情報、付随する画像情報、レファレンス情報、地域情報、また閲覧・撮影・展示業務の情報管理も行っている。

■利用者公開システム

データベースシステムで管理されている情報を、館内外で情報発信を行うシステムである。館内では、資料閲覧室における収蔵資料・図書情報の検索端末の設置、地域インデックスにおける地域情報端末での各種県内情報の発信をしている。館外では、博物館ホームページにおける収蔵資料・図書情報・レファレンス情報などの提供を行っている。

■ネットワークシステム

情報処理室には各種サーバが設置され、そこを拠点に館内にはLANが張り巡らされている。インターネットへは情報処理室から隣接する総合教育センターを経由して接続されている。館内各システムをネットワークで相互に接続し、情報の連携を図っている。

(3) 博物館ホームページ

平成17年10月1日よりホームページの公開を開始し、展示案内・イベント案内等各種情報を公開し、随時更新している。

■ホームページの主な更新履歴

令和6年11月25日 累計アクセス数200万件を突破。

■「収蔵資料案内」ページの更新

収蔵資料・図書・レファレンスの検索を行うことができるページを、随時更新している。

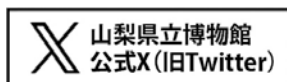
■検索可能件数(令和7年3月31日現在)

- ・歴史資料等 85,379件
- ・図書類 55,204件
- ・レファレンス事例 509件

PC向けURL：<http://www.museum.pref.yamanashi.jp/>

携帯電話向けURL：<http://www.museum.pref.yamanashi.jp/mb>

公式X(旧ツイッター)URL：https://x.com/kaiseum_ypm



■アクセス件数(アクセスカウンタによる数値)

年 月	件数/月	1日平均	昨年度件数
令和6年4月	12,771	434	11,032
5月	12,652	417	12,964
6月	11,753	396	10,977
7月	19,667	655	19,152
8月	22,939	754	23,706
9月	17,374	607	14,708
10月	15,593	504	14,035
11月	14,093	470	12,074
12月	6,834	302	6,720
令和7年1月	14,464	392	13,241
2月	12,518	532	13,596
3月	16,269	610	13,302
合 計	176,927	506	165,507

Xフォロワー数 (令和7年3月31日現在)	5,832
--------------------------	-------

第8章 県民参画

(1) NPOとの連携

県民参画事業としてNPO法人と協働して「かいじあむ検定」と「わいわいミュージアム・エバリュエーションツアー」を実施した。

「かいじあむ検定」では秋期企画展「奈良大和路のみほとけー令和古寺巡礼ー」と関連した①山梨県立図書館でのミニ展示を実施。山梨県立図書館では、②冬期シンボル展「甲斐国分寺」のミニ展示も実施した。また、シンボル展「甲斐国分寺」会期中に③ゆかりの地ツアーを実施した。

①では秋期企画展「奈良大和路のみほとけー令和古寺巡礼ー」の展示内容や資料をわかりやすく解説したガイドブックを作成し、それをもとに展示資料をパネルで紹介した。「わいわいミュージアム・エバリュエーションツアー」で実施した博物館の通信簿の回答に「ミニ展示を見て来館した」という記述もあり、多くの方が興味を抱く一助になった。ミニ展示では、博物館外で展覧会の概要や展示資料を紹介することで博物館の展示の内容や見どころを知ってもらい実際に足を運んでもらう契機となった。今後は会場を県立図書館に固定せず、県内各地の図書館などでも展示したり、展示会会期中に展示ゆかりの市町村図書館に巡回展示を実施したりすることも検討していきたい。

②については、山梨県で最初の国史跡に指定された「甲斐国分寺跡」の展示内容を解説したガイドブックを作成し、展示資料をパネルで紹介した。開催中のシンボル展の魅力を伝えるとともに、博物館を訪れたことのない人にも興味を持っていただき、ガイドブックは例年より多く配布できた。

③のゆかりの地ツアーでは、笛吹市春日居郷土館を出発し甲斐国で最も古い寺院とされる寺本廃寺の遺構や周辺の遺跡を巡った。甲斐国分寺との関連などや発掘調査の様子、また周辺の文化財である辻保順の墓や高倉宮などの解説を受けることにより、地域の歴史にも触れることができた。実際に現地を歩くことで遺構の大きさや地形的な背景などを知ることができ、展覧会の内容だけでなくその関連遺構にも目を向け、展示や地域の歴史・文化により深い理解に繋がったと思われる。

「わいわいミュージアム・エバリュエーションツアー」は、①利用者とともに県立博物館を評価する「通信簿ツアー」、②博物館利用者との対話から博物館の魅力を発見していく改善ワークショップ「50年後に語り継ぎたい山梨の宝もの」を実施した。

①については、第Ⅰ編第2章を参照。

②「50年後に語り継ぎたい山梨の宝もの」では①の「通信簿ツアー」やホームページ、チラシで参加者を募り実施した。具体的な内容としては、参加者が各自常設展示室を見学し「50年後に語り継ぎたい宝もの」を探し、プレゼン用紙にその資料を選んだ理由と絵を描いた。その後、常設展示室に戻り選んだ資料を前にして発表をし合った。

各自の視点から博物館の魅力を発見するとともに絵に描いたり他者にその魅力を伝えたりすることを通じて、その展示について細部まで観察し、より深く理解することにつながった。改善ワークショップ終了後には、描かれたプレゼン用紙をまとめてポスターサイズにし、エントランスに掲示し、成果の公表と来館者に資料をみる時の参考にした。

①かいじあむ検定

実施日	事業名	開催場所	参加人数(人)
令和6年11月11日(水)～ 同年12月4日(水)まで	企画展「奈良大和路のみほとけー令和古寺巡礼ー」の紹介をするミニ展示	山梨県立図書館	270
令和7年1月23日(木)～ 同年2月5日(水)まで	シンボル展「甲斐国分寺」の紹介をするミニ展示	山梨県立図書館	250
令和7年2月9日(日)	シンボル展「甲斐国分寺」ゆかりの地ツアー	笛吹市春日居郷土館とその周辺	34
参加者数合計			554人

②わいわいミュージアムエバリュエーションツアー

実施日	事業名	開催場所	参加人数(人)
令和6年11月11日(月)～ 同年11月16日(土)まで	通信簿ツアー	山梨県立博物館	338
令和7年1月26日(日)	改善ワークショップ	山梨県立博物館	17
参加者数合計			355人

※委託先のNPO法人については、両事業とも令和6年7月29日(月)にNPO法人「つなぐ」と委託契約を結んだ。

(2) 博物館協力会(ボランティア)との連携

当館におけるボランティア活動は、原則として山梨県立博物館協力会員によるものである。令和6年度の会員数は61名であった。

山梨県立博物館協力会は、県立博物館のさまざまな活動を支えるボランティア組織である。①季節ごとのお祭りや各種イベントの補助、②屋外展示である古代の畠の維持管理、③古文書などの資料整理、④広報物発送の補助、⑤ミュージアムショップの運営などを中心に活動している。

令和6年度山梨県立博物館協力会の主たる活動は次のとおりである。

■令和6年度の協力会の活動

実施日	曜日	内容	出席者数	体験者 来館者数	備考
4月5日	(金)	子ども工房研修	2		「足半ぞうりを作ろう」
4月13日	(土)	子ども工房	3	8	「足半ぞうりを作ろう」
4月18日	(木)	古文書整理作業	9		
4月17日	(水)	常設展展示替解説	1		「ジャブジャブ?カラカラ?やまなしの水と人々」
4月20日	(土)	お庭のガイドツアー	4	12	
5月1日	(水)	子どもまつり準備・研修	8		
5月4日	(土)	かいじあむ子どもまつり	7	247	
5月5日	(日)	かいじあむ子どもまつり	8	217	
5月9日	(木)	子ども工房研修	2		「ペーゴマを回そう」
5月11日	(土)	子ども工房	2	14	「ペーゴマを回そう」
5月15日	(水)	発送作業	6		シンボル展「郷土史をのこした人々」
5月18日	(土)	お庭のガイドツアー	6	10	
5月24日	(金)	シンボル展展示替解説	2		シンボル展「郷土史をのこした人々」
5月25日	(土)	第1回協力会運営委員会	5		
6月3日	(月)	子ども工房研修	3		「浮世絵を摺ってみよう」
6月8日	(土)	子ども工房	4	14	「浮世絵を摺ってみよう」
6月13日	(木)	古文書整理作業	5		
6月15日	(土)	山梨県立博物館協力会総会	19		
6月15日	(土)	お庭のガイドツアー	4	10	
6月19日	(木)	常設展展示替解説	0		「歴史のなかの生きものたち」
6月17日	(月)	発送作業	5		企画展「どうぶつ百景」
6月17日	(月)	一閑張り作り研修	7		
6月19日	(水)	ミュージアムショップレジ研修	8		新規レジ購入にあたっての操作研修
6月24日	(月)	発送作業	5		kai夏休み特別号
7月4日	(木)	子ども工房研修	2		「綿で羊を作ろう」
7月13日	(土)	子ども工房	2	21	「綿で羊を作ろう」
7月13日	(土)	企画展展示替解説	0		企画展「どうぶつ百景」
7月15日	(月)	夏休み自由研究プロジェクト	0	814	会場はアイメッセ
7月20日	(土)	お庭のガイドツアー	2	7	

実施日	曜日	内容	出席者数	体験者 来館者数	備考
7月22日	(月)	ショップ委員会	4		
8月1日	(木)	子ども工房研修	2		「とんだりはねたりに作ろう」
8月8日	(木)	夏まつり研修	0		「まゆ玉で動物作り」
8月8日	(木)	古文書整理作業	5		
8月10日	(土)	子ども工房	2	10	「とんだりはねたりに作ろう」
8月11日	(日)	小江戸甲府の夏まつり	0	56	会場は甲府城
8月13日	(火)	かいじあむの夏まつり準備作業	8		
8月14日	(水)	かいじあむの夏まつり	9	455	
8月15日	(木)	かいじあむの夏まつり	8	429	
8月17日	(土)	お庭のガイドツアー	4	7	
8月21日	(水)	常設展展示替解説	1		「資料でめぐる山梨の旅」
8月28日	(水)	発送作業	9		企画展「奈良大和路のみほとけー令和古寺巡礼ー」
9月9日	(月)	子ども工房研修	2		「藍の生葉染め」
9月14日	(土)	子ども工房	3	20	「藍の生葉染め」
9月21日	(土)	お庭のガイドツアー	1	4	
9月27日	(金)	企画展展示解説	2		企画展「奈良大和路のみほとけー令和古寺巡礼ー」
10月7日	(月)	子ども工房研修	2		「粘土で仏像を作ろう」
10月10日	(木)	古文書整理作業	5		
10月12日	(土)	子ども工房	2	5	「粘土で仏像を作ろう」
10月19日	(土)	お庭ガイド	1	6	
10月23日	(水)	常設展展示替解説	0		「満腹!万福!やまなしの豊かな食文化」
10月26日	(土)	第2回協力会運営委員会	8		
11月7日	(木)	子ども工房準備	2		「ころ柿を作ろう」
11月9日	(土)	子ども工房	2	32	「ころ柿を作ろう」
11月18日	(月)	かいじあむの秋まつり準備作業	7		
11月16日	(土)	お庭のガイドツアー	3	11	
11月20日	(水)	かいじあむの秋まつり	8	359	
11月22日	(金)	発送作業	9		シンボル展「甲斐国分寺」
11月26日	(火)	ミュージアムショップ企画展 関連商品撤収作業	1		
12月7日	(土)	館外研修	14		ふるさと文化伝承館・史跡御勅使川旧堤防・ロタコ (御勅使川飛行場跡・古長禅寺・Fumotto)
12月11日	(水)	子ども工房研修	0		「小正月のまゆ玉団子をつくろう」
12月11日	(水)	常設展展示替解説	0		「招福!かいじあむのお正月」
12月12日	(木)	古文書整理作業	6		
12月21日	(土)	お庭のガイドツアー	2	9	
12月21日	(土)	シンボル展展示解説	0		シンボル展「甲斐国分寺」
1月2日	(木)	かいじあむのお正月	6		
1月3日	(金)	かいじあむのお正月	6		
1月11日	(土)	子ども工房	3	7	「小正月のまゆ玉団子をつくろう」
1月18日	(土)	お庭のガイドツアー	3	10	
1月27日	(月)	お手玉づくり研修	11		
2月3日	(月)	子ども工房研修	0		「まゆ玉クラフトでおひなさまを作ろう」
2月8日	(土)	子ども工房	1	4	「まゆ玉クラフトでおひなさまを作ろう」
2月13日	(木)	古文書整理作業	6		
2月15日	(土)	協力会運営委員会	6		第3回運営委員会
2月15日	(土)	お庭のガイドツアー	3	8	
2月17日	(月)	発送作業	10		特別展「武田勝頼 日本に隠れなき弓取」・kai61号
2月19日	(水)	常設展展示替解説	0		「山梨の春は、桃と桜と信玄公」
2月20日	(木)	子ども工房研修	2		「紙すきをしよう」
3月8日	(土)	子ども工房	4	13	
3月15日	(土)	企画展展示解説	4		特別展「武田勝頼 日本に隠れなき弓取」
3月15日	(土)	お庭のガイドツアー	4		
通年		畑作業	135		
通年		ショップ	164		
合 計			631	2,819	



古文書整理作業（隔月に一度実施）



かいじあむのお正月（1月2日、3日）



お庭ガイド（毎月第3土曜日実施）



子ども工房準備（子ども工房：毎月第2土曜日実施）

第9章 組織・人員

(1) 職員の資質向上

展示交流員研修一覧

日 時	内 容
令和6年9月13日(金)	自衛防災訓練に関する研修・接遇研修

(2) 附属機関

①山梨県立博物館運営委員会

i 委員名簿(50音順、敬称略)

氏 名	勤務先・役職等
相沢 季里	元山梨県立白根高等学校校長
市川 美季	行政経験者
大隅 清陽	山梨大学教授
笹本 正治	長野県立歴史館特別館長
末木 健	山梨県考古学協会名誉会長
中山 誠二	南アルプス市ふるさと文化伝承館館長、帝京大学客員教授

ii 運営委員会の検討状況

■第56回運営委員会

日 時：令和6年6月14日(金)

検討内容：令和8年度の企画展、令和7年度のシンボル展について
令和7年度の新規研究計画について

■第57回運営委員会

日 時：令和7年2月20日(木)

検討内容：令和8年度のシンボル展について
20周年記念事業について
韓国清州博物館との交流展示に関して

②山梨県立博物館資料・情報委員会

第Ⅱ編第3章で詳述。

③みんなでつくる博物館協議会

i 委員名簿(50音順、敬称略)

氏名	勤務先・役職等	任期
一瀬 栄政	市川小学校校長	令和5年11月1日から令和7年10月31日
浅川 初美	元山梨放送アナウンサー	令和5年11月1日から令和7年10月31日
安達 義通	山梨県立大学教授	令和5年11月1日から令和7年10月31日
北原 対馬	山梨銘醸株式会社代表取締役	令和5年11月1日から令和7年10月31日
工藤 麻子	忍野児童館	令和5年11月1日から令和7年10月31日
鞍打 大輔	農山村の元気づくり専門家	令和5年11月1日から令和7年10月31日
佐野 隆	NPO茅ヶ岳歴史文化研究所	令和5年11月1日から令和7年10月31日
白井 秀典	きっかけデザイン研究所代表	令和5年11月1日から令和7年10月31日
出澤 忠利	(株)印傳屋上原勇七総務部長	令和5年11月1日から令和7年10月31日
戸田 達昭	シナプテック(株)代表	令和5年11月1日から令和7年10月31日
中原 優子	寺子屋プロジェクト事務局	令和5年11月1日から令和7年10月31日
成澤 治子	甲府市役所	令和5年11月1日から令和7年10月31日
古屋 真弘	浅間神社宮司	令和5年11月1日から令和7年10月31日
宮川 隆明	(一社)日本旅行業協会関東支部山梨地区委員会委員長	令和5年11月1日から令和7年10月31日
山下ゆかり	木創りの宿きこり女将	令和5年11月1日から令和7年10月31日

ii みんつく検討状況

■令和6年度第1回みんつく協議会 第1回全体会議

日時：令和6年5月15日(水)

検討内容：令和6年度のスケジュールについて

県民参画事業の概要と令和5年度事業報告について

令和6年度県民参画事業の計画について

令和7年度以降の県民参画事業について

■令和6年度第2回みんつく協議会 第1回分科会

日時：令和6年8月9日(金)

内容：今後の県民参画事業のあり方について

第10章 外部支援と連携

(1) 外部支援

■外部資金で得た調査・研究

第Ⅱ編第2章(1)で詳述

■委員等の受託

担当職員	役職	主管	委嘱期間
近藤 暁子	甲州市文化財審議委員	甲州市教育委員会	令和5年4月1日～令和7年3月31日
近藤 暁子	韭崎市民俗資料館運営審議会委員	韭崎市教育委員会	令和5年11月13日～令和7年11月12日
近藤 暁子	韭崎市文化財審議会委員	韭崎市教育委員会	令和6年4月1日～令和7年3月31日
近藤 暁子	富士河口湖町史編纂委員会委員	富士河口湖町教育委員会	令和6年4月1日～令和8年3月31日
近藤 暁子	公益財団法人やまなみ文化基金助成事業選考委員会委員	公益財団法人やまなみ文化基金	令和6年4月1日～令和8年3月31日
近藤 暁子	小江戸甲府の夏祭り実行委員会委員	甲府市産業部	令和6年7月22日～令和7年3月31日
近藤 暁子	笛吹市文化施設の在り方に関する検討委員会委員	笛吹市総合政策部	令和6年8月28日～令和7年3月31日
丸尾 依子	甲斐市文化財保護審議会審議員	甲斐市教育委員会	令和6年4月1日～令和8年3月31日
丸尾 依子	甲斐市歴史文化資産拠点施設整備検討委員会	甲斐市教育委員会	令和5年11月22日～令和7年10月31日
丸尾 依子	甲府市文化財審議員	甲府市教育委員会	令和5年4月1日～令和8年3月31日
丸尾 依子	南アルプス市文化財審議員	南アルプス市教育委員会	令和5年4月1日～令和8年3月31日
丸尾 依子	天津司舞調査報告書作成委員	甲府市教育委員会	令和5年4月1日～令和8年3月31日
松田美沙子	都留市文化財審議会委員	都留市教育委員会	令和6年7月1日～令和8年6月30日

(2) 外部との連携

東日本大震災を経た平成24年度、有形無形の文化財資源の保存と活用に努めるという共通の目的を持つ人文系博物館の相互の交流と連携を図ることを目指し、全国歴史民俗系博物館協議会(歴民協)が設立された。

令和6年度は、7月4日(木)～5日(金)に令和6年度(第10回)年次集会、幹事館会が国立歴史民俗博物館(千葉県佐倉市)にて開催され、2名の職員が参加した。

(3) 山梨近代人物館・世界遺産センターの展示協力

平成27年度に開館した山梨近代人物館及び平成28年度に開館した富士山世界遺産センターの展示等に当たっては、資料貸出や当館学芸員による展示作業、講座等で全面的に協力している。

■山梨近代人物館での展示事業

- ・第19回展示「やまなしはじめて人物博覧会」

令和6年3月28日(木)から9月16日(月・祝)まで開催。

本展においては、山梨や日本で最初の事業に挑戦した人物たちを中心に紹介し、関連展示をおこなった。展示準備作業のほか、同館教育普及事業として開催された講座「やまなしはじめて人物伝」(7月27日(土)開催)に講師を派遣した。

なお、本展においては、山梨中銀金融資料館、山梨日日新聞社および個人の方から資料の出品の協力をいただいた。

・第20回展示「江戸から明治へ―転換期を生きた人々―」

令和6年9月20日(金)から令和7年4月1日(火)まで開催。

近世から近代への転換期のなかで、人々が新たな時代へどのように対応したかを中心に紹介した。展示を通じ、大名のいない甲斐国ゆえに民間の意志と力が育まれた点や、甲府における近江商人の活躍へ注目するなど、「山梨らしさ」を多様な視点から読み解き紹介する構成とした。

展示のほか、同館教育普及事業として開催された講座「人物史からみえる山梨―山梨近代人物館10年のあゆみ―」(3月23日(日)開催)に講師を派遣し、同館が閉館することに鑑み、同館の展示を紹介するギャラリートーク(1～3月の教育普及講座開催後、および1月24日(金)、2月12日(水)、3月30日(日)開催)も実施した。

なお、資料の出品にあたっては甲府市教育委員会、南部町立美術館、山梨県立文学館および個人の方から資料の出品のご協力をいただいた。

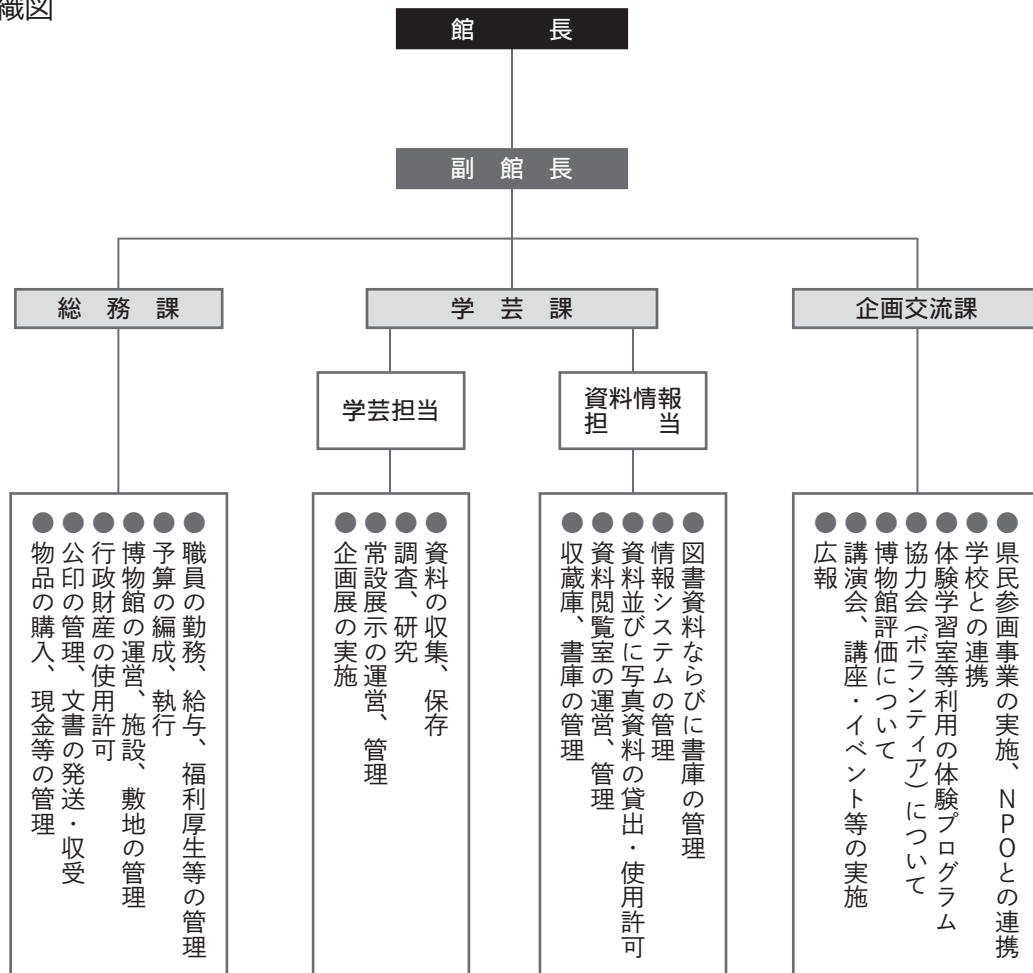


営業最終日の展示室とスタッフ

第Ⅲ編 各種資料

1 組織・職員等名簿

■組織図



■附属機関

- ・運営委員会
 - 博物館運営全般の専門的指導
 - 企画展テーマ等に関する協議
 - 共同調査、研究テーマ等に関する協議
- ・資料・情報委員会
 - 資料収集の適否の審議
 - 資料・情報の収集方針の検討
 - 資料・情報の活用計画検討
- ・みんなでつくる博物館協議会
 - 利用者の立場からの博物館運営の検討
 - 博物館評価制度の検討

■附属機関及び職員名簿

●山梨県立博物館運営委員会委員

第Ⅱ編第9章(2)参照

●山梨県立博物館資料・情報委員会委員

第Ⅱ編第3章(1)参照

●みんなでつくる博物館協議会

第Ⅱ編第9章(2)参照

●博物館職員(R7.3.31現在)

館長	守屋 正彦
副館長	岡田 孝秀
総務課	
課長	前田正一郎
主査	稲田 正徳
主事	小野昂一郎
会計年度任用職員	齊藤 敏
会計年度任用職員	黒澤 和美
会計年度任用職員	古屋恵里佳
会計年度任用職員	齋藤 正雄
会計年度任用職員	松野 美波
会計年度任用職員	今福 一仁
会計年度任用職員	岩間しのぶ
会計年度任用職員	田口 美加
会計年度任用職員	元谷 留美
会計年度任用職員	樋口 昌弘
会計年度任用職員	宇佐美玲子
会計年度任用職員	丸山 美香
会計年度任用職員	玉真香陽子
会計年度任用職員	米永 藍里
会計年度任用職員	鶴田 麻美
会計年度任用職員	飽津 陽介
会計年度任用職員	米山 洋美
会計年度任用職員	千田 桂子
会計年度任用職員	高山 利男
会計年度任用職員	渡邊 晃子
会計年度任用職員	齋藤 淳

学芸課

課長	近藤 暁子	美術
学芸担当		
学芸員	小畑 茂雄	歴史
学芸員	海老沼真治	歴史
学芸員	中野 賢治	歴史(兼)
学芸員	山田 英佑	古環境
学芸員	茶園 紘己	歴史
学芸員	日比野純矢	保存科学
資料情報担当		
主査	山田 あや	
学芸員	松田美沙子	美術
会計年度任用職員	早川 美保	
会計年度任用職員	石原 宝	
会計年度任用職員	若木 理美	
企画交流課		
課長	石神 孝子	考古
学芸員	丸尾 依子	民俗
主幹	清水 真一	
副主査	熊谷 悠哉	
学芸員	千原 鴻志	環境史
会計年度任用職員	村松 良子	
会計年度任用職員	織田 俊雄	

2 令和6年度当初予算額

事業名	予算額	事業内容
博物館事業費	64,373千円	企画展運営、調査・研究事業、運営委員会・みんつく運営経費
歴史資料等収集費	12,490千円	歴史資料等の収集・保存・管理・修復、図書資料の整備
博物館運営費	247,812千円	施設管理、常設展示機器管理、会計年度任用職員等人件費
合計	324,675千円	

※職員給与費を除く

3 年間日誌

■主な出来事（新聞記事から抄）

令和6年4月11日	(木)	家康の心情伝える「葵」紋 戦乱渦中に滞在 右左口宿敬泉寺 ～探訪 甲斐の至宝－守屋正彦～	山梨日日新聞
令和6年4月12日	(金)	新たな輸送手段 未来開く 角倉了以による開削 ～富士川水運の盛衰 山梨県立博物館企画展から 1～	山梨日日新聞
令和6年4月19日	(金)	「三河岸」に蔵 負担軽減 年貢米の輸送 ～富士川水運の盛衰 山梨県立博物館企画展から 2～	山梨日日新聞
令和6年4月21日	(日)	富士川水運 歴史学ぶ ～参加24人 ゆかりの地散策	山梨日日新聞
令和6年4月23日	(火)	富士川水運300年 歴史をひもとく ～物流・文化の大動脈 資料114件 県立博物館で企画展～	朝日新聞
令和6年4月25日	(木)	山梨の歴史と文化 韓国で来年特別展 ～県立博物館が覚書～	山梨日日新聞
令和6年4月25日	(木)	韓国の博物館と交流展示 ～県立博物館が覚書～	読売新聞
令和6年4月25日	(木)	館内カフェに新作スイーツ ～県産フルーツ使用～	読売新聞
令和6年4月26日	(金)	商い荷物 独占的に扱う 三河岸の繁栄 ～富士川水運の盛衰 山梨県立博物館企画展から 3～	山梨日日新聞
令和6年5月2日	(木)	県立博物館にカフェ ～県産果実のスイーツ提供 若手パティシエ育成拠点に～	山梨日日新聞
令和6年5月3日	(金)	活況もたらし 後に終止符 鉄道整備の進展 ～富士川水運の盛衰 山梨県立博物館企画展から 4～	山梨日日新聞
令和6年5月6日	(月)	豊かな水、緑 田園と調和 ～山梨の21世紀建築～	山梨日日新聞
令和6年5月9日	(木)	季節の味、第3弾は苺・桃 ～ミルフィーユ 期間限定 県立博物館のカフェ～	朝日新聞
令和6年5月10日	(金)	家康 腹心に委ねた国づくり 將軍家ゆかり 城下に浄土宗寺院 ～探訪 甲斐の至宝－守屋正彦～	山梨日日新聞
令和6年5月24日	(金)	郷土史、文化 継承の軌跡 ～県立博物館 あすからシンボル展～	山梨日日新聞
令和6年6月7日	(金)	功刀亀内 集めた郷土資料 ～甲州文庫など70点 県立博物館～	山梨日日新聞
令和6年6月12日	(水)	郡内支配の拠点として再生 鳥居一族が整備、谷村 ～探訪 甲斐の至宝－守屋正彦～	山梨日日新聞
令和6年6月27日	(木)	江戸の人 動物が身近に ～やまなし探・研～	山梨日日新聞
令和6年7月10日	(水)	徳川が尽力 始まった歴史 「新仏」迎えた甲斐善光寺 ～探訪 甲斐の至宝－守屋正彦～	山梨日日新聞
令和6年7月12日	(金)	動物と人 関わり見つめる 江戸時代の美術・工芸品展示 ～県立博物館 あすから企画展～	山梨日日新聞

令和6年7月13日	(土)	江戸と動物 生き生きと ～県立博物館企画展 きょう開幕～	山梨日日新聞
令和6年7月14日	(日)	江戸時代の人と動物 暮らしや関わり紹介 ～県立博物館で企画展開幕～	山梨日日新聞
令和6年7月19日	(金)	県博カフェに桃スイーツ	山梨日日新聞
令和6年7月21日	(日)	甲府道祖神祭の幕絵 月岡芳年中心に紹介 ～山梨文化学園～	山梨日日新聞
令和6年7月22日	(月)	休園中の動物を語る ～企画展に合わせ園長 県立博物館～	山梨日日新聞
令和6年7月25日	(木)	展示品に息づく動物を“探険” ～県立博物館「どうぶつ百景」展～	山梨日日新聞
令和6年7月26日	(金)	人々と動物描いた江戸～明治の作品 ～江戸東京博物館の収蔵品 笛吹・県立博物館で企画展～	朝日新聞
令和6年7月27日	(土)	今に重なる身近な存在 パートナーやペット ～江戸のどうぶつたち 県立博物館企画展から－1－～	山梨日日新聞
令和6年7月28日	(日)	県ゆかりの紙幣 各地で新旧展示 新千円札裏の「富岳三十六景」も ～県立博物館・文学館などで公開～	朝日新聞
令和6年7月30日	(火)	「どうぶつ百景」見どころを紹介 ～県文化協連合会研修会～	山梨日日新聞
令和6年8月3日	(土)	狩猟、観賞、和歌の対象 町近郊のほ乳類、鳥、虫… ～江戸のどうぶつたち 県立博物館企画展から－2－～	山梨日日新聞
令和6年8月10日	(土)	大きな姿に受けた衝撃 見世物で人気、象 ～江戸のどうぶつたち 県立博物館企画展から－3－～	山梨日日新聞
令和6年8月14日	(水)	浮世絵など70点 展示内容を一新 ～県立博物館「どうぶつ百景展」～	山梨日日新聞
令和6年8月16日	(金)	禁教象徴、外交の転換点 有馬晴信の甲斐配流 ～探訪 甲斐の至宝－守屋正彦～	山梨日日新聞
令和6年8月17日	(土)	吉祥象徴 欠かせぬ存在 デザイン化のモチーフ ～江戸のどうぶつたち 県立博物館企画展から－4－～	山梨日日新聞
令和6年8月21日	(水)	人と動物 暮らしの歴史 ～笛吹で企画展 江戸・明治の絵画など展示～	読売新聞
令和6年8月24日	(土)	「サンシャインレッド」きょう登場 ～期間限定のパフェ、近くタルトも 県立博物館のカフェ～	朝日新聞
令和6年8月24日	(土)	新ブドウ品種でスイーツ きょうから数量限定販売 ～県立博物館併設のカフェ考案～	山梨日日新聞
令和6年8月24日	(土)	歴史や文化紡いだ馬、蚕 山梨に欠かせぬ存在 ～江戸のどうぶつたち 県立博物館企画展から－5－～	山梨日日新聞
令和6年8月26日	(月)	人との関係性読み解く ～「どうぶつ百景」で記念講演 県立博物館～	山梨日日新聞
令和6年8月29日	(木)	お札と山梨 関係は？ ～やまなし探・研～	山梨日日新聞
令和6年8月30日	(金)	「どうぶつ百景」観覧1万人突破 ～県立博物館 身延の家族に記念品～	山梨日日新聞
令和6年9月1日	(日)	明治40年の大洪水 ～博物館学芸員解説 山梨文化学園～	山梨日日新聞
令和6年9月14日	(土)	家康の富士信仰引き継ぐ 浅間大社・神社を復興 ～探訪 甲斐の至宝－守屋正彦～	山梨日日新聞
令和6年10月25日	(金)	仏教文化の魅力を集約 ～県立博物館で奈良の仏像展～	山梨日日新聞
令和6年10月26日	(土)	富士講霊場 江戸期に再興 忍野八海 ～探訪 甲斐の至宝－守屋正彦～	山梨日日新聞
令和6年11月23日	(土)	修験者立ち寄る一大聖地 甲府・円楽寺 ～探訪 甲斐の至宝－守屋正彦～	山梨日日新聞
令和6年11月25日	(月)	県産フルーツPR スイーツマルシェ ～笛吹 20業者が出店～	産経新聞

令和6年11月28日	(木)	甲斐国分寺 どんなお寺 ～やまなし探・研～	山梨日日新聞
令和6年12月8日	(日)	「武田氏と黄金の謎」 ～博物館学芸員が解説 山梨文化学園～	山梨日日新聞
令和6年12月19日	(木)	領国の華やかな文化 想起 武田氏が保護 大井俣八幡神社 ～探訪 甲斐の至宝－守屋正彦～	山梨日日新聞
令和6年12月19日	(木)	出土品や記録 交流の証し ～なぜ なに～	山梨日日新聞
令和6年12月28日	(土)	ゆかりの文化人を顕彰 ～県内 研究者、施設 節目で企画展 回顧2024(5)～	山梨日日新聞
令和7年1月3日	(金)	かるたや凧作り 博物館で体験 笛吹	読売新聞
令和7年1月10日	(金)	甲斐国分寺 1300年の歴史 ～県立博物館でシンボル展～	山梨日日新聞
令和7年1月12日	(日)	小正月に彩り 各地で催し ～無病息災を願いまゆ玉団子作り 笛吹・県立博物館～	読売新聞
令和7年1月25日	(土)	里宮から山頂へ 聖なる道 蔵王権現を勧請 金峰山 ～探訪 甲斐の至宝－守屋正彦～	山梨日日新聞
令和7年1月26日	(日)	甲斐国分寺 歴史迫る展示 ～県立博物館 勝頼関係資料も～	読売新聞
令和7年1月31日	(金)	甲斐国分寺 創建から現代まで ～出土品や古文書250点展示 笛吹・県立博物館 来月24日まで～	朝日新聞
令和7年2月1日	(土)	近代人物館を移設へ ～10月 県立博物館内に～	山梨日日新聞
令和7年2月3日	(月)	郷土学習コンクール入賞者8人成果発表 ～笛吹・県立博物館～	山梨日日新聞
令和7年2月8日	(土)	近代人物館 お引っ越し ～デジタル活用 50人紹介 10月、県立博物館へ～	読売新聞
令和7年2月27日	(木)	忠義の家臣治める重要地 狩野派名画伝わる郡内領 ～探訪 甲斐の至宝－守屋正彦～	山梨日日新聞
令和7年3月14日	(金)	最後の当主 新視点で ～特別展「武田勝頼 日本に隠れなき弓取」あすから県立博物館～	山梨日日新聞
令和7年3月24日	(月)	裁判の逸話から勝頼を読み解く ～県立博物館で特別展記念講演～	山梨日日新聞
令和7年3月28日	(金)	義信幽閉で運命変わる「諏訪の子」から家督へ ～最後の当主 真の姿 1 県立博物館特別展から～	山梨日日新聞
令和7年3月29日	(土)	清和源氏伝来 武田の家宝 楯無の鎧、日の丸の御旗残る寺社 ～探訪 甲斐の至宝－守屋正彦～	山梨日日新聞

令和6年度 山梨県立博物館年報

発行日 2026年3月13日
編集・発行 山梨県立博物館
〒406-0801
山梨県笛吹市御坂町成田1501-1
TEL 055(261)2631
印刷 株式会社 シマトミ企画

Annual report of the Yamanashi Prefectural Museum

